



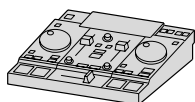
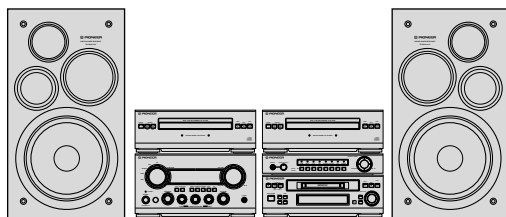
X-RMX9MD



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。



この取扱説明書は、下記の機器を説明しています。

ステレオチューナーアンプ	SX-R9
コンパクトディスク(CD)プレーヤー	PD-R9
ミニディスク(MD)レコーダー	MJ-R5
リミックスエフェクター	EF-R9
リミックスコントロールミキサー	MX-R9
スピーカーシステム	S-R9V-LR
ステレオカセットデッキ(別売)	CT-R5

高調波ガイドライン適合品

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外(例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輛、船舶への搭載使用)で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

取扱説明書

必ずお読みください。

安全上のご注意

接続のしかたや操作前の準備についての説明です。

準

備

音を出したり、録音したりして楽しむための説明です。

基本操作

MDの編集のしかたについての説明です。

MD編集

自動編集録音とタイマーの説明です。

応用操作

REMIX(リミックス)の楽しみかたの説明です。

リミックス操作

故障かな?と思ったらアフターサービスについて

その他

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）



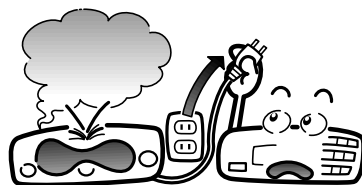
警告

〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



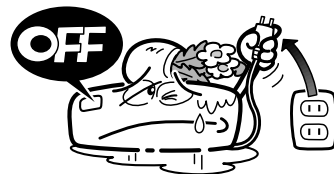
プラグを抜け



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。






プラグを抜け



もくじ

準備	安全上のご注意	2	応用操作	自動編集録音（A.S.E.S.）のしかた	50
	こんなことができます	4		操作のしかた	51
準備	付属品の確認	4	応用操作	ASES ERROR の表示が出たときは	52
	設置のしかた	5		リミックスでCDをMDまたはテープに アクセスする	53
準備	接続のしかた	6	応用操作	タイマーの使いかた	54
	各部のなまえ	11		好きな音楽で目覚める	54
準備	MD、CD、テープの取扱い	18	応用操作	ラジオ放送または外部入力を 留守録音する	55
基本操作	時計を合わせる	21	リミックス	REMIX（リミックス）を楽しもう!!	59
	電源を入れる / 演奏する / 音質を変える	22		リミックスでできること	59
基本操作	ラジオ放送を聞く	23	リミックス	リミックスをオンにしてCD1、CD2を 切換えて楽しもう	62
	CDを聞く	25		演奏の速さを変えよう	64
基本操作	テープを聞く	27	リミックス	拍子数（BPM）を測ってみよう	65
	テープに録音する	29		キューを使って瞬時に音出しをしよう	66
基本操作	MDを聞く	30	リミックス	気に入ったフレーズを連続リビートしよう	68
	MDに録音する前にお読みください	32		クロスフェーダーを使って演奏を はじめよう	69
基本操作	MDに録音する	35	リミックス	ヘッドホンでモニターしながら操作しよう	70
				音に効果をかけて楽しもう	71
MD編集	MD編集機能の使いかた	41	MD編集	曲のビートに合わせてエフェクターを かけよう	73
	編集メニューについて	41		気に入ったところをサンプル録音して、 演奏に重ねよう	74
MD編集	編集メニューの選択	42	MD編集		
	1つの曲を2つに分ける	43			
MD編集	2つの曲を1つにつなぐ	43	MD編集		
	曲の途中をつなぐには	44			
MD編集	曲を移動する	45	MD編集		
	曲を並べかえる	45			
MD編集	曲を消す	45	MD編集		
	曲やディスクに名前をつける	46			
MD編集	編集をキャンセルして編集前の状態に戻す	49	MD編集		
その他			その他	表示部のコントラストの調整のしかた	87
				故障？ちょっと調べてください	88
その他			その他	日ごろのお手入れ	90
				仕様	91
その他			その他	アフターサービス	92
				デモモードについて	裏表紙

説明中のマークについて

-  故障かな？ — 操作中におかしいなと思ったときに読んでみてください。
-  これは便利 — 本文で説明していない便利な情報です。
-  ポイント — 知っておくと操作がスムーズになります。

こんなことができます (システムとしての機能です。)

- 1 **気分に合わせてCDのテンポが変えられるテンポコントロール!**
 - CD演奏のテンポを簡単に変えることができます。
 - CD演奏のテンポを変えても曲の音程が変わらないマスターテンポ機能。
- 2 **2台のCDを使って、好きなフレーズを同じテンポでMDに録音、自分だけのノンストップMDをつくれるデジタルリミックス**
CD2台はリミックスコントロールミキサーで集中コントロール
 - 曲の頭出し位置を自由に設定、瞬時に再生スタートできるキュー機能。
 - CD、MDの曲のテンポが目で見えてわかるオートBPMカウンター。
 - CDからMDへつなぎ目なく録音できるMDカットイン録音。
- 3 **多彩な効果で音を楽しむためのエフェクターを搭載**
 - ディレイ、エコー、オートパン、フランジャー、ピッチシフター、オールドレコードなどの効果をかけることができます。
 - サンプラー機能により、サンプル録音 / 再生ができます。
- 4 **リミックスコントロールミキサーによる集中操作**
 - 2台のCDを使ったリミックス操作をコントロールミキサーで行えます。
- 5 **充実したMD編集機能**
 - ジョグ操作でディスク名や曲名の文字入力ができます。
 - デバインド、コンバイン、ムーブ、イレースなど編集機能も充実しています。

付属品の確認

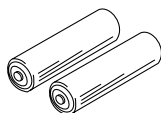
リモコン × 1



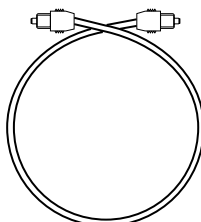
AMループアンテナ × 1
(図は組み立てた状態です。)



単3形乾電池 × 2
(R6P)



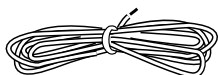
光ファイバーケーブル



スピーカーコード
(スピーカーに付属) × 2

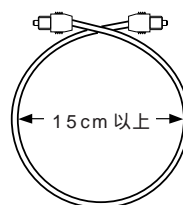


FMアンテナ × 1



取扱説明書
ご相談窓口・修理窓口のご案内
保証書
安全上のご注意

光ファイバーケーブル取り扱い上の注意
光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。光ファイバーケーブルを破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき特にご注意ください。輪にして保管するときは直径が15cm以上になるようにしてください。接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。

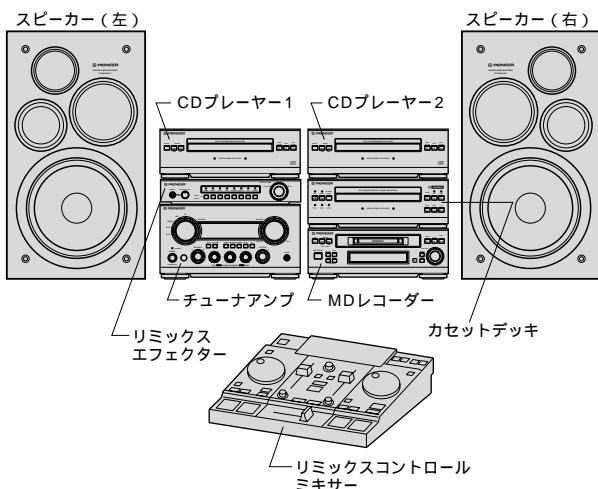
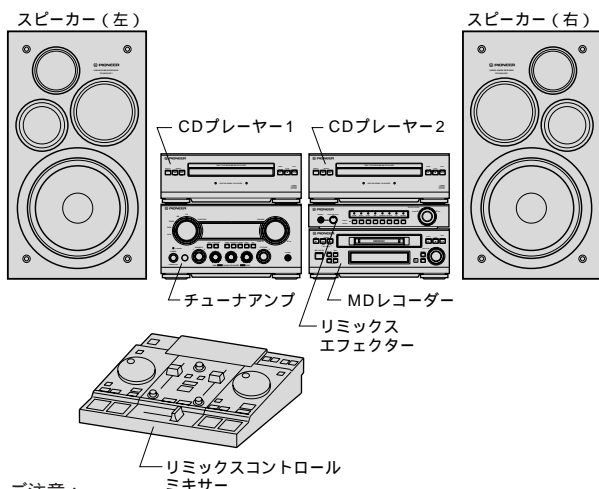


設置のしかた

システムの性能を十分に引き出すため、下記のように設置してください。カセットデッキを組み合わせる場合はMDレコーダーの上に置いてください。

[標準システム]

[別売のカセットデッキを追加したとき]



ご注意：

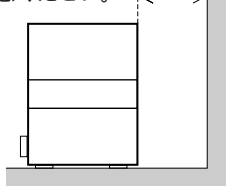
- 2 台の CD プレーヤーは同じものです。CD プレーヤー 1, 2 の区別はリミックスエフェクターへの接続のしかたで決まります。
- リミックスコントロールミキサーを CD プレーヤーの上に載せて操作すると、操作のしかたによっては CD が音飛びすることがあります。リミックスコントロールミキサーは本体部からおろして操作することをおすすめします。



注意

- 機器の天面、側面、後面の放熱孔はふさがないように設置してください。放熱孔をふさぐと内部に熱がこもり、性能不良および故障の原因となります。壁からは下図の距離だけ離してください。
- 毛足の長い敷物やじゅうたん、ベッド、ソファなどの上に設置したり、布などをかけないでください。通風が妨げられて本機の内部が発熱し、故障や火災の原因になります。

光ファイバーケーブルが折れ曲らないようご注意ください。



注意

リミックスコントロールミキサーは他の本体部機器が設置されている場所の近くで操作してください。離れた場所での操作は接続ケーブルに足をひっかけるなどの思わぬ事故やけがの原因となることがあります。



スピーカーシステムについて

スピーカー設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりスピーカーが故障する原因となります。
- 不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- このスピーカーシステムは防磁設計 (EIAJ) ですのでテレビと組合せても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15 ~ 30 分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 「防磁設計 (EIAJ)」とは (社) 日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

準備

基本操作

MD 編集

応用操作

リミックス

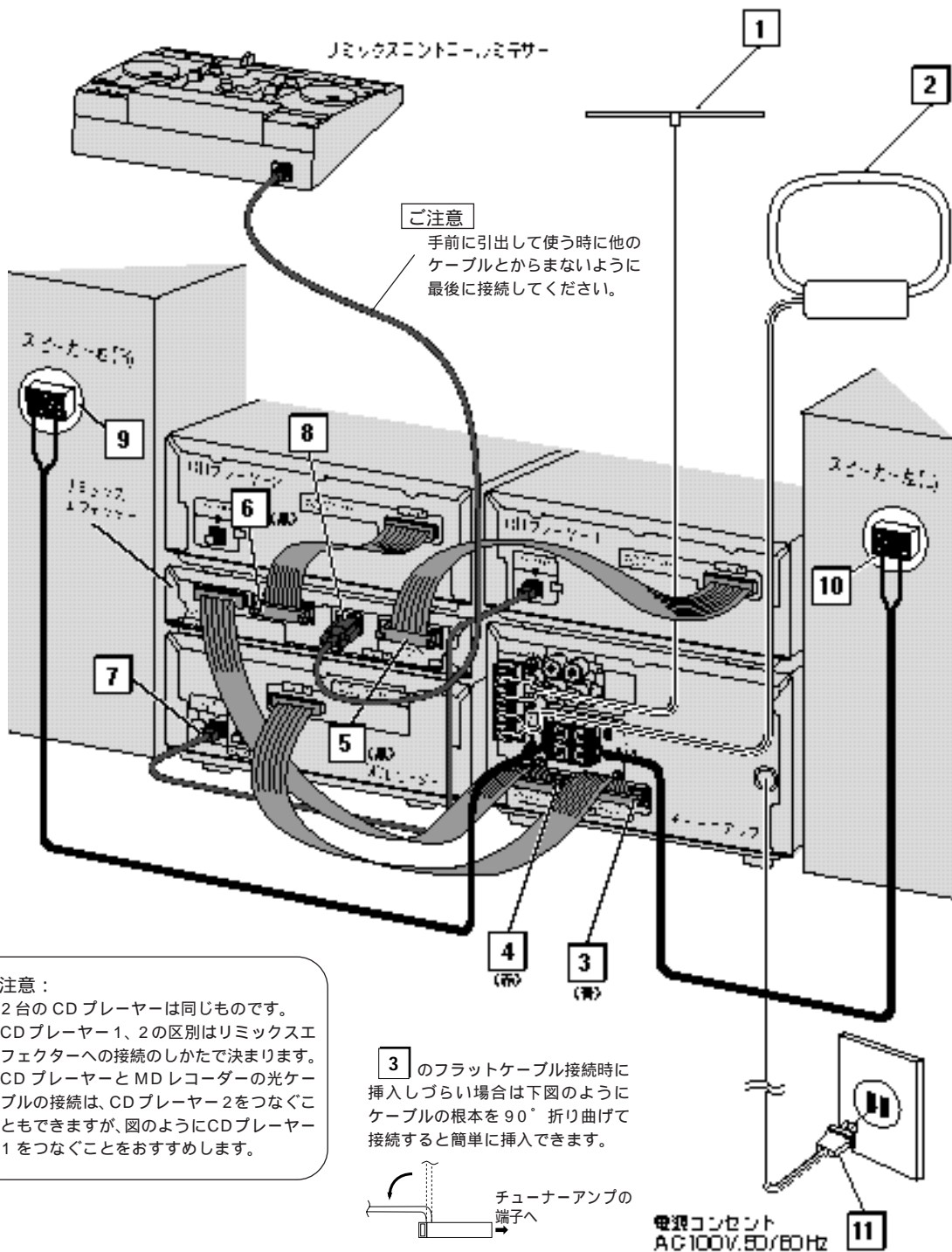
その他

接続のしかた

本機を使う前に次の手順で正しく接続してください。

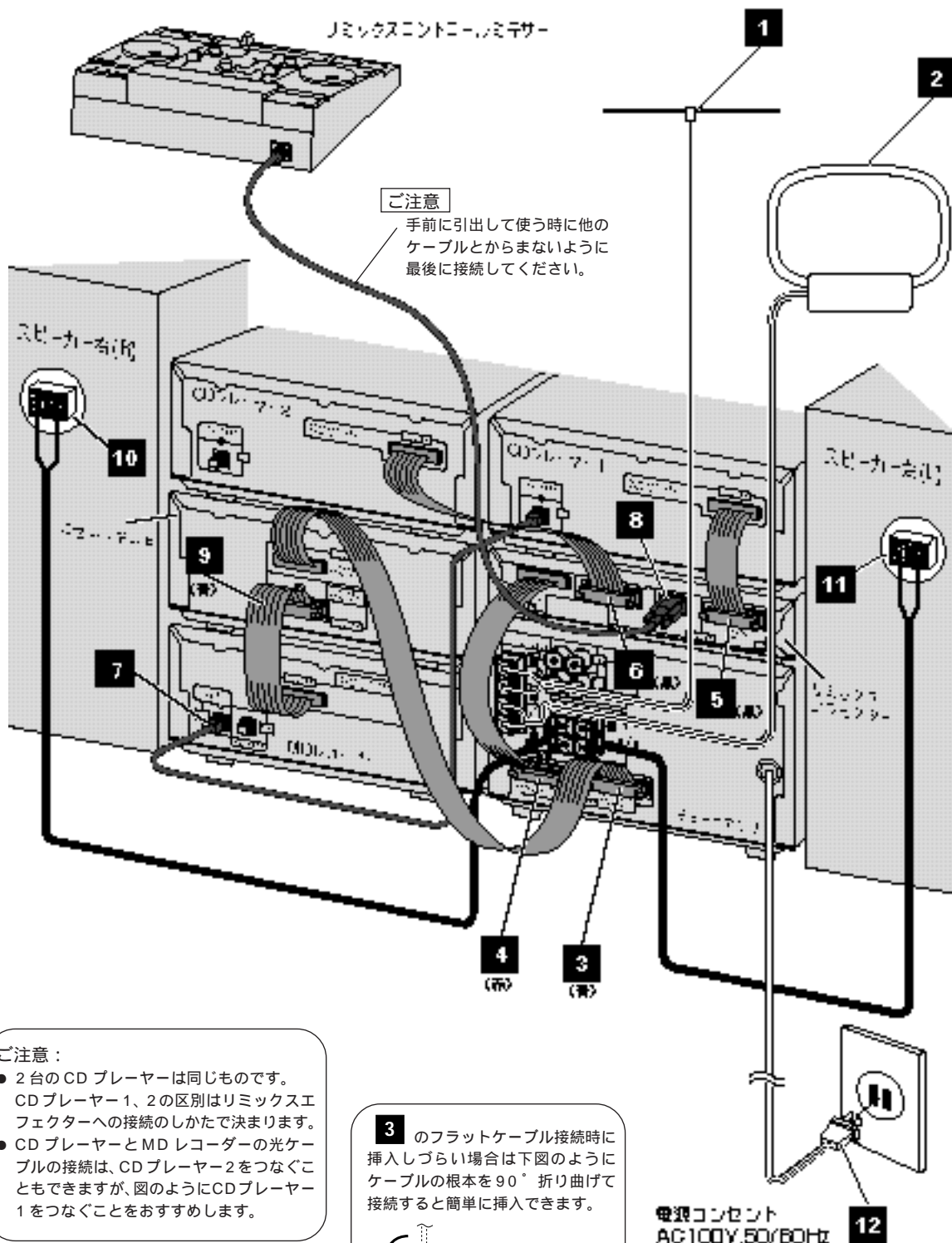
- すべての接続が終わってから電源コードを壁のコンセントに差し込んでください。
- アンテナは必ず接続してください。(アンテナを接続しないと放送が受信できません。)

チューナーアンプ、CDプレーヤー、リミックスエフェクター、MDレコーダー、リミックスコントロールミキサー



接続のしかた

別売のカセットデッキCT-R5を追加する場合



準備

基本操作

MD編集

応用操作

リミックス

その他

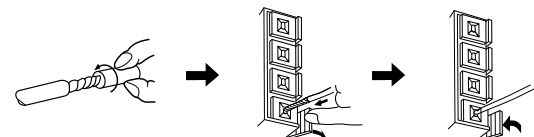
接続のしかた

1 ~ **11** は 6 ページの接続の番号を示します。

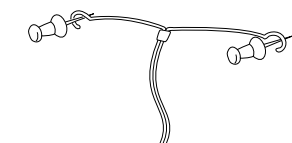
1 ~ **12** は 7 ページの接続の番号を示します。

1 **2** / **1** **2**

FM、AM アンテナをつなぐ



(FM アンテナ)

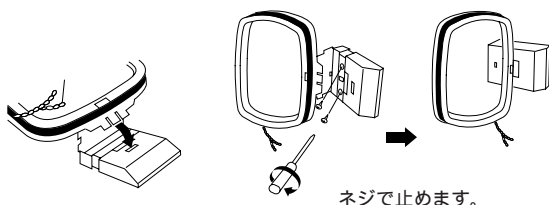


(AM アンテナ)

組立てかた

プッシュピンなどで壁にとめてください。

壁などに取り付ける場合



ネジで止めます。

3

MD レコーダーのフラットケーブルをチューナーアンプにつなぐ

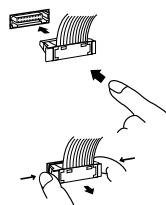
3 **9**

カセットデッキのフラットケーブルをチューナーアンプにつなぐ

MD レコーダーのフラットケーブルをカセットデッキにつなぐ

フラットケーブルのつなぎかた

図のようにケーブルが上へ出る向きで差し込んでください。



差し込むとき
カチッと音がするまで確実に差し込んでください。

はずすとき
両側から押して引っぱってください。

4 / **4**

リミックスエフェクターのフラットケーブルをチューナーアンプへつなぐ

5 / **5**

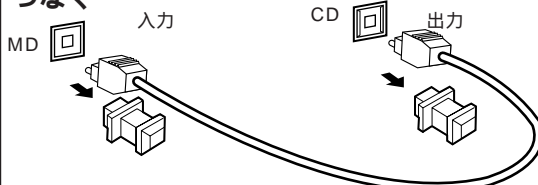
CD プレーヤーのフラットケーブルをリミックスエフェクターの CD 1 へつなぐ

6 / **6**

CD プレーヤーのフラットケーブルをリミックスエフェクターの CD 2 へつなぐ

7 / **7**

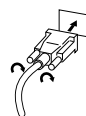
CD プレーヤーと MD レコーダーの光デジタル端子の CD IN を付属の光ファイバーケーブルでつなぐ



光デジタル端子の防塵キャップを引き抜きます。
光ファイバーケーブルのプラグを端子の形に合わせ、奥までしっかり差し込みます。

8 / **8**

リミックスコントロールミキサーをリミックスエフェクターへつなぐ



リミックスエフェクターから接続ケーブルをはずすときは、まずリミックスコントロールミキサーからの接続ケーブルをはずしてください。その後、他のケーブルをはずしてください。



注意

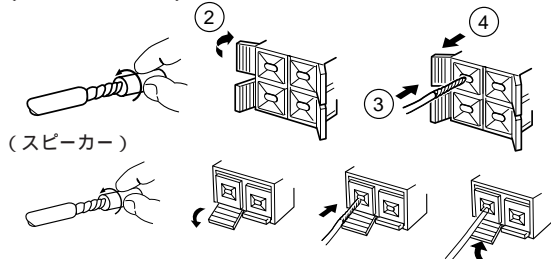
電源プラグをコンセントに接続した状態で、システムケーブルを抜き差しすることは、絶対にやめてください。故障の原因となることがあります。

接続のしかた

9 / 10 / 10 / 11

スピーカーをつなぐ

(チューナーアンプ)



スピーカコードの色と端子の色を合わせて接続してください。
(赤色は⊕、黒色は⊖になります。)

11 / 12

チューナーアンプの電源コードを壁のコンセントへ差し込む

初めて電源コードをコンセントにつないだ時は表示が点灯し、デモモードになります。詳しくは裏表紙の「デモモードについて」をご覧ください。

スピーカーのグリルの着脱のしかた

このスピーカーシステムは前面のグリルを取りはずすことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. はずすときはグリルの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っばってグリルの下側をはずします。
2. 同じように、グリルの上側を手前に引っばるとグリルは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリルの4隅にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

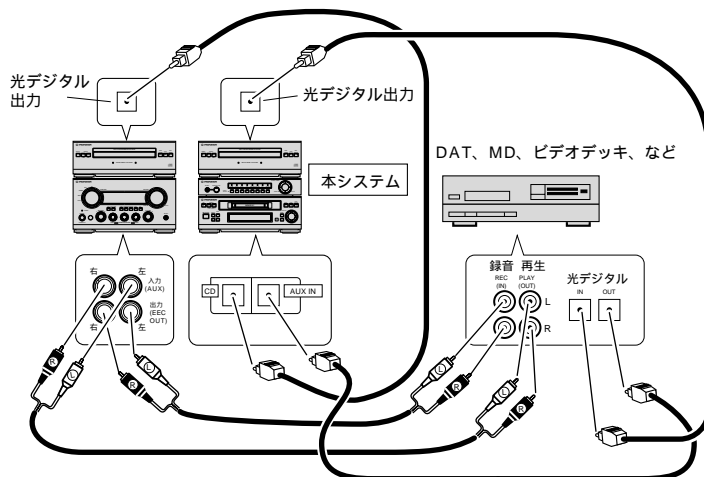
幼児にいたずらされないよう、グリルははずしたままにしないでください。

⚠ 注意

- 本システムのスピーカーはスピーカー部に潤滑剤を使用しています。性能を劣化させますので手や布で触れないようにお願いします。もし潤滑剤が手についた場合はすぐに中性洗剤で洗ってください。

外部機器の接続 (ビデオデッキや本システム以外の MD レコーダーなど)

- レコードプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザーアンプ内蔵タイプのものを AUX へ接続してご使用ください。
- REC OUT 端子に録音機器を接続して、AUX へ接続した再生機器の音を録音することはできません。
- AUX 端子に接続した機器の再生を聞くとときは、チューナーアンプのファンクションを "AUX" にしてください。
- 外部機器の光デジタル出力から、MD レコーダーの光デジタル入力 "AUX IN" へ接続する場合は、外部機器のアナログ出力もチューナーアンプの AUX 端子に接続してください。デジタル接続だけでは音が出ません。
- MD の光デジタル入力の "AUX IN" へは本システムの CD プレーヤーの光デジタル出力は接続しないでください。



準備

基本操作

MD 編集

応用操作

リミックス

その他

接続のしかた

接続に関するご注意

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⚡)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AMループアンテナ：

- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

FMアンテナ：

- FM T型アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- FM T型アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには専用アンテナを使用してください。

スピーカーの接続について

- スピーカーを本システム以外のアンプに接続しないでください。故障とか、ごくまれに発煙、発火の可能性があります。

電源コードの接続について

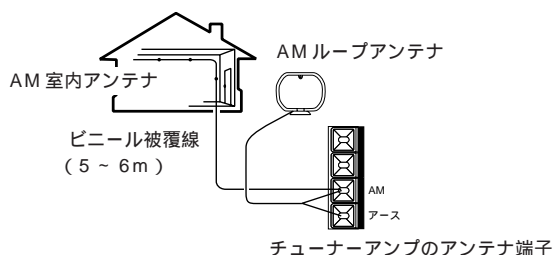
- チューナーアンプの電源プラグは必ず壁のコンセントへ差し込んでください。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

- AM 外部アンテナ、市販のFM 屋外アンテナを接続します。

AM 外部アンテナの接続

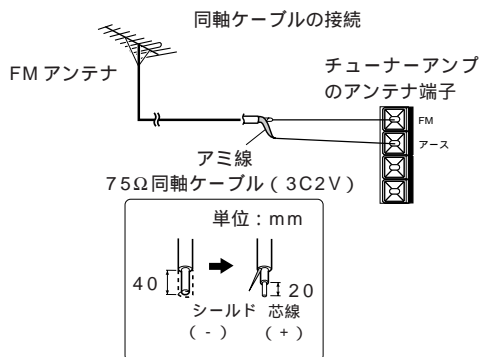
下図のように接続してください。



AM外部アンテナを接続してもAM ループアンテナは外さないでください。

FM 屋外アンテナの接続

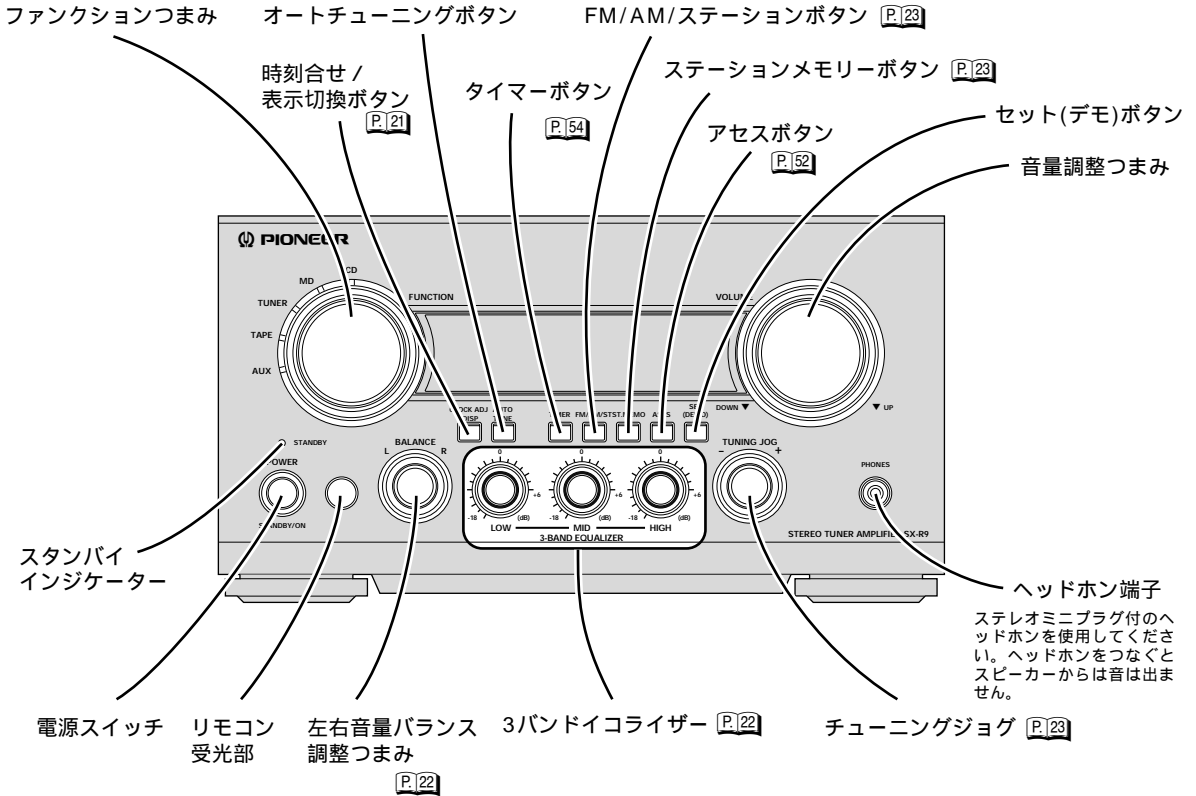
下図のように接続してください。



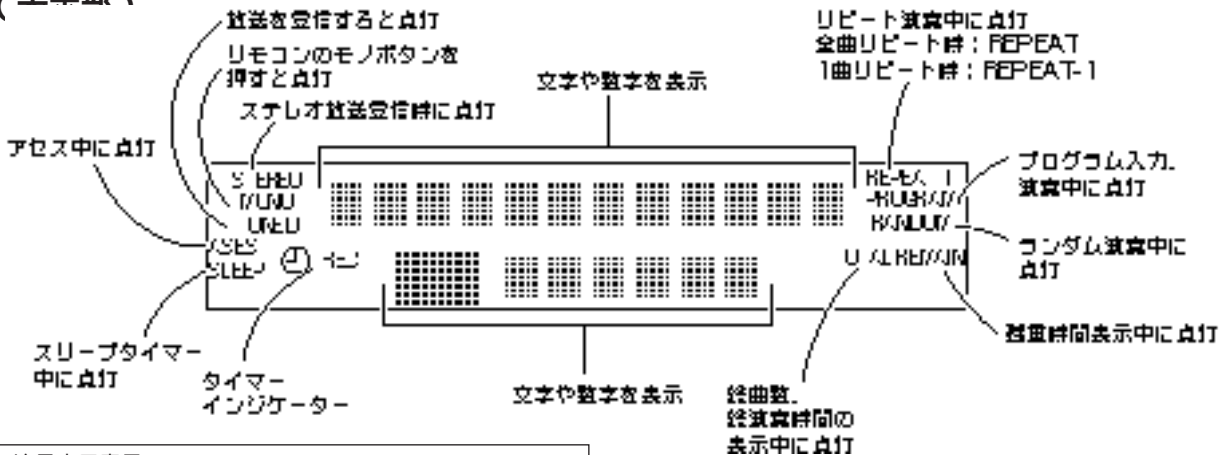
各部のなまえ

ステレオチューナーアンプ

P は参照ページです。



(主表示部)



液晶表示素子(LCD)について

本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が紫色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

準備

基本操作

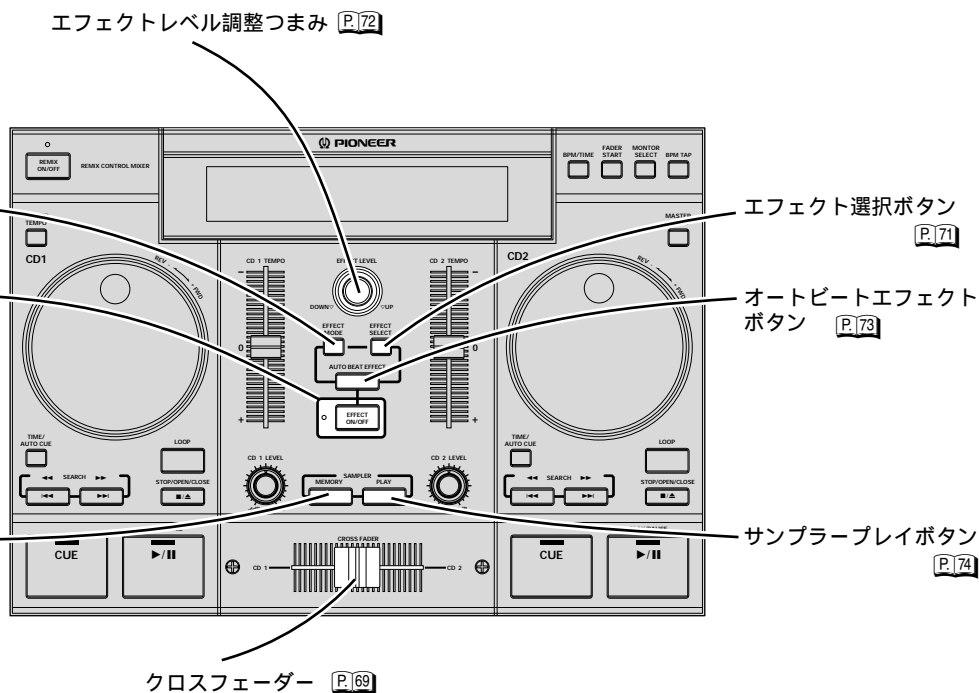
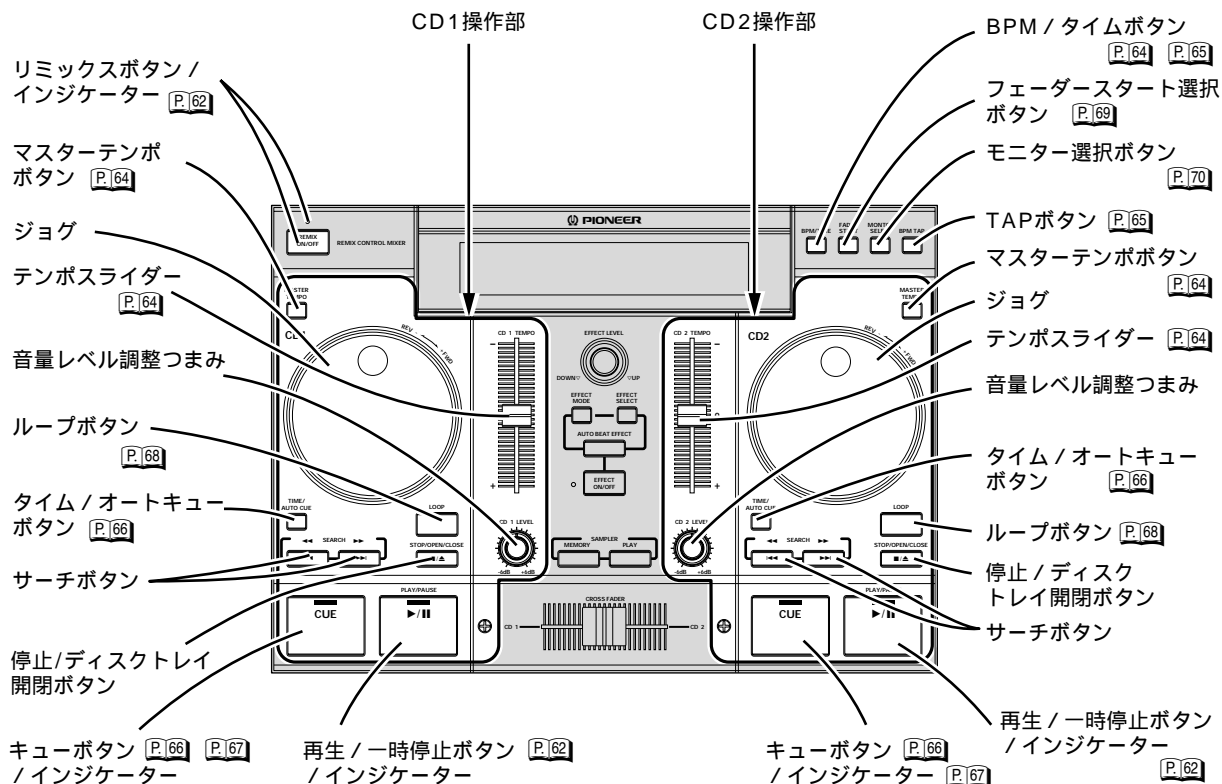
M/D編集

応用操作

リミックス

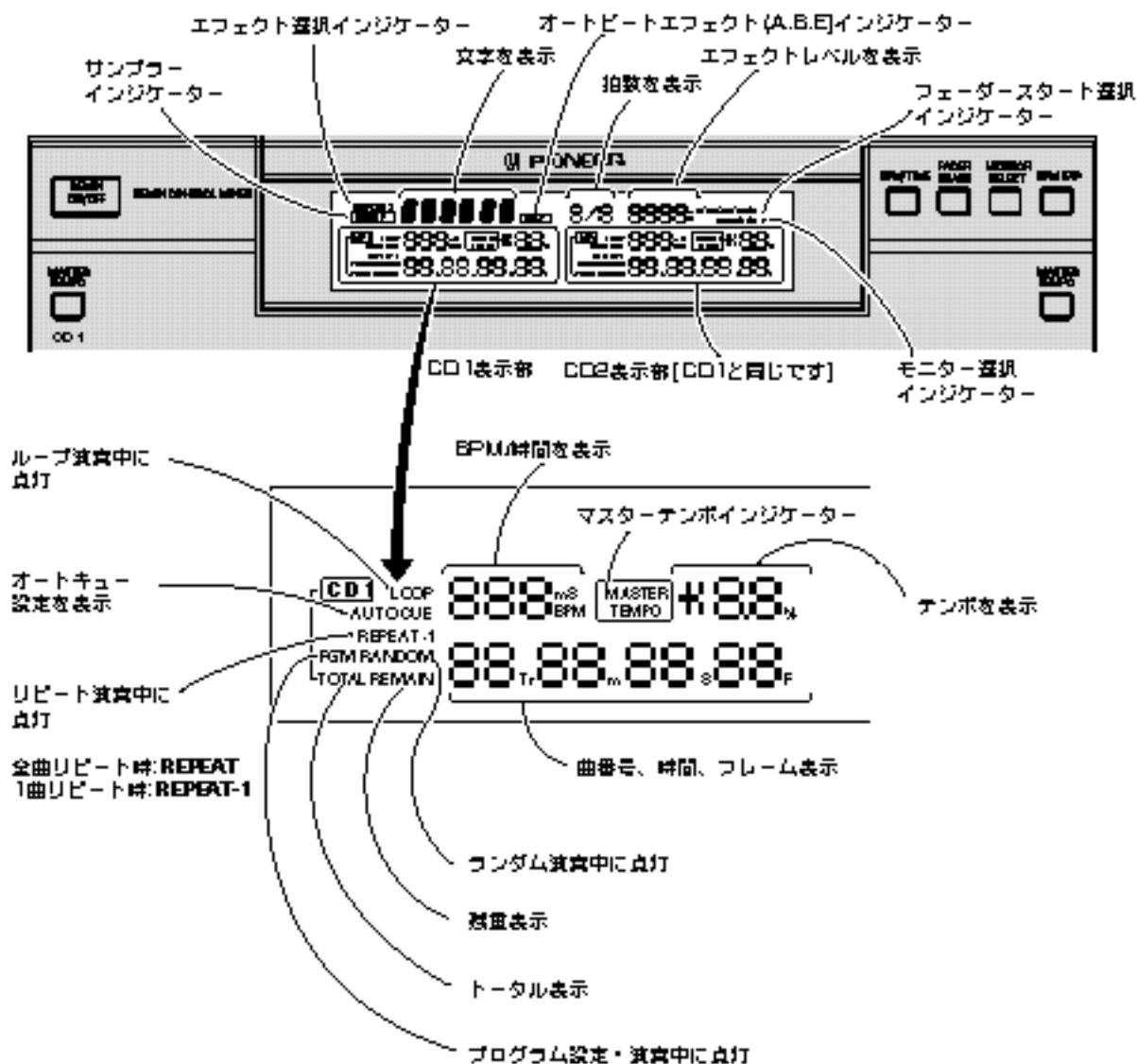
その他

リミックスコントロールミキサー



各部のなまえ

リミックスコントロールミキサー表示部



準備

基本操作

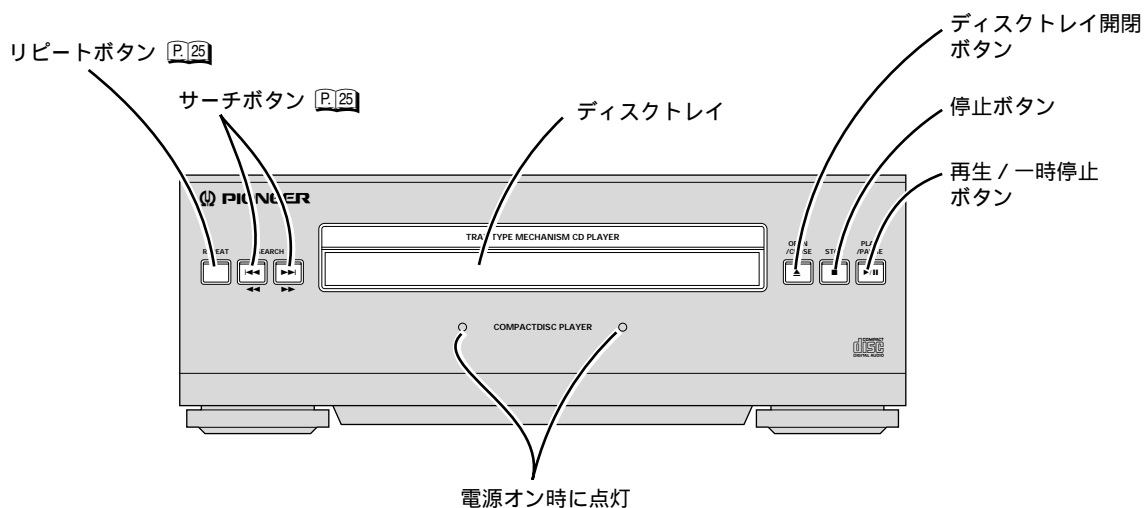
M D 編集

応用操作

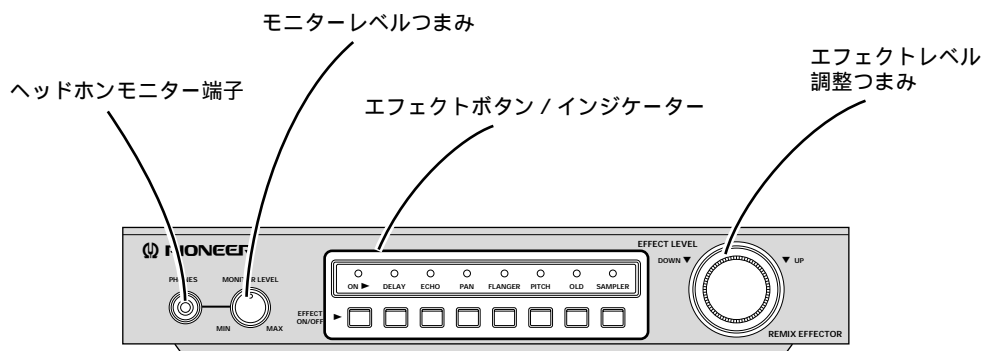
リミックス

その他

コンパクトディスクプレーヤー

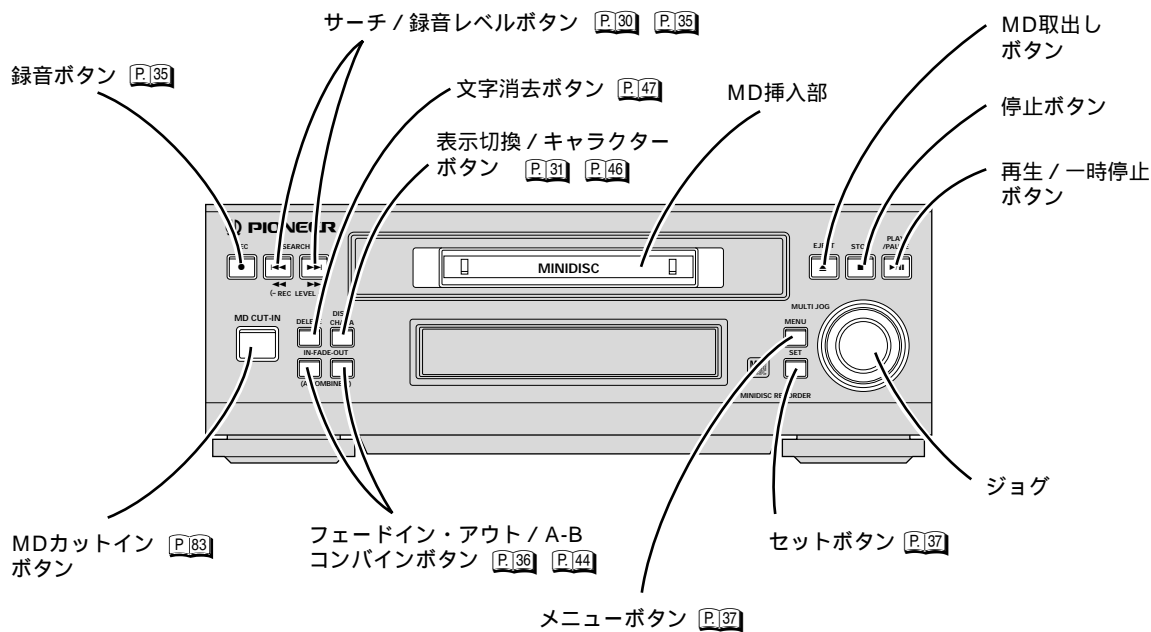


リミックスエフェクター

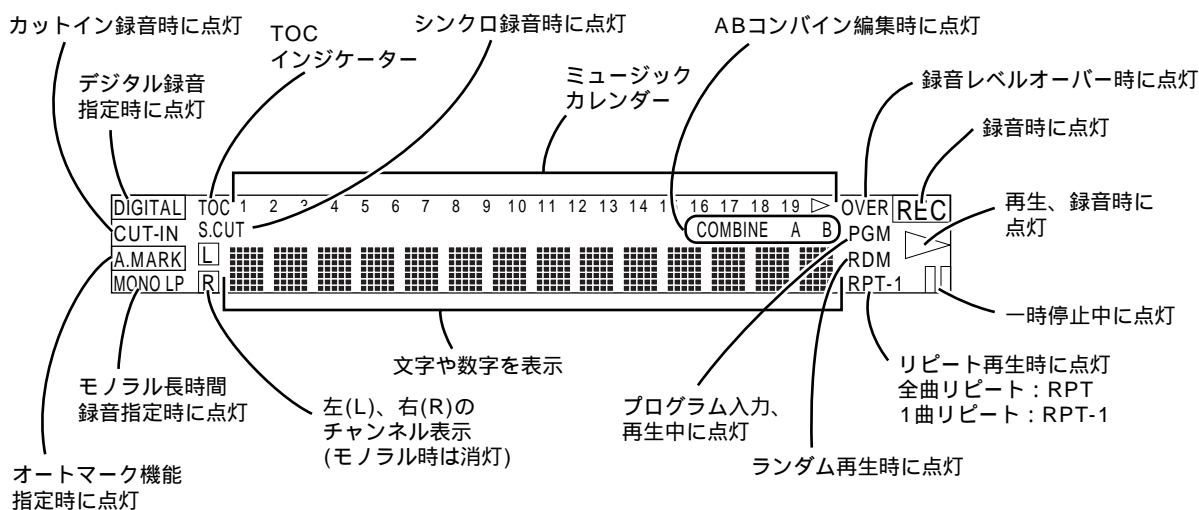


各部のなまえ

ミニディスクレコーダー



(表示部)



液晶表示素子(LCD)について

本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が紫色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

準備

基本操作

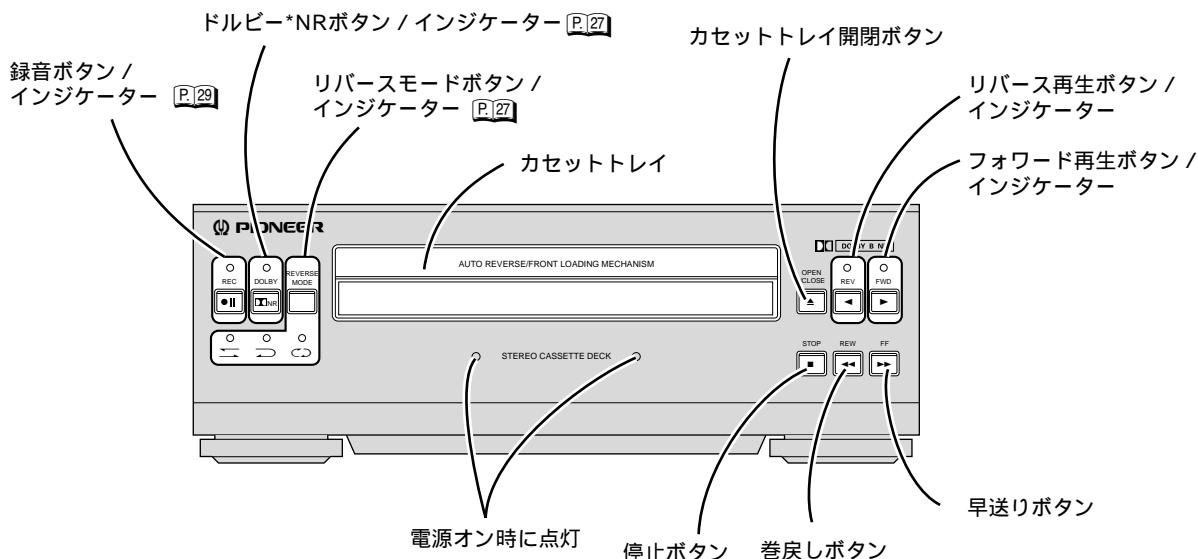
M D 編集

応用操作

リミックス

その他

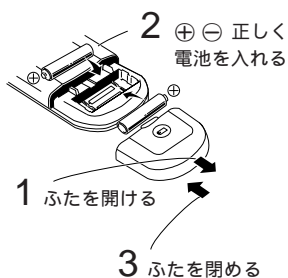
別売のカセットデッキ



リモコンに電池を入れる

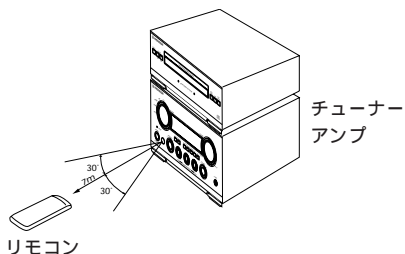
電池は単3形（R6P）を入れてください。

電池の入れ方



リモコン操作範囲

- リモコン前部をチューナーアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。



直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯を離してください。

⚠ 注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

- ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビー、DOLBY 及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

リモコン

電地の入れ方は16ページをご覧ください。

ファンクションボタン **P.22**

スリープボタン **P.57**

表示切換ボタン **P.26**

カセットデッキ操作ボタン

- ◀▶ : 巻戻し、早送り
- : 停止
- ◀▶ : 再生ボタン

ファンクションがTUNERのとき

切換スイッチをCD/TUNERにします。
CLR : クリアー
PGM, REPEAT, RANDOMは使用しません。

ファンクションがCDのとき

切換スイッチをCD/TUNERにします。
CLR : クリアー
PGM : プログラムの設定
REPEAT : リピート演奏
RANDOM : ランダム演奏

ファンクションがMDのとき

切換スイッチをMDにします。
CLR : クリアー
PGM : プログラムの設定
REPEAT : リピート演奏
RANDOM : ランダム演奏

CD操作ボタン

- ◀▶ : トラックサーチ
- : 停止
- ▶|| : 再生/一時停止

電源ボタン

音量調整ボタン

操作機器切換スイッチ

CDまたはチューナー操作時 CD/TUNER
MD操作時 MD

チューナー操作ボタン

STATION : メモリーしている放送局を順に呼び出します。
MONO : FM放送をモノラル受信にします。
FM/AM : 受信バンド(FM/AM)を切換えます。

数字ボタン

ファンクションがTUNERのとき

切換スイッチをCD/TUNERにします。
メモリーしている放送局を呼び出します。

ステーション1~10 : 1~10/0
ステーション11~30 : >10ボタンと1~10/0ボタンで呼び出します。

ファンクションがCDのとき

切換スイッチをCD/TUNERにします。
数字ボタン1~9、10/0となります。
>10ボタンは11以上の数字入力に使用します。

ファンクションがMDのとき

切換スイッチをMDにします。
数字ボタン1~9、10/0となります。
>10ボタンは11以上の数字入力に使用します。

MD操作ボタン

- ◀▶ : トラックサーチ
- : 停止
- ▶|| : 再生/一時停止
- DIG/ANA : デジタル/アナログ切換
- REC MODE : 録音モード選択
- A.MARK : オートマークのオン/オフ
- TIME : 時間表示の切換
- DISPLAY : 表示モードの切換

準備

基本操作

MD編集

応用操作

リミックス

その他

MD、CD、テープの取扱いかた

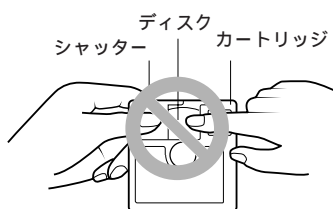
MD の取扱いかた

右記マークのディスクをお使いください。



⚠ 注意

- ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けるとこわれます。
- 分解しないでください。



保管

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
 - 高温多湿の場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 砂やホコリの入りやすい場所

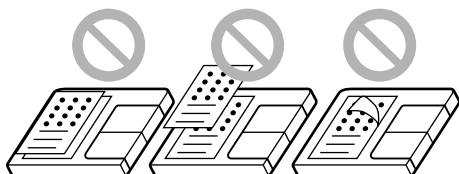
カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなります。

- 指定の場所（エリア内）に貼ってください。
- 重ねて貼付けしないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。



MD の種類について

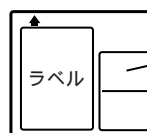
再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD（録音はできません）



シャッターが裏面にあります。

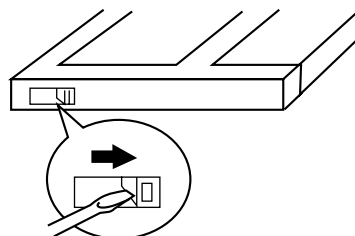
- 録音・再生用 MD



シャッターが両面にあります。

録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



MD、CD、テープの取扱いかた

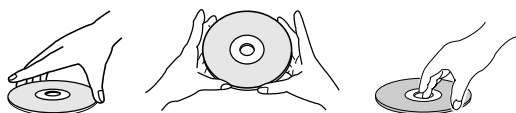
CD の取扱いかた

右記マークの付いたディスクをお使いください。
それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。



ディスクの持ちかた

信号面（虹色に光っている側）にふれないでください。

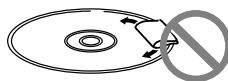


保 管

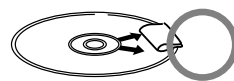
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。



円周に沿って拭かない



柔らかい布で内周から
外周方向へ軽く拭く

- ディスクの清掃には別売ディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどののはみ出しを確認してから、ご使用ください。



注意

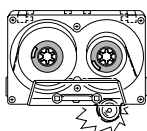
損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

カセットテープの取扱いかた

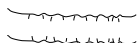
⚠ 注意

C-90 を超えるテープ (C-100, C-120 等) は厚みが非常に薄く、早送り、巻戻し、停止等を繰り返すと、ピンチローラやキャプスタンに巻き込んだり、テープが切れたりする原因になりますので、ご使用にならないでください。



テープがからまる!

巻き乱れのあるテープ、わかめ状になったテープ、伸びたテープも巻き込んだり、切れたりする場合がありますので、ご使用はおすすめできません。

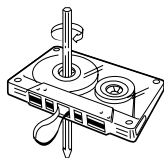


わかめ状になったテープ



伸びたテープ

テープたるみがあると巻き込んだりする場合がありますので、ご使用の前に図のようにたるみを取り除いてください。



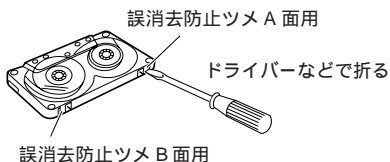
テープのはじめには、リーダーテープ (録音できない部分) があります。あらかじめ、約5秒間テープを走行させてから録音を始めてください。

また、録音前に早送り、早戻しをすると、テープの巻きムラによって起こるカセットデッキへの負担が防げます。

録音したものを誤って消さないために

カセットテープの側面にある誤消去防止用のツメを折ってください。ツメを折っても、穴をセロハンテープなどで二重にしっかりと貼れば録音することができます。

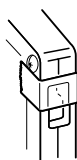
検知孔 (P.28) をふさがないようにご注意ください。



誤消去防止ツメ A 面用

ドライバーなどで折る

誤消去防止ツメ B 面用



保管

カセットケースに入れて、ホコリ・油・湿気・磁気の影響を受けないところに保管してください。

カセットデッキのヘッドは汚れていませんか?

* いままでにお客様の製品で、カセットデッキのヘッド汚れによるこんな故障がありました。

正常に録音できない・音がこもっている

高音が出ない・正常に再生しない

音が出ない・音がおかしい

* それほどにヘッド部の清掃は重要なのです。

製品を自分で故障させないために、いつもきれいにしておいてください。

おおよそ 10 時間程度の使用を目安に汚れを拭きとってください。

清掃のしかた

① カセットトレイ開閉ボタンを押してカセットトレイを開ける。

② クリーニングカセットをセットする。

③ 再生ボタンを押してテープを走行させる。

乾式のクリーニングカセットは使用しないでください。別売のカセットクリーニングキット“JV-C1”のご使用をおすすめします。



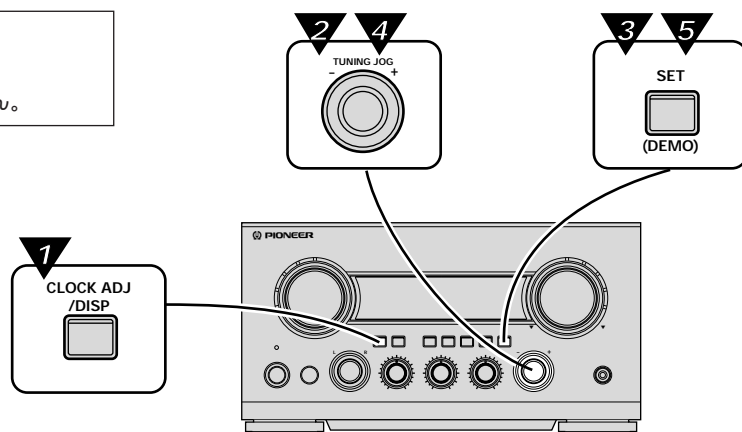
清掃後は、クリーニング液が乾くまで (2 ~ 3 分) テープをセットしないでください。

クリーニングカセットについて

市販されているクリーニングカセットの中には、構造不備のため、クリーニングカセット自体が取り出せなくなる恐れのあるものがありますのでご注意ください。

時計を合わせる

- 電源オフ(スタンバイ)で行います。
- 24 時間表示です。
- 時計合せをしていないとタイマーが使えません。



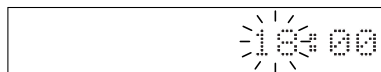
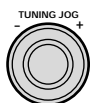
(例) 午後 6 時 40 分(18:40)に合わせる場合

1 時刻合せ / 表示切換ボタン(CLOCK ADJ / DISP)を約 5 秒間押す



前回時計合わせをしていないときは、ボタンを押すとすぐに上の表示になります。

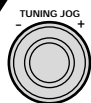
2 チューニングジョグ(TUNING JOG)を回して"時"を合わせる



3 セットボタンを押す



4 チューニングジョグ(TUNING JOG)を回して"分"を合わせる



5 時間になったらセット(SET)ボタンを押す



電話の時報などで合わせることをおすすめします。

おねがい

停電があったときは時計を合わせ直してください。

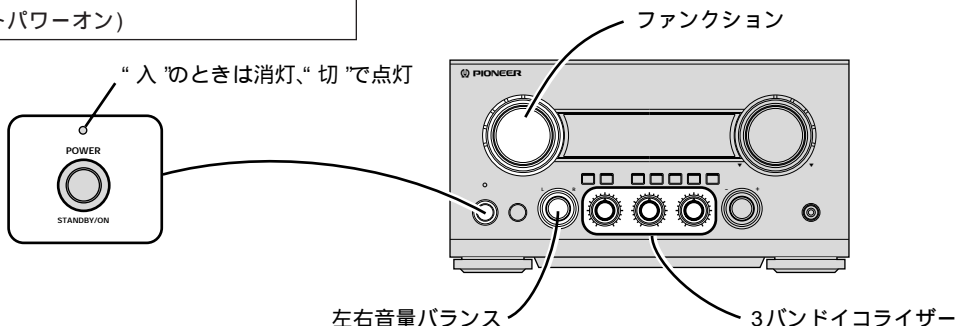


電源オフ(スタンバイ)中に時刻合せ / 表示切換ボタン(CLOCK ADJ / DISP)を押すと約5秒間時刻を表示します。

電源を入れる / 演奏する / 音質を変える

もう一度「接続のしかた」を見て、スピーカーやアンテナなどが接続されているか確認しましょう。

- 電源の入/切はチューナーアンプの電源スイッチで行います。
- 各機の再生ボタンを押しても電源が入って再生をはじめます。(ダイレクトパワーオン)



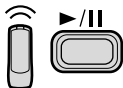
ダイレクトパワーオン

CD



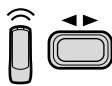
CDが入っていれば再生をはじめます。

MD



MDが入っていれば再生をはじめます。

テープ



テープが入っていれば再生をはじめます。リモコンは前に再生していた方向へ再生します。もう一度ボタンを押すと逆方向になります。

放送



ラジオ放送になります。



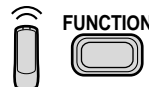
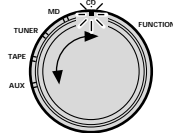
MDのスロットインオートプレイ
再生専用MDまたは誤消去防止つまみを開けたMDを挿入すると、電源が入って再生をはじめます。



CD やカセットデッキのトレイ開閉ボタン (OPEN / CLOSE) を押しても電源が入って動作します。MDが入っているときはMD取出しボタンを押しても電源が入って動作します。

ファンクションを切替える

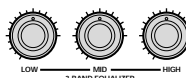
演奏したい機器に合わせます。



2台のCDプレーヤーのうち、どちらが選ばれているのかは、表示部に"CD 1"または"CD 2"と表示します。

音質を変える (3 バンドイコライザー)

低音 中音 高音

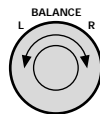


↶ に回すと弱まり、↷ に回すと強められます。

- MD のアナログ録音、あるいはテープ録音は設定した音質で録音されます。
- 外部出力は音質の設定には関係ありません。

左右の音量バランスを調整する

右の音が小さくなります。



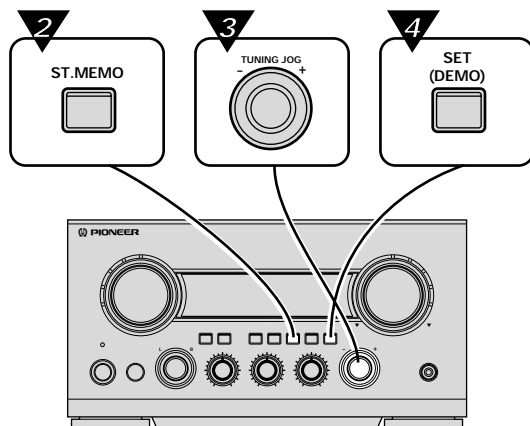
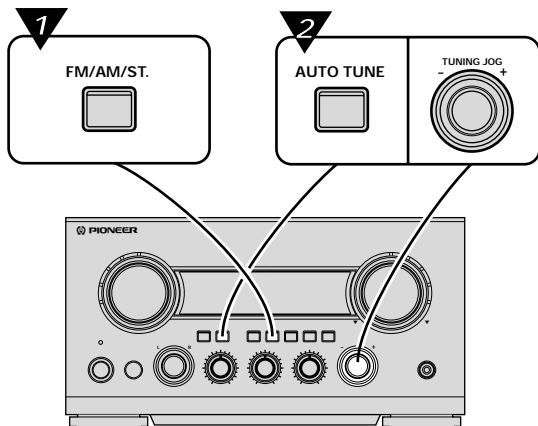
左の音が小さくなります。

通常は中央にしてください。

L—BALANCE—R
—+—

ラジオ放送を聞く

アンテナは接続されていますか [P.6](#) [P.7](#) [P.8](#) [P.10](#)



放送を受信する(チューニング)

1 FM または AM を選ぶ



2 受信する

オートチューニング

- 1.
2. つまみを少し回す(アップ ↓ ダウン ↺) とオートチューニングを開始します。
3. 放送を受信すると止まります。
オートチューニングは解除されます。

マニュアルチューニング

- 希望の周波数になるようにつまみを回します。
- FM ステレオ放送を受信して雑音が多いときはリモコンの MONO ボタンを押してください。モノラル受信になりますが聞きやすくなります。

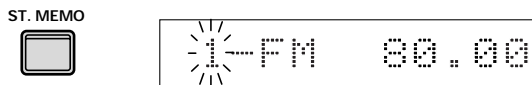
放送局を記憶する(ステーションメモリー)

最大30局の放送局をメモリーできます。
(例)FM80.0MHzをステーション2へメモリーする場合

1 受信する

モノラルのオン/オフもメモリーできます。

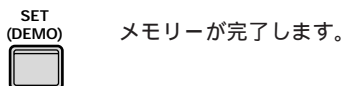
2 ステーションメモリーボタン (ST.MEMO)を押す



3 ステーション番号を選ぶ



4 セットボタンを押す



- ステーションメモリーを中止したいときは、ST.MEMO ボタンを押します。

準備

基本操作

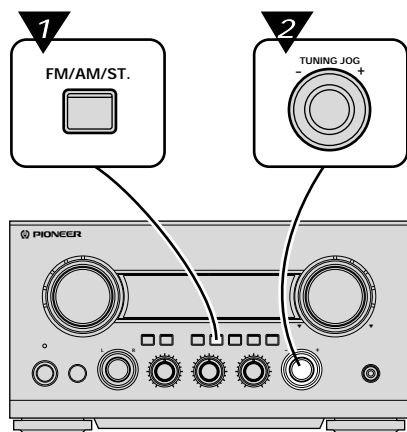
M D 編集

応用操作

リミックス

その他

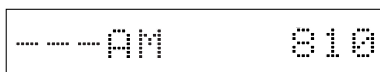
ラジオ放送を聞く



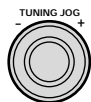
放送局を呼び出す (ステーションコール)

1 ステーションモードにする

FM/AM/ST.



2 ステーション番号を選ぶ



リモコンで呼出す

ファンクションがTUNERのときに数字ボタンで呼出します。
(1 ~ 10/0、> 10、CLR)

ステーション 1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。

ステーション 10 :

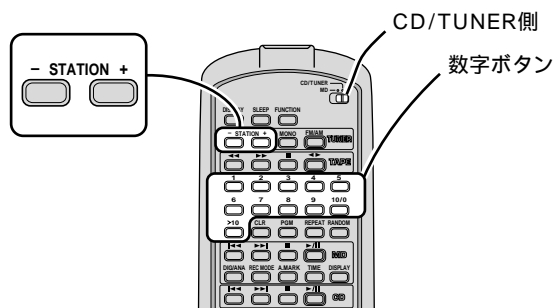
ステーション 11 ~ 30 : を押してから番号を選ぶ

(例)

ステーション 11			
ステーション 15			
ステーション 30			

2桁入力時に CLR ボタンを押すと入力を解除します。

リモコンの STATION - / + ボタンでも呼出せます。



注意!!

すでにメモリーされているステーションへメモリーすると前の放送局は消去され、新しい放送局がメモリーされます。

注意!!

- FM90MHz ~ 108MHz はテレビ信号が影響してオートチューニングできないことがあります。
- テレビ受信はFM受信と兼用のため、FM放送が混信することがあります。



テレビの 1 ~ 3 チャンネルは次の周波数です。

1ch: 95.75MHz

2ch: 101.75MHz

3ch: 107.75MHz

音声はモノラルまたは主音声のみです。

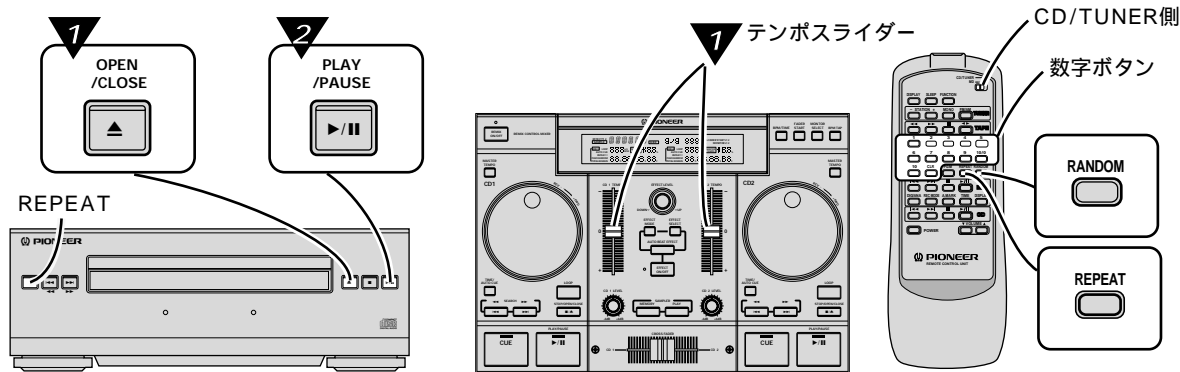


ステップ周波数を切換えるには:

国内では通常 FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとに変わるように設定されていますが(ステップ周波数)、これを FM 放送は 100kHz ステップに、AM 放送は 10kHz ステップに変えることができます。

1. 電源をオフにする。
2. ステーションメモリーボタンを 5 秒間押しつづける。
3. ステップ周波数表示が出たらステーションメモリーボタンを押してステップ周波数を選ぶ
ステップ周波数表示を約 5 秒間行います。

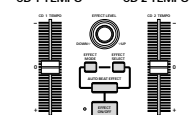
CD を聞く



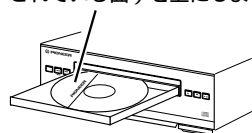
1 曲目から順に演奏する

1 ディスクを入れる

CD 1 TEMPO CD 2 TEMPO



レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上に入します。



リミックスコントロール
ミキサーのテンポスライ
ダーを“0”にする。

2 再生 / 一時停止ボタンを押す



演奏を止める	STOP
演奏を一時停止する	PLAY /PAUSE
一時停止から演奏を再開する	PLAY /PAUSE
頭出しをする ● ボンと押します。 ● 停止中は頭出しの曲を設定できます。 演奏するときは再生 / 一時停止を押します。	SEARCH
早送り / 早戻しをする ● 演奏中に押しつづけます。	SEARCH

再生、停止、一時停止、頭出しは、リモコンでも操作できます。

聞きたい曲を選ぶ

（リモコン操作）

ファンクションがCD のときに数字ボタンを押すと、その曲を演奏します。

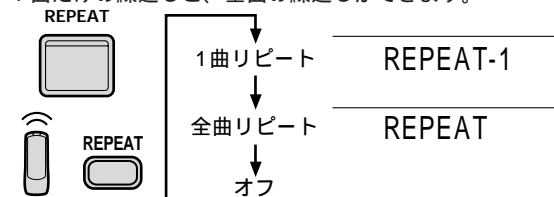
- 1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。
- 10 : を押す。
- 11 以上 : を押してから番号を選ぶ。

- （例）15 曲目 1 5
20 曲目 2 10/0

2 桁入力時に[CLR]を押すと入力モードを解除します。

繰返し演奏する（リピート演奏）

1 曲だけの繰返しと、全曲の繰返しができます。



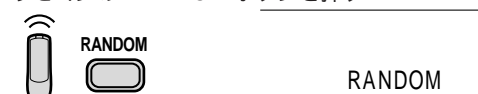
リピート演奏をやめるには

- 演奏を停止する(■)。
- リピートオフを選ぶ(インジケータ消灯)。

順不同で演奏する（ランダム演奏）

曲を無作為に選んで 1 回ずつ演奏します。

リモコンの RANDOM ボタンを押す



ランダム演奏をやめるには

- 演奏を停止する(■)。

準備

基本操作

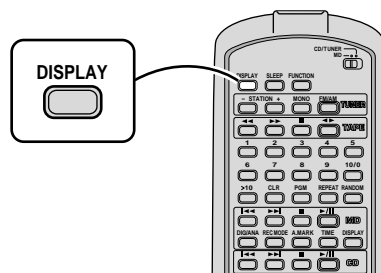
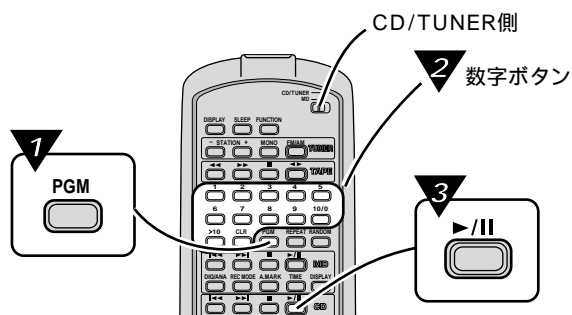
M D 編集

応用操作

リミックス

その他

CD を聞く



好きな曲を予約する(プログラム演奏)

リモコンで行います。
32 ステップまでプログラムできます。
(例)CD1 で 3 曲目、10 曲目、12 曲目の順に演奏する場合。

1 ファンクションが CD で停止中に PGM ボタンを押す



PROGRAM インジケータが点灯

CD1- 1 0:00 PROGRAM

2 曲番を指定する

3 10/0 >10 1 2 と押します。

プログラムステップ数を表示。

CD1-12 P-03 PROGRAM

プログラム総演奏時間を表示します。

CD1-12 24:38 PROGRAM TOTAL

3 再生 / 一時停止ボタンを押す



演奏をはじめます

プログラムを取り消すには

下記のいずれかの操作で取消せます。

- 演奏中：停止ボタンを 2 回押す。
- 停止中：停止ボタンを 1 回押す。
- ディスクトレイ開閉ボタンを押して、CD を取出す。

曲番をまちがえたときには

クリアーボタン (CLR) を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。

表示を切替える

ファンクションが CD のときにチューナーアンプの時計合せ / 表示切替ボタン (CLOCK ADJ / DISP) を押して順に切替えることができます。

CLOCK ADJ / DISP



DISPLAY

- ① 演奏中の曲番、演奏経過時間
- ② 演奏中の曲番、曲の残り時間 (REMAIN インジケータが点灯)
- ③ 総曲数、総演奏時間 (TOTAL インジケータが点灯)



- CD を 2 枚重ねて入れたり、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- 8cmCD アダプターは使用しないでください。



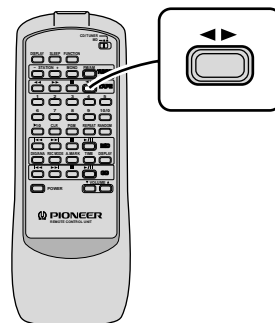
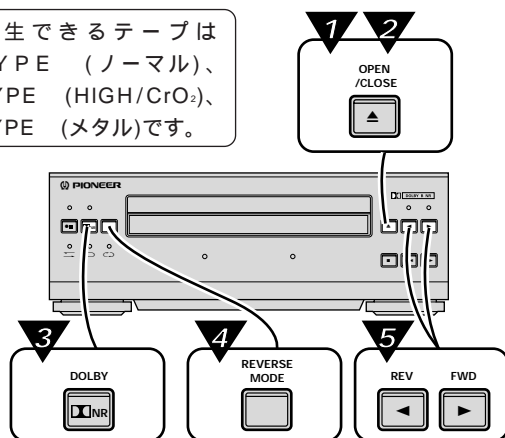
- 1 曲リピート中にマニュアルサーチ (◀, ▶) で別の曲に移ったときは、その曲を繰返します。
- ランダム演奏中に全曲リピートにするとランダム演奏を繰返します。(ランダムリピート)
- プログラム演奏中にランダムボタンを押すとプログラム演奏が解除されランダム演奏します。
- ランダム演奏中にランダムボタンを押すと、演奏中の曲を中止し、別の曲を選んで演奏します。

リモコンでの CD 操作

2 台の CD のうち、リモコンで操作できるのはチューナーアンプのファンクションつまみ、またはリモコンのファンクションボタンで選択された CD です。選択された CD はチューナーアンプの表示部に表示されます。リミックスがオンのときは 2 台の CD を同時に動作させることができますが、チューナーアンプの表示はあくまでもリモコンで操作できる CD の表示となります。

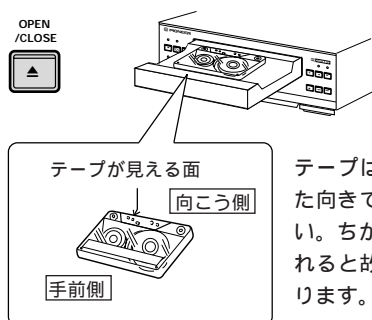
テープを聞く (介) ヘッドは汚れていませんか? P.20

- 再生できるテープは
TYPE (ノーマル)、
TYPE (HIGH/CrO₂)、
TYPE (メタル)です。



基本操作

1 テープを入れる



テープは必ず図に示した向きで入れてください。ちがった向きで入れると故障の原因になります。

トレイを開けた後はフォワード方向(▶)に切り替わります。

2 カセットトレイを閉じる



3 ドルビー NR を選ぶ



ドルビー B タイプ NR オン オフ

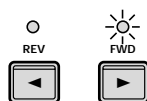
録音時と同じ設定にしてください。

4 リバースモードを選ぶ



- ▶ : 片面再生が終わると停止します。
- ◀▶ : ◀方向の再生が終わると停止します。
- ◀▶ : 最大16面まで繰返し再生します。

5 再生ボタンを押す



—— フォワード再生中

インジケーターが点灯している側が再生方向です。

再生を止める



早送り、巻戻し

- 停止から押します。
- 再生インジケーターが点滅します。



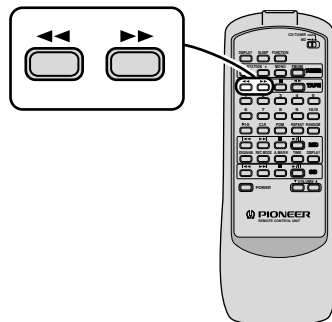
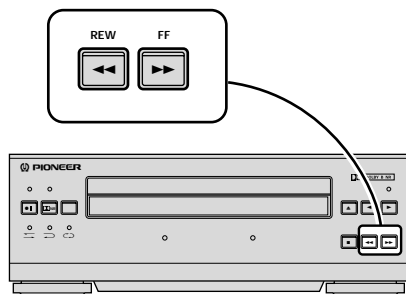
巻戻し 早送り



- カセットをトレイにのせるとき、A面を上になれば▶がA面に、◀がB面になります。
- リモコンの再生ボタンでは、前回の再生方向から再生します。
- 再生中に押すと逆方向に切り替わります。

ドルビー NR システムについて

ドルビー NR システムは、テープ再生中に生じる高域のテープヒスノイズ (サーという雑音) を減らすシステムです。録音時に、雑音が耳につきやすい高域の小音量の部分のレベルを上げて録音し、再生時にこのレベルを上げた分だけ減衰させて、もとのレベルに戻します。このとき、同じ耳につきやすい雑音も低減されます。ドルビー NR システムをオンして録音したテープは、再生時もドルビー NR システムをオンして再生してください。オンで録音をオフで再生したり、オフで録音をオンで再生すると、原音に忠実な再生ができません。



曲の頭出しをする(ミュージックサーチ)

再生中に早送り、巻戻しボタンを押す

▶▶を押すと次の曲の頭出しをします。

◀◀を押すと聞いている曲の頭出しをします。

押した回数によって飛び越し選曲もできます。(最大前後15曲まで)

(例) 3曲目再生中

▶▶を2回押した場合.....5曲目の頭出し

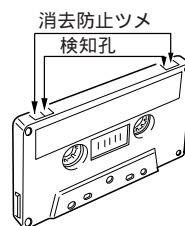
```
SEARCH  P+  2
VOL      8
```

◀◀を2回押した場合.....2曲目の頭出し

```
SEARCH  P-  2
VOL      8
```

オートテープセレクト機構

カセットテープの側面にある検知孔によりテープの種類を検知して、それぞれのテープに合った録音バイアス、イコライザーを自動的に設定します。



TYPE II (ハイポジション / クロームテープ)

注意!! テープにラベルを貼る場合は、重ね貼りはしないでください。1枚だけしっかりと貼付けてください。



ラベル



頭出しは、曲と曲のあいだに約4秒以上の無録音部分がある場合に機能します。



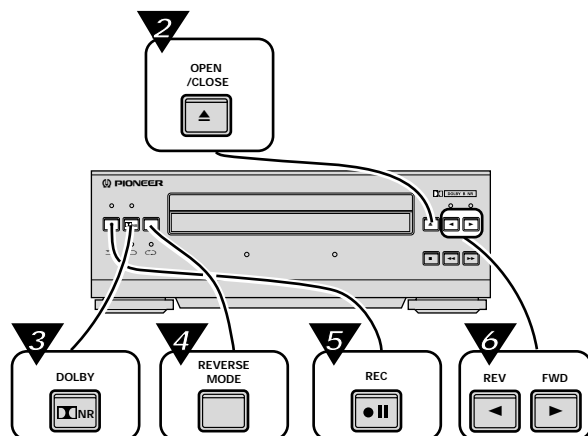
曲と曲のあいだの無録音部分(約4秒以上)が判別しづらいテープ(曲間に雑音がある、曲の途中で音がきれる、など)を使うと、頭出し動作をしない場合があります。

テープに録音する



ヘッドは汚れていませんか? P.20

- 録音できるテープはTYPE (ノーマル)、TYPE (HIGH/CrO₂)です。



基本操作

1

チューナーアンプで演奏する機器(ファンクション)を選ぶ

- チューナーを録音する場合は放送を受信しておいてください。

2

テープを入れる

- 録音用テープはリーダー部分を先送りして、磁性面にしておいてください。
- 誤消去防止ツメの折れているテープには録音できません。 P.20

3

ドルビー NR を選ぶ



ドルビー B タイプ NR オン オフ

4

リバースモードを選ぶ

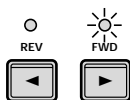


→ : 片面録音で終了します。

↔ : A面(▶)からB面(◀)へ録音します。
B面(◀)から録音したときは片面で終了します。

5

録音ボタンを押す



再生インジケータの片方がゆっくり点滅します。

6

再生ボタンを押す



フォワード方向(▶)に録音します。



リバース方向(◀)に録音します。

リモコンのときは点滅している方向へ録音します。

7

1 で選んだ機器を演奏する

録音を止める	STOP (本体)
録音を一時停止する	(録音中に) REC
録音を再開する	(録音一時停止中に) REV FWD



- 録音中にはファンクションの切換えはできません。(録音一時停止にすれば可能です。) 音質調整(22ページ)は、録音の音質にも有効となります。



- 本機はALC (Auto Level Control) により自動的に録音レベルを設定します。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断では使用できません。

準備

基本操作

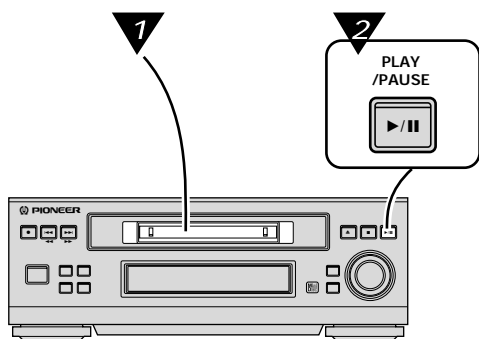
M D 編集

応用操作

リミックス

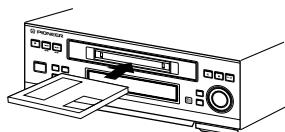
その他

MD を聞く



1 曲目から順に再生する

1 MD を入れる



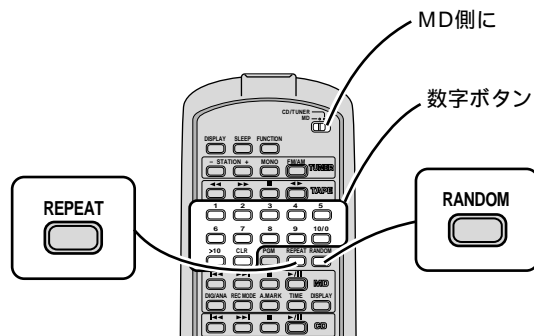
ラベルを上にして矢印の方向から入れます。

途中から自動的に引き込まれます。

2 再生 / 一時停止ボタンを押す



再生する前にディスクの最初に記録されているTOC情報を読み取りますので、その間は音が出ません。



聞きたい曲を選ぶ

(リモコン操作)

ファンクションがMDのときに数字ボタンを押すと、その曲を再生します。

1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。

10 : と押す。

11 ~ 99 : を押してから数字ボタンで番号を選ぶ。

100 以上 : を2回押してから数字ボタンで番号を選ぶ。

(例) 15 曲目
 20 曲目
 108 曲目

2、3桁入力時に **CLR** を押すと入力モードを解除します。



- 「再生専用MD」、「録音・再生用MDで誤消去防止つまみが開いているもの」を挿入すると再生ボタンを押さなくても再生をはじめます。
- 曲名が入っているMDは再生時に曲名を表示します。

再生を止める	
再生を一時停止する	
一時停止から再生を再開する	
頭出しをする ● ポンと押します。 ● 停止中は頭出しの曲を設定できます。再生するときは再生 / 一時停止を押します。	
早送り / 早戻しをする ● 押しつづけれます。	

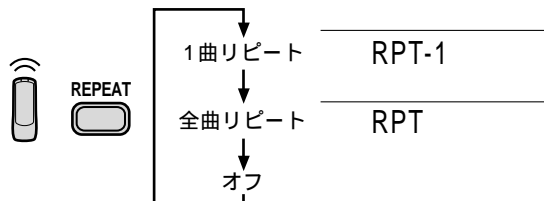
停止、一時停止、頭出しはリモコンでも操作できます。

MD を聞く

繰返し再生する(リピート再生)

1 曲だけの繰返しと、全曲の繰返しができます。

リモコンの REPEAT ボタンを押す



リピート再生をやめるには

- 再生を停止する(■)。
- リピートオフを選ぶ(インジケーター消灯)。

順不同で再生する(ランダム再生)

曲を無作為に選んで 1 回ずつ再生します。

リモコンの RANDOM ボタンを押す



ランダム再生をやめるには

- 再生を停止する(■)。

表示を切換える

本体の表示切換 / キャラクターボタンまたは、リモコンの DISPLAY ボタンで順に切換えることができます。

- ① タイトル表示(タイトルが無い場合は②になります)
- ② タイム表示("タイム表示を切換える"を参照)
- ③ レベルメーター表示
- ④ 録音した曲数、録音できる残り時間
(5 秒後 ① に戻る)

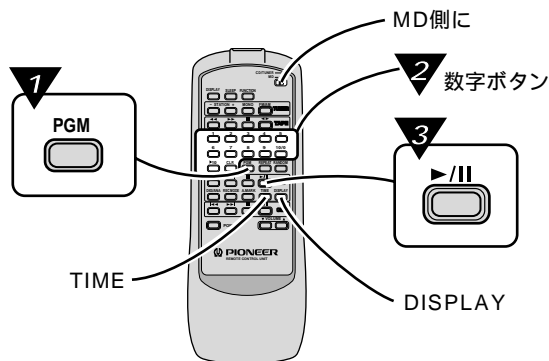
タイム表示を切換える

リモコンの TIME ボタンで順に切換えることができます。

- ① 再生中の曲番、演奏経過時間
- ② 再生中の曲番、曲の残り時間
- ③ 再生終了までの残り時間
- ④ 録音した曲数、総再生時間(5 秒後に ① に戻る)



- ランダム再生中に全曲リピートにするとランダム再生を繰返します。(ランダムリピート)
- プログラム再生中にランダムボタンを押すとプログラム再生が解除されランダム再生します。
- ランダム再生中にランダムボタンを押すと、再生中の曲を中止し、別の曲を選んで再生します。
- リピート再生中あるいはランダム再生中に編集メニュー(41 ページ)に入ると、リピート再生あるいはランダム再生を解除します。



好きな曲を予約する(プログラム再生)

リモコンで行います。

25 ステップまでプログラムできます。

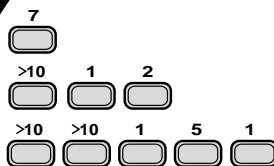
(例) 7 曲目、12 曲目、151 曲目の順に再生する場合。

1 MD 停止中に PGM ボタンを押す



0 P-00 PGM

2 曲番を指定する



と押します。

曲番とプログラムステップを表示します。

151 P-03 PGM

プログラムステップとプログラムの総再生時間を表示します。

3 11:46 PGM

3 再生 / 一時停止ボタンを押す



再生をはじめます

プログラムを取り消すには

下記のいずれかの操作で取消せます。

- 再生中： 停止ボタンを 2 回押す。
- 停止中： 停止ボタンを 1 回押す。
- MD 取出しボタンを押して、MD を取出す。

曲番をまちがえたときには

停止中にクリアーボタン (CLR) を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。

MD に録音する前にお読みください

MD 録音とテープ録音のちがい

- MD は片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます **[P.31]**。

TOC (Table of Contents) について

MD に録音をすると、曲番や録音場所などの情報がディスクの内周部分に記録されます。再生や編集はこれらを使って行います。

TOC は次のときに MD に記録されます。

- MD を取出したとき
- 電源を切ってスタンバイになるとき

TOC の記録中 (“TOC” 点滅中) に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、正しい再生ができなくなる場合があります。

デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz に対応しています。したがって、以上のサンプリング周波数の機器 (BS/CS チューナーや DAT など) を直接デジタル録音することができます。サンプリング周波数の切換えは自動的に行われます。

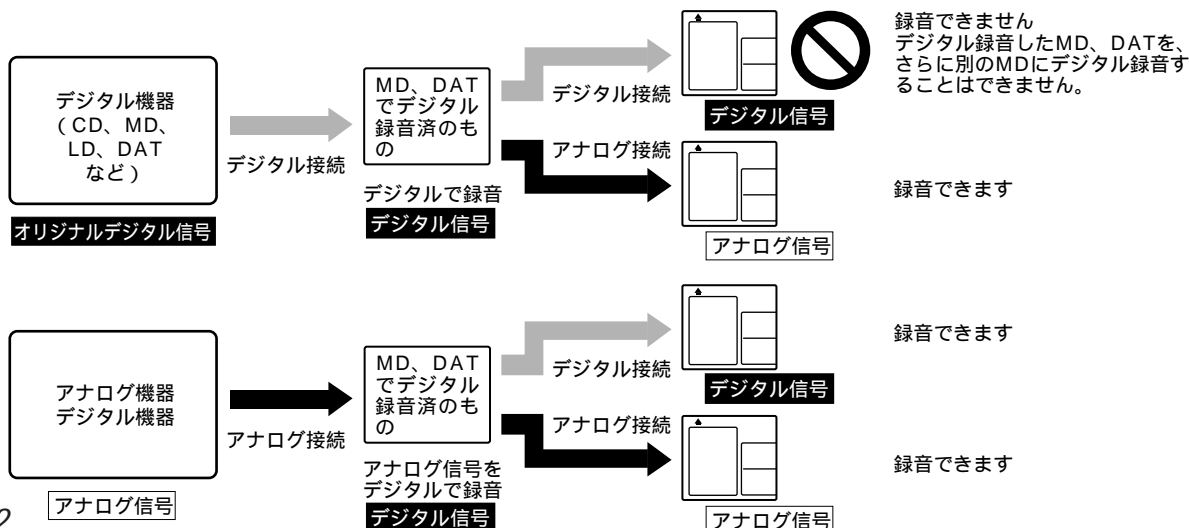
曲番号について

録音すると自動的に曲番がつけられます。追加録音するたびに順に曲番が大きくなります。

- CD のデジタル録音
CD の曲番と同じところに、1 曲ごとの曲番が自動的につきます。(シンクロマーク機能) ただし、CD の曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

デジタルコピーに関するご注意

CD からデジタル録音したものを、さらに別の MD や DAT などにデジタル録音 (コピー) することはできません。これは、SCMS (シリアルコピー管理システム) により定められているためです。



- ラジオ放送の録音
1 回の録音を 1 曲として曲番を付けます。
- CD のアナログ録音やテープ、外部機器 (AUX) のアナログ録音
 - 1.5 秒以上の無音部分があると、曲間とみなして自動的に次の曲番をつけます (オートマーク機能)。
ただし、雑音があるときなど、録音の内容によって正しい位置につかないこともあります。
 - オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として録音することもできます。 **[P.40]**
- 外部機器 (AUX) のデジタル録音
録音ソースが CD、MD の場合、ソースの曲番と同じところに 1 曲ごとの曲番が自動的に付けられます。(シンクロマーク機能) ただし、録音ソースの曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。録音ソースが CD、MD 以外の場合は必要に応じてオートマーク機能をご使用ください。

デジタル / アナログ録音の切換えについて

- CD あるいは外部機器 (AUX) を録音するときのみ、切換え可能です。
本体のメニュー操作、またはリモコンで切換えます。
- ラジオ放送、テープを録音するとき、あるいはリミックスがオンのときは、アナログ録音となります。


注意!!

次のようなときは録音できません

- 再生専用 MD (市販の音楽ソフト) に録音しようとしたとき。
- MD の誤消去防止状態になっているとき。
- MD の録音可能時間が残っていないとき。
- “**TOC** **フル**” が表示されたとき。
- **TOC** が異常なとき。

MD に録音する前にお読みください

録音レベルについて

- CD あるいは外部機器(AUX)のデジタル録音は、録音レベルの調整の必要はありません。
- アナログ録音時は、録音をはじめる前に録音レベルを調整します .

録音中に停電すると

MDへの録音中にコンセントが抜けたり、停電があっても、その時の録音内容を保持します(停電前数秒間の音声は除きます)。次に電源がオンになった時に TOC の記録を行います。ただし録音内容を保持できるのは約2日程です。電源プラグをコンセントから抜く場合には必ずディスクを取出してからにしてください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問合わせ先： 社団法人 私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティタワー11F

電話 (03)-5353-0336 FAX. (03)5353-0337

MD のシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに“ ^{トック} TOC FULL”が表示されることがある。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大(255曲)になっていなくても、TOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このようなMDは、全曲イレース機能を行えば最初から使用できます。)
MD の最大録音時間になっていないのに“ ^{ディスク} DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 また、デジタル入力から録音した曲(CDやMDなど)と、アナログ入力から録音した曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早戻し/早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し/早送り中に音がとぎれることがあります。

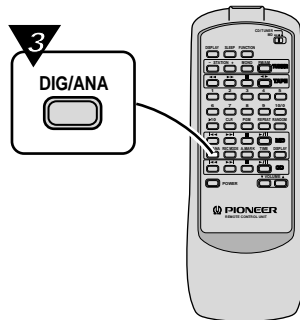
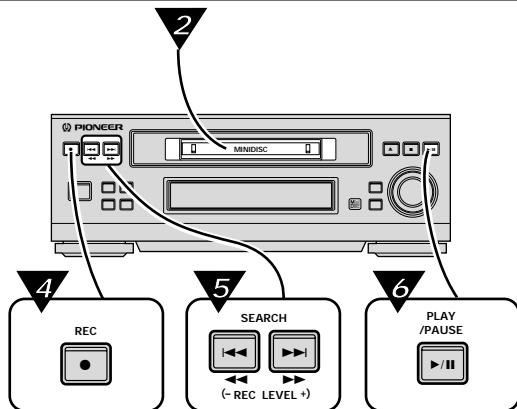
MD に録音する前にお読みください

こんな表示が出たときは

表 示	意 味	このようにしてください
ノードディスク NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが入っていない。 ● MDのデータが読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを入れる。 ● MDをもう一度入れ直す。
ディスクエラー DISC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがついている。 ● TOCがMDに書き込まれていないか、データに異常がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDをもう一度入れ直す。 ● 他のMDと取りかえる。
アンノウンディスク UNKNOWN DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● データに異常がある。規格外のMDである。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。
ユーートックエラー UTOC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、読み取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
ディスクフル DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● MDに録音できる空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
ブランクディスク BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生するときは、録音されたMDと取りかえる。
ノードトラック NO TRACK	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽が録音されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音されたMDと取りかえる。
プリマスタード PREMASTERED	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音用MDと取りかえる。
プロテクト PROTECTED	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが誤消去防止状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止状態をもとに戻す。
トラックフル TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
キャントレコ Can't REC	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音をやり直すか、MDをかえてみる。
テンポオーバー TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度が高くなりすぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ってしばらく休ませる。
キャンテディット Can't EDIT	<ul style="list-style-type: none"> ● 編集できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
ネームフル NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク、曲名の合計が1700文字をこえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名/曲名を短くする。
デフェクト DEFECT	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
メカエラー MECHA ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが正しく働いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、ACプラグを抜いて再度つないでみる。
キャンコピー Can't COPY	<ul style="list-style-type: none"> ● コピー禁止のものから録音しようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コピー可能なもの(一般のCDなど)に換える。 (表示が消えた場合は、そのままお使いいただけます。)
ノートオーディオ NOT AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> ● オディオ用でないデータが記録されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを取りかえる。
ユーートックライトエラー UTOC W ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 (書き込み中はショックを与えないで下さい。)
ユーートックリードエラー UTOC R ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、読み取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
ポイントエラー POINT ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● A-Bコンパイン編集でのA点、B点の指定がおかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● A点、B点の指定をやり直す。

MD に録音する

- 録音できる MD は、録音・再生用 MD です。



マニュアル録音する

1

チューナーアンプで演奏する機器(ファンクション)を選ぶ

- チューナーを録音する場合は、放送を受信しておいてください。
- ファンクションMDは選ばないでください(録音できません)。

2

MD を入れる

誤消去防止状態になっている MD には録音できません。

3

CD あるいは外部機器(AUX)を録音する場合は

リモコンでデジタル録音かアナログ録音かを選ぶ



DIG/ANA

DIGITAL

DIGITAL ← → ANALOG

本体のメニュー操作でも選択できます。
リミックス(62ページ)がオンのときはアナログ録音のみが可能です。

4

停止から録音ボタンを押す



録音一時停止になります。

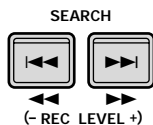
CD あるいは外部機器のデジタル録音 → 6へ
アナログ録音 → 5へ

5

録音レベルを調整する

アナログ録音時のみ調整できます。

1で選んだ機器を演奏状態にしてください。



REC LEVEL 48

0 から 64 の範囲で調整できます。

- 録音レベル表示でレベルオーバー(OVERが点灯)しないようにしてください。
- 音質調整をしない場合の録音レベルの標準は48前後です。
- 音質調整をすると録音レベルが変化しますのでご注意ください。

調整が終わったら演奏を停止してください。

次ページへ続きます。

準備

基本操作

MD編集

応用操作

リミックス

その他

MD に録音する

6 再生 / 一時停止ボタンを押す



録音が始まります

7 1 で選んだ機器を演奏する

録音をやめる



録音を一時停止する



録音を再開する



- 録音中にはファンクションの切換はできません。(録音一時停止にすれば可能です)
- デジタル録音の場合は音質調整は録音の音質には効果がありません。アナログ録音は設定した音質で録音されます。



- 録音中に録音ボタンを押すと、そこから曲番を1つ増やして、別の曲として録音します。

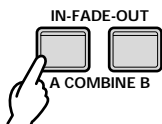
フェードインで録音をはじめ、フェードアウトで録音を終了したいとき

アナログ録音では、フェードイン(徐々に音が大きくなってゆく)で録音をはじめたり、フェードアウト(徐々に音が小さくなってゆく)で録音を終了することができます。

フェードイン録音

6 で再生 / 一時停止ボタンのかわりにフェードインボタンを押します。

FADE IN

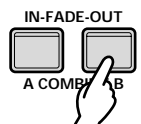


約 6 秒間でフェードインを行います。

フェードアウト録音

録音をやめる時に停止(■)や一時停止(▶/||)のかわりにフェードアウトボタンを押します。

FADE OUT



約 6 秒間でフェードアウトを行い、録音一時停止になります。



- 録音レベルが13以下のときはフェードイン録音、フェードアウト録音はできません。
- フェードイン録音、フェードアウト録音は、デジタル録音はできません。



A.S.E.S. 中(P.50)にフェードアウトを行うと、フェードアウトした後 A.S.E.S. を終了して停止します。

CD のデジタル録音、アナログ録音を本体メニュー操作で選択するには

- ① ファンクションをCDあるいは外部機器(AUX)にする。(手順 1)
 - ② MD を入れる(手順 2)
 - ③ 録音ボタン(●)を押す。(手順 4)
- このあとで
- ④ メニューボタン(MENU)を押す。
 - ⑤ ジョグを回して "INPUT SELECT" を選ぶ

INPUT SELECT

- ⑥ セットボタン(SET)を押す。
- ⑦ ジョグを回して "ANALOG?" か "DIGITAL?" のいずれかを選ぶ。

DIGITAL ?

DIGITAL ANALOG

- ⑧ セットボタン(SET)を押す。
- ⑨ デジタルを選んだときは再生 / 一時停止ボタンを押して録音をはじめます。(手順 6 , 7)
アナログを選んだときは録音レベルを調整して録音をはじめます。(手順 5 ~ 7)

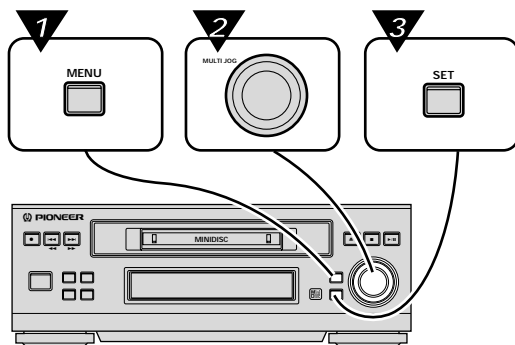


CD あるいは外部機器(AUX)でのデジタル録音、アナログ録音の設定は、最後の状態がメモリーされます。



MD の記録曲数は最大 255 曲ですが、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

MD に録音する



シンクロ録音する

デジタル録音、アナログ録音するときに、音楽等が始まると自動的に MD が録音を開始し、音楽等が終わると録音一時停止になります。このときスペースカットとオートマーク機能がはたらきます。ラジオ放送および MD ファンクションでは、シンクロ録音は選べません。

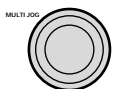
「マニュアル録音する」(35 ページ)の 1 ~ 5 を行ってください。

- ① ファンクションを選ぶ
- ② MD を入れる
- ③ CD あるいは外部機器(AUX)の録音のときはデジタル録音 / アナログ録音を選ぶ(リモコン)
- ④ 録音ボタンを押す
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調節する

1 メニューボタン(MENU)を押す



2 ジョグを回して“SYNCHRO REC”を選ぶ



SYNCHRO REC

3 セットボタン(SET)を押す

S.CUT
A.MARK

4 ファンクションで選んだ機器を演奏する

- 音が出ると同時に録音をはじめます。
- 録音したい機器の演奏をはじめてください。
- 演奏が終わると録音一時停止状態になります。

録音を止める



シンクロ録音一時停止中あるいは録音中に ▶/⏸ ボタンを押すと、シンクロ録音を解除して通常録音あるいは録音一時停止になります。



シンクロマーク機能

CD のデジタル録音、外部機器(AUX)の録音ソースが CD あるいは MD のデジタル録音の場合には、ソースの曲番と同じところに 1 曲ごとの曲番が自動的に付きます(シンクロマーク機能)。ただし録音ソースの曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。



スペースカット機能

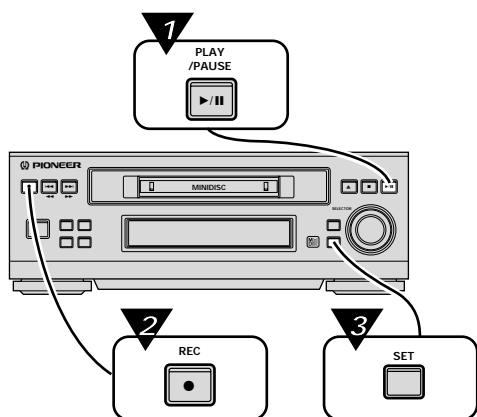
- シンクロ録音時、演奏に 4 秒以上の無録音があるときは、自動的に録音の待機状態になります。このあと演奏がはじまると録音を再開します。(4 秒間の曲間ができます)
- 演奏音の曲間に雑音があるとシンクロ録音やスペースカット機能が正しく働かないことがあります。その場合は、マニュアル録音してください。
- 非常に小さな音が 4 秒以上続く曲や、会話などはマニュアル録音を行ってください。
- 録音レベルの調整が低すぎる場合には、シンクロ録音が働かないことがあります。



オートマーク機能

- 1.5 秒以上の無音部分を曲間とみなして自動的に次の曲番をつける機能です。

MD に録音する



録音してある途中から録音する (オーバーライト録音)

新たに録音をはじめた位置以降の曲はすべて消えてしまいますのでご注意ください。

1 MD 再生中に録音をはじめたいところ で再生 / 一時停止ボタンを押す




再生一時停止になります。

2 録音ボタンを押す



OVERWRITE?

オーバーライト録音をしない場合は  を押してください。


3 セットボタン(SET)を押す



録音一時停止になります。



「マニュアル録音する」(35 ページ)の **1** , **3** , **5** ~ **7** を行ってください。

- ① ファンクションを選ぶ。
- ② CD あるいは外部機器(AUX)録音のときはデジタル録音 / アナログ録音を選ぶ(リモコン)。
- ③ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。
- ④ 再生 / 一時停止ボタンを押す。
- ⑤ ① で選んだ機器の演奏をはじめる。

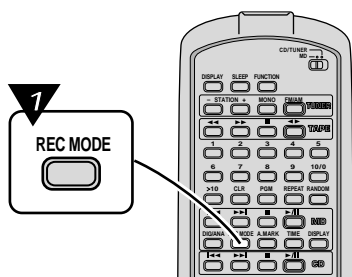
シンクロ録音をすることもできます()。

録音を止める



3 で  を押すと、その位置以降の曲は消去されます。元に戻したいときはアンドゥ(UNDO)操作()を行ってください。

MD に録音する



モノラルで長時間録音する

- ステレオモードの約 2 倍の時間の録音ができます。
モノラル演奏の曲やトーク番組などの録音に便利です。
- デジタル録音、アナログ録音のどちらでもできます。

1 リモコンの録音モードボタン (REC MODE) でモノラルを選ぶ



MONO LP

2 「マニュアル録音する (35 ページ)」の 1 ~ 5 を行う。

- ① ファンクションを選ぶ。
- ② MD を入れる。
- ③ CD あるいは外部機器(AUX)録音のときはデジタル録音 / アナログ録音を選ぶ(リモコン)。
- ④ 録音ボタンを押す。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調節する。

シンクロ録音をすることもできます(P.37)。

3 録音側、再生側の再生 / 一時停止ボタンを押す

PLAY / PAUSE



録音がはじまります。

録音を止める

STOP



録音モードを本体メニュー操作で選択するには

- ① 「マニュアル録音する」(35 ページ)の 1 ~ 5 を行う。
左記手順の 2 です。

- ② メニューボタン(MENU)を押す。
- ③ ジョグを回して "REC MODE" を選ぶ

REC MODE

- ④ セットボタン(SET)を押す。
- ⑤ ジョグを回して "MONO" が "STEREO" のいずれかを選ぶ。

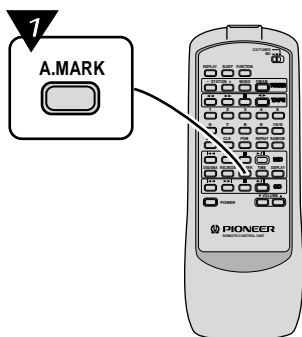
MONO ?

- ⑥ セットボタン(SET)を押す。



- 次回の録音をモノラルにしてしまわないために、モノラルで録音した後は、ステレオ録音に切換えておくことをおすすめします。
- モノラル録音中でもレベルメーターはステレオで振れます。

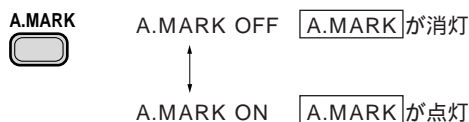
MD に録音する



ひと続きの曲として録音する

オートマーク機能 **[P.37]** を使わずに、1 回の録音を 1 つの曲番でひと続きの曲として録音することができます。CD のアナログ録音、TAPE および外部機器 (AUX) の録音で行えます。

1 リモコンのオートマークボタン (A.MARK) で "OFF" を選ぶ



2 「マニュアル録音する」(35 ページ) の 1 ~ 5 を行う

- ① ファンクションを選ぶ。
- ② MD を入れる。
- ③ CD 録音のときはアナログ録音を選ぶ(リモコン)。
- ④ 録音ボタンを押す。
- ⑤ 録音レベルを調節する。

3 録音側、再生側の再生 / 一時停止ボタンを押す



録音がはじまります。

録音を止める



オートマークのオン / オフを本体メニュー操作で選択するには

- ① 「マニュアル録音する」(35 ページ)の 1 ~ 5 を行う。
左の手順の **2** です。
- ② メニューボタン(MENU)を押す。
- ③ ジョグを回して "AUTO MARK" を選ぶ

AUTO MARK

- ④ セットボタン(SET)を押す。
- ⑤ ジョグを回して "ON" か "OFF" のいずれかを選ぶ。

A.MARK OFF ?

- ⑥ セットボタン(SET)を押す。



オートマークのオン / オフの設定はファンクションごと、およびリミックスモードでの最後の設定を記憶します。例えば、CD や TAPE から音楽を録音するのでオンにする。外部機器(AUX)はトークといっしょに録音するからオフにする。などを 1 度設定しておく、録音のたびに設定する必要がなくなり、便利です。



CD のデジタル録音、外部機器(AUX)の録音ソースが CD あるいは MD のデジタル録音およびラジオ放送の場合は、オートマーク機能は常にオフとなります。オンは選べません。



CD のデジタル録音、外部機器の録音ソースが CD あるいは MD のデジタル録音の場合には、ソースの曲番と同じところに 1 曲ごとの曲番が自動的に付きます(シンクロマーク機能)。

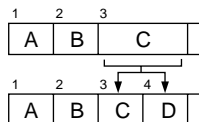
ただし、録音ソースの曲番と、録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

MD 編集機能の使いかた

編集メニューについて

編集機能を使って自分だけのディスクづくりができます。

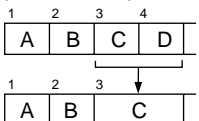
① 1 つの曲を 2 つの曲に分ける (デバイド)



C を 2 つに分けて新しく C、D の 2 曲にする。

分けた曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

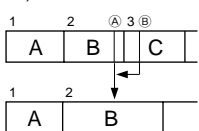
② 連続している 2 つの曲をつないで 1 つの曲にする (コンバイン)



C、D の 2 曲を 1 曲にして新しく C とする。

つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け変えます。

③ 曲の途中と途中をつないで 1 つの曲にする (A-B コンバイン)

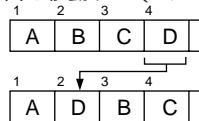


B の ㉠ と C の ㉡ の 2 点間をつないで新しく B とする。

㉠-㉡ 間は消去されます。

つないだ曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

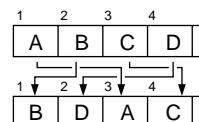
④ 曲を移動する (ムーブ)



4 曲目の D を 2 曲目に移動する。

並べかえた後の曲番は自動的に付け変えます。

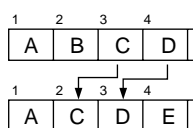
⑤ 曲を並べかえる (プログラムムーブ)



B、D、A、C の順に並べかえる。

プログラム演奏で指定した順に曲を並べかえます。並べかえた後の曲番は自動的に付け変えられます。

⑥ 1 曲または全曲を消してしまう (イレース / オールイレース)



2 曲目の B を消す。

消した曲は曲名ごと消えます。

全曲を消したときはディスク名も消えます。

消した曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

⑦ ディスクや曲に名前を付ける (ネーム)

アルファベット (A ~ Z、a ~ z) 数字、記号、カタカナで名前を付けることができます。

⑧ 今した編集をキャンセルして編集前の状態に戻す (アンドゥ)

今した編集をやり直したい場合に、その編集をキャンセルして編集前の状態に戻します。

CDやテープからの録音や放送を録音した曲の入ったディスクがあるときに、以下の手順で、自分だけのオリジナルディスクが作れます。

1. デバイド、コンバイン機能で曲を整理する。
2. イレース機能でいらぬ曲、トーク、CM を消す。
3. ムーブ機能で曲を並びかえる。または、プログラムムーブ機能で、プログラムした順に曲を並べかえる。
4. ネーム機能で曲名、ディスク名を付ける。



誤消去防止つまみが開いたディスク (P18) では、編集メニューは使えません。編集メニューを使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。

MD 編集機能の使いかた

編集メニューの選択

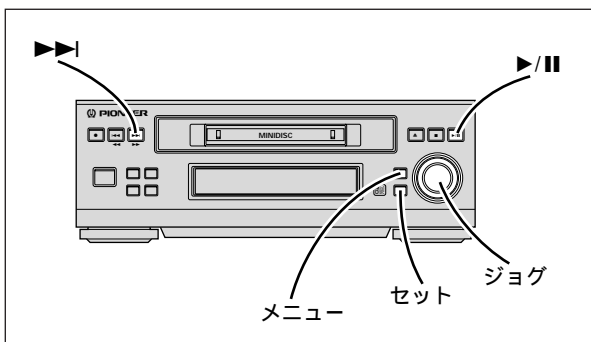
MDレコーダーの状態(動作モード)により選べる編集メニューが異なります。どのメニューが選択できるかは下表を参照してください。

印の編集メニューが選べます。

	デバイド	コンバイン	A-B コンバイン	ムーブ	プログラムムーブ	イレース	オールイレース	トラックネーム	ディスクネーム	アンドゥ
ディスクネーム表示か タイム表示で停止中	×	×	×	×	×	×		×		
録音中 / 録音待機中	×	×	×	×	×	×	×		×	×
曲番表示で停止中	×		×		×		×		×	×
再生中	×	×		×	×	×	×		×	×
再生一時停止中			×		×		×		×	×
プログラムされていて 停止中	×	×	×	×		×	×	×	×	×

停止中に  ボタンを押します。

MD 編集機能の使いかた



1つの曲を2つに分ける(デバイド)

(例) 3 曲目を 2 つに分ける場合

- 1 3 曲目を再生し、分けたいところで、再生 / 一時停止ボタン(▶/||)を押す。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ジョグを回して“DIVIDE”を選ぶ。

DIVIDE

- 4 セットボタンを押す。

DIVIDE OK?

分けて良いかを確認する表示です。

- 5 セットボタンを押す。

“COMPLETE”と表示が出て曲が分けられます。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。



- 分けた曲に曲名が付いていたときは、両方に同じ曲名が付きます。
- 1 枚の MD で最大 255 曲まで曲を分けることができます。(MD の状態によってはできないこともあります。)

2つの曲を1つにつなぐ(コンバイン)

選んだ曲と、その前の曲をつなぎます。

(例) 4 曲目と 5 曲目をつなぐ場合

- 1 停止中に▶|| ボタンで 5 曲目を選ぶ。あるいは 5 曲目を再生して、再生 / 一時停止ボタン(▶/||)を押し、一時停止状態にする。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ジョグを回して“COMBINE”を選ぶ。

COMBINE

- 4 セットボタンを押す。

COMB 4+ 5?

つないで良いかを確認する表示です。

- 5 セットボタンを押す。

“COMPLETE”表示が出て、4 曲目と 5 曲目が 4 曲目として 1 つになります。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。



- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15 秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

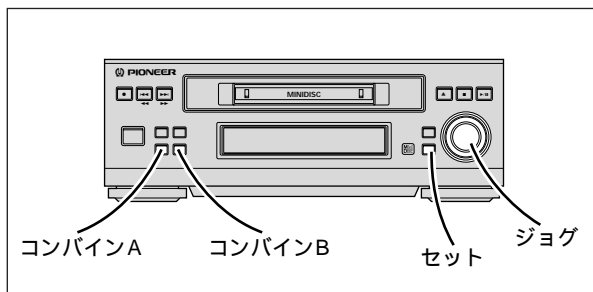


- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では 4 曲目)の曲名がつきます。前の曲名がついていないときは後の曲名がつきます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。



曲の途中までと、途中からをつなぎたいときは A-B コンバインを参照してください。

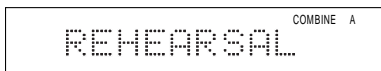
MD 編集機能の使いかた



曲の途中をつなぐには(A-B コンバイン)

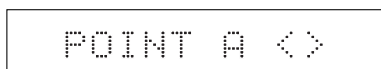
(例) 3 曲目の途中までと 4 曲目の途中からをつなぐ場合。

- 1 3 曲目を再生し、つなぎたいところに来たらコンバイン A ボタンを押す。
- 2 4 曲目を選び、つなぎたいところでコンバイン B ボタンを押す。



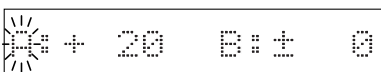
A-B 間をつないだ音声のリハーサルを行います。A パート再生中は "A" が、B パート再生中は "B" が点灯します。

3 コンバイン A ボタンを押す。



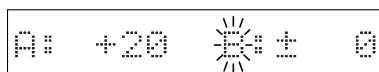
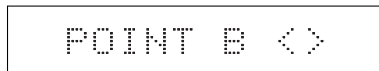
4 ジョグを回して A の位置を微調整する。

+ にすると曲のうしろの方にポイントが移動し、- にすると曲の前の方にポイントが移動します。

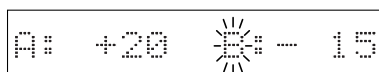


回すたびにリハーサルを最初から行います。

5 コンバイン B ボタンを押す。



6 ジョグを回して B の位置を調整する。



回すたびにリハーサルを最初から行います。

7 リハーサルの音を聞いて希望どおりにつながったらセットボタンを押す。

"COMPLETE" と表示が出て、A と B がつながり (A-B 間は消去されます)、3 曲目と 4 曲目が 3 曲目として 1 つになります。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。

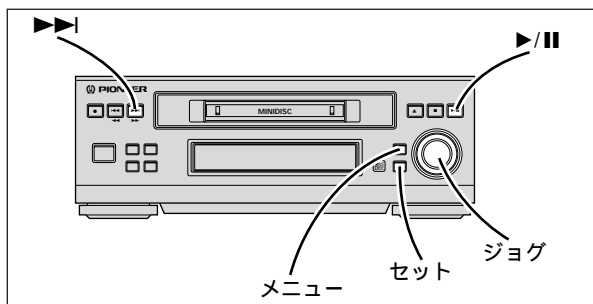


- リピート再生中やランダム再生中は操作できません。
- プログラムをセットしていると操作できません。プログラム解除してください。
- リハーサル中に "COMBINE" 表示が消えている場合は、音声はつながりますが、曲番は 1 つにつながりません。
- B の位置は A の位置より後にしか調整できません。A 点、B 点の調整中に "POINT ERROR" が表示されたときは、A 点、B 点の位置が正しい位置ではないので、表示が消える位置まで戻してください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15 秒以下の短い曲はつながることがあります。



- A、B の位置は約 11.6ms を 1 ステップとして - 176 ~ 0 ~ 176 ステップまで調整できます。
- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では 3 曲目)の曲名がつきます。前の曲名がついていないときは後の曲名がつきます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてから A-B コンバイン機能でつないでください。

MD 編集機能の使いかた



曲を移動する (ムーブ)

(例) 8 曲目を 5 曲目に移動する場合

- 1 停止中に ▶▶| ボタンで 8 曲目を選ぶ。
あるいは 8 曲目を再生して、再生 /
一時停止ボタン (▶/||) を押し、一時停
止状態にする。

- 2 メニューボタンを押す。

- 3 ジョグを回して “ MOVE ” を選ぶ。

MOVE

- 4 セットボタンを押す。

MOVE 8→ 1?

- 5 ジョグを回して移動先を “ 5 ” にする。

MOVE 8→ 5?

- 6 セットボタンを押す。

“ COMPLETE ” と表示が出て、8 曲目を 5 曲目に移動し
ます。

中止したいときは、メニューボタンを押してく
ださい。



- プログラムをセットしていると操作できません。
プログラム解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。

曲を並べかえる (プログラムムーブ)

- 1 並べかえたい順にプログラムする。

プログラムのしかたは [P31] をご覧ください。

- 2 メニューボタンを押す。

PGM MOVE

- 3 セットボタンを押す。

PGM MOVE ?

並べかえて良いかを確認する表示です。

- 4 セットボタンを押す。

“ COMPLETE ” の表示が出てプログラムした曲の順に並
べかえます。
プログラムは解除されます。

中止したいときは、メニューボタンを押してく
ださい。



- プログラムしなかった曲は、プログラムした曲のうし
ろに並びます。
- 同じ曲を 2 回以上プログラムしているときはうしろに
プログラムした方を優先して並べかえます。

曲を消す (イレース)

- 1 曲または全曲を消します。

- 1 曲を消す (トラックイレース)

(例) 6 曲目を消す場合

- 1 停止中に ▶▶| ボタンで 6 曲目を選ぶ。
あるいは 6 曲目を再生して、再生 /
一時停止ボタン (▶/||) を押し、一時停
止状態にする。

- 2 メニューボタンを押す。

- 3 ジョグを回して “ ERASE ” を選ぶ。

ERASE

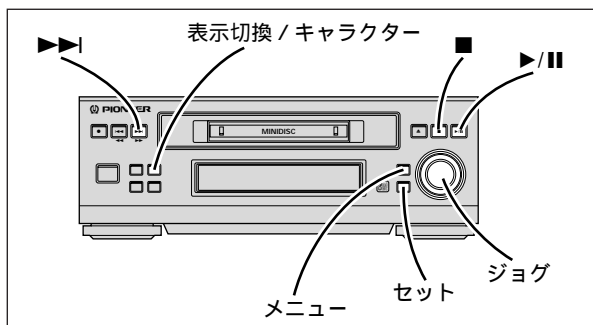
- 4 セットボタンを押す。

ERASE 6?

消して良いかを確認する表示です。

次ページへ続きます。

MD 編集機能の使いかた



5 セットボタンを押す。

“COMPLETE” の表示が出て 6 曲目が消えます。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。

全曲を消す (オールイレース)

- 1 停止ボタン(■)を押してタイム表示がディスクネーム表示にする。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ジョグを回して “ALL ERASE” を選ぶ。

ALL ERASE

4 セットボタンを押す。

ALL ERASE?

消して良いかを確認する表示です。

5 セットボタンを押す。

“COMPLETE” の表示が出て全曲が消えます。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。

曲やディスクに名前をつける(ネーム機能)

1 枚の MD には 1 つのディスク名と、最大 255 曲の曲名をつけることができます。

使用できる文字は

- アルファベット(大文字)
- アルファベット(小文字)
- 数字、記号
- カタカナ

です。(P.93) をご覧ください。)

曲に名前をつける (トラックネーム)

つけた曲名は、曲を選んだときや再生中に表示されます。

(例) 5 曲目に “JAZZ” と付ける場合

- 1 停止中に ►► ボタンで 5 曲目を選ぶ。
あるいは 5 曲目を再生する。

2 メニューボタンを押す。

TRACK NAME

3 セットボタンを押す。



◀▶

- 4 表示切換 / キャラクターボタンを押して文字の種類を選ぶ。

アルファベット(大文字) — アルファベット(小文字)

カタカナ — 数字、記号

- 5 ジョグを回して 1 文字目に “J” を選ぶ。



◀▶

6 セットボタンを押す。



◀▶

- 7 4 ~ 6 を繰返して文字を入れる。
例の場合は文字の種類が同じなので
5, 6 を繰返します。

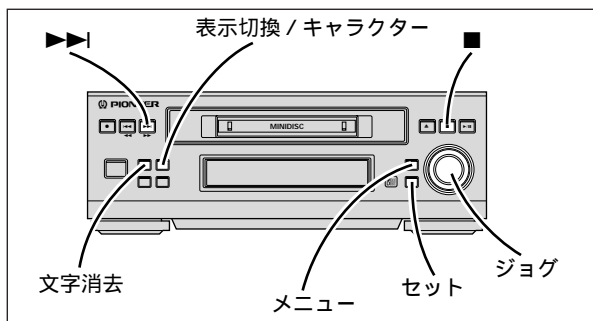
JAZZ

◀▶

6 メニューボタンを押す。

選んだ曲(5 曲目)に “JAZZ” という名前が付きます。

MD 編集機能の使いかた

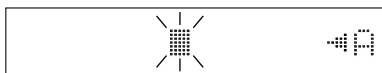


ディスクに名前をつける（ディスクネーム）
つけた名前は MD を入れたときなどに表示されます。

- 1 停止ボタン(■)を押してタイム表示あるいはディスクネーム表示にする。
- 2 メニューボタンを押す。

DISC NAME

- 3 セットボタンを押す。



以下は、曲に名前を付ける場合の4以降と同じように操作して名前を付けてください。

- ① 表示切換/キャラクターボタンで文字の種類を選ぶ。
- ② ジョグを回して文字を選ぶ。
- ③ セットボタンを押す。
- ④ ① ~ ③ を繰り返す。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(■)を押してください。



- プログラムをセットしているときは操作できません。プログラムを解除してください。
- 本機で入力したカタカナ文字は、他の機器では正しく表示されないことがあります。また、他の機器で入力したカタカナは本機で正しく表示されないことがあります。



- 録音中に曲名入力をしていて、入力が完了するまでに次の曲になったときは、録音が終わってからつづきを入れてください。
- 再生中に曲名入力した場合は、入力が終了するまでリピート再生します。



- 1つの名前は100文字までです。
- 1枚のMDに入れられる総文字数は1,700文字ですが、カタカナを使うと入れられる総文字数は減ります。文字数を超えると"NAME FULL"と表示します。

ネームの修正のしかた

文字を消す

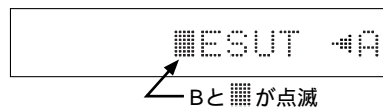
消したい文字を点滅させて、文字消去ボタンで消します。
(例)"BESUT"を"BEST"に修正する場合

- 1 修正する名前を選ぶ。

- 曲名有的时候:
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名有的时候:
停止ボタン(■)を押す。

- 2 メニューボタンを押す。

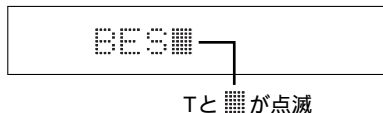
- 3 "DISC NAME"または"TRACK NAME"を選んでセットボタンを押す。



- 4 ▶▶ボタンを3回押して"U"を点滅させる。



- 5 文字消去ボタン(DELETE)を押す。



- 6 メニューボタンを押す。

消去が終了します。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(■)を押してください。

MD 編集機能の使いかた

文字を追加する

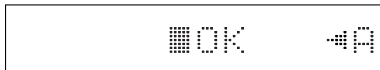
追加したい位置のうしろの文字を点滅させて追加します。
(例)"ROK"を"ROCK"に修正する場合

1 修正する名前を選ぶ。

- 曲名るとき:
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名るとき:
停止ボタン(■)を押す。

2 メニューボタンを押す。

3 "DISC NAME" または "TRACK NAME" を選んでセットボタンを押す。



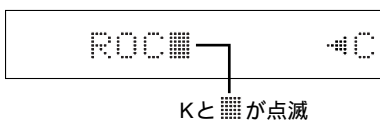
4 ▶▶ ボタンを 2 回押して追加する位置のうしろの文字 "K" を点滅させる。



5 ジョグをまわして "C" を選ぶ。



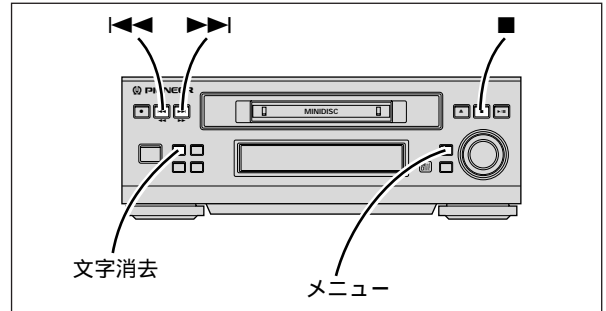
6 セットボタンを押す。



7 メニューボタンを押す。

追加が終了します。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(■)を押してください。



文字を変更する

1 修正する名前を選ぶ。

- 曲名るとき:
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名るとき:
停止ボタン(■)を押す。

2 メニューボタンを押す。

3 "DISC NAME" または "TRACK NAME" を選んでセットボタンを押す。

この後、◀◀あるいは▶▶で変更したい文字を点滅させ、変更したい文字を消し、文字の追加で正しい文字を入力してください。

曲名、ディスク名を消す

1 消したい名前を選ぶ。

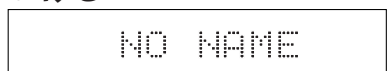
- 曲名るとき:
名前を消したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名るとき:
停止ボタン(■)を押す。

2 メニューボタンを押す。

3 "DISC NAME" または "TRACK NAME" を選んでセットボタンを押す。

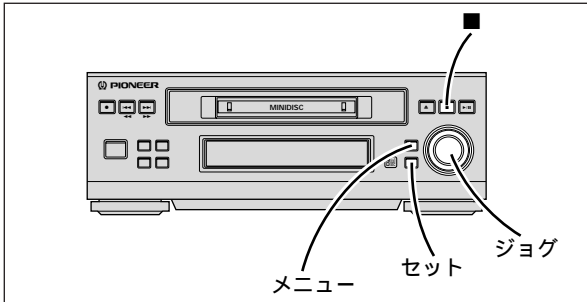


4 文字消去ボタン(DELETE)を 2 秒以上押しつづける



消去が終了します。

MD 編集機能の使いかた



編集をキャンセルして編集前の状態に戻す (アンドゥ: UNDO)

編集を行った後で、1つ前の編集をキャンセルすることができます。

アンドゥでキャンセルできる編集の種類

- ムーブ
- プログラムムーブ
- デバインド
- コンバイン
- A-B コンバイン
- イレース
- オールイレース
- ネームの入力、変更、消去
(停止中に操作したネームのみ)

編集操作ではありませんが、次の場合もアンドゥで元に戻すことができます。

- オーバーライト録音(38ページ)の録音一時停止時に消去した曲

アンドゥでキャンセルできなくなる条件

次の操作を行うと1つ前の編集のキャンセルはできなくなります。

このとき、^{キャント} "Can't ^{アンドゥ} UNDO" と表示されます。

- MD 取出しを行ったとき(UTOC の書換えを実行)
- 電源を切ったとき(UTOC の書換えを実行)
- 停電したとき
- 新たな編集操作をしたとき
- 録音を開始したとき
- アンドゥを行ったとき

- 1 停止ボタン(■)を押してタイム表示またはディスクネーム表示にする。

- 2 メニューボタンを押す。

DISC NAME

- 3 ジョグを回して"UNDO"を選ぶ。

UNDO

- 4 セットボタンを押す。

UNDO?

アンドゥして良いかを確認する表示です。

- 5 セットボタンを押す。

"COMPLETE"と表示が出て、編集をキャンセルします。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。

自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた

アセス オート シンクロ エディティング システム
 A.S.E.S.とは、Auto Synchro Editing Systemのことです。CDをMDやテープ、MDをテープ、テープをMDへ自動編集録音する機能です。本機では再生順、またはプログラム再生順に録音します。テープへの録音時に、曲の途中でA面の録音が終わったときは、その曲はB面のはじめから録音されません。

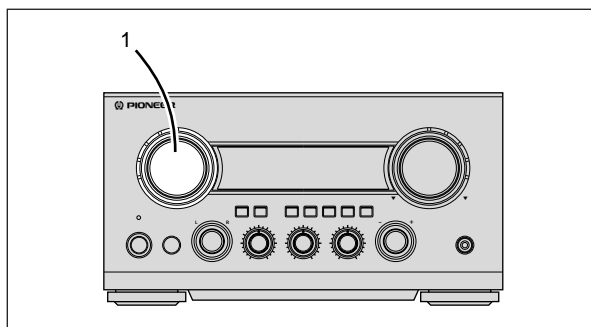


- 誤消去防止ツメの折ってあるカセットテープを入れた場合は、A.S.E.S.はできません。
- 再生専用のMDに録音しようとした場合、または録再用MDであっても誤消去防止つまみが開いているMDに録音しようとしてもA.S.E.S.はできません。
- A.S.E.S.動作時、テープの終わり近くで次の曲に移ったり、CDが演奏を終えると、動作が中断したり、正しく動作しない場合があります。このときは、その曲以降をA.S.E.S.を使わないで録音してください。

A.S.E.S.を行うときは、CD、MD、カセットデッキを下表のように設定してください

録音のしかた	チューナーアンプ のファンクション	CDプレーヤー	MDレコーダー	カセットデッキ
CD1 MD	CD1	CD1にディスクを入れる	録音用MDを入れる	———
CD1 TAPE	CD1	CD1にディスクを入れる	———	録音用テープを入れる
CD2 MD	CD2	CD2にディスクを入れる	録音用MDを入れる	———
CD2 TAPE	CD2	CD2にディスクを入れる	———	録音用テープを入れる
MD TAPE	MD	———	再生用MDを入れる	録音用テープを入れる
TAPE MD	TAPE	———	録音用MDを入れる	再生用テープを入れる

自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた



操作のしかた

1 チューナーアンプのファンクションを選ぶ。

50 ページの表を参照してください。

2 録音する機器を設定する。

MDに録音するとき

(CD、TAPE からの録音)

- ① 録音可能な MD を入れる。
- ② ステレオ録音がモノラル長時間録音かを選択する (P.39)。
- ③ CD を録音する場合にはデジタル録音がアナログ録音かを選択する (P.35)。
リミックスで CD を録音するときはアナログ録音のみが可能です。
- ④ アナログ録音のときは、オートマークを行うか、行わないかを選択する (P.40)。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する (P.35)。

テープに録音するとき

(CD、MD からの録音)

- ① 録音可能なテープを入れる。
- ② ドルビー NR を選択する (P.29)。
- ③ リバースモードを選択する (P.29)。
アセスではフォワード方向(▶)から録音をはじめます。

3 演奏する機器を設定する。

CD を録音するとき

- ① CD を入れる。
- ② 停止ボタン(■)を押して停止する。
- ③ サーチボタン(◀◀ ▶▶)で開始曲を選ぶ。

プログラム演奏でアセスするときはプログラムしておきます。

リピート演奏でアセスするときはリピートをオンにしておきます。

MD を録音するとき

- ① MD を入れる。
- ② 停止ボタン(■)を押して停止する。
- ③ サーチボタン(◀◀ ▶▶)で開始曲を選ぶ。

プログラム演奏でアセスするときはプログラムしておきます。

リピート演奏でアセスするときはリピートをオンにしておきます。

テープを録音するとき

- ① 再生をはじめたい面を上にしてテープを入れる。
- ② 再生をはじめめる位置を探して停止させる。

アセスではフォワード方向(▶)から再生をはじめます。

注意!!

- アセス中はチューナーアンプのファンクションは切換えられません。
- デジタルコピー済のCD-RをMDへアセスすることはできません。
- アセス中には、再生、録音機器のディスクやテープは取り出すことはできません。

☞ 次ページへ続きます。

準備

基本操作

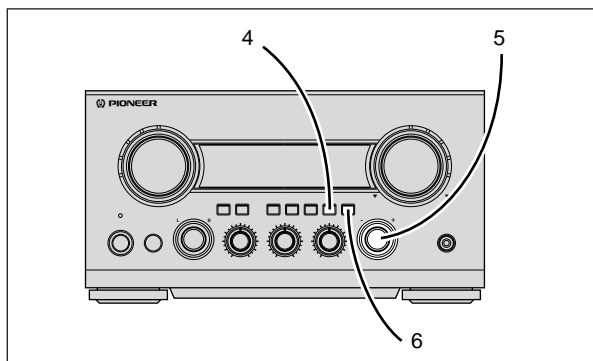
MD編集

応用操作

リミックス

その他

アセス 自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた



4 アセスボタンを押す。

CD1 → MD
ASES

演奏側と録音側の機器を表示します。

図はCD1 から MD へのアセスです。

5 CD を録音する場合はチューニングつまみを回して録音する機器を選ぶ。

MD または TAPE が選べます。

CD1 → TAPE
ASES

6 セットボタンを押す。



アセスをはじめます。

アセスでの録音を中止したいとき

演奏側、録音側いずれかの停止ボタン(■)を押します。

アセスの設定を中止したいとき

アセスボタンを押します。



MDに録音している場合に、MDレコーダーのフェードアウト(36ページ)を行うと、フェードアウトした後にアセスを終了します。

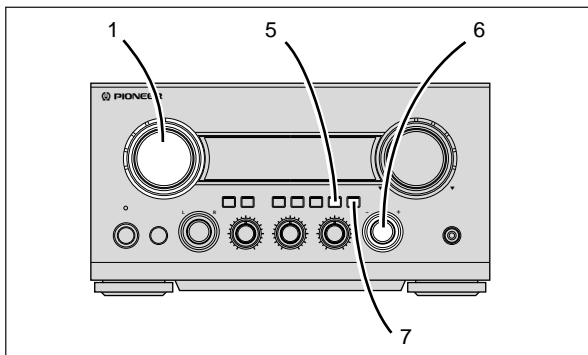
アセス エラー ASES ERROR の表示が出たときは

以下の項目を調べてみてください。

- ① CD、MD、テープは入っていますか？
- ② 誤消去防止ツメの折れたテープを録音用に使っていませんか？
⇒ 別のテープを使うか、誤消去防止ツメを折った穴をテープでふさいでください。(P.20)
- ③ 誤消去防止つまみが開いたMDを録音用に使っていませんか？
⇒ 別のMDを使うか、つまみを閉じてください。
- ④ 再生用MDを録音用に使っていませんか？
⇒ 録音用MDを使う。
- ⑤ 録音可能な時間が残っていないMDを使っていませんか？
⇒ 録音可能なMDを使う。
- ⑥ ファンクションがTUNERやAUXになっていませんか？
⇒ 演奏する機器に合わせて正しく設定してください。
- ⑦ 演奏、録音する機器は停止状態になっていませんか？
⇒ 停止ボタンを押して停止させてください。

アセス 自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた

リミックス操作は 59 ページをご覧ください。



リミックスでCDをMDまたはテープ にアセスする

- 1 チューナーアンプのファンクションをCDにする。
- 2 録音可能なMDまたはテープを入れる。

[MD に録音するとき]

MD の録音のしかたを設定してください。

51 ページ手順 2 の「MD に録音するとき」を参照してください。リミックスでアセスする場合、MD はアナログ録音のみとなります。

注意!!

リミックスオンでCDをMDに録音するときは、チューナーアンプの音質設定、CDのレベルつまみ、クロスフェーダーつまみの位置によってCDのレベルが変化しますので、録音レベルの調整は必ず行ってください。

[テープに録音するとき]

51 ページ手順 2 の「テープに録音するとき」を参照してください。

- 3 リミックスコントロールミキサーのリミックスボタンを押してリミックスをオンにする。



- 4 キューポイントを設定する。

オートキューで設定する場合 (P.66)

- ① オートキューボタンを 2 秒以上押してオンにする。
- ② サーチボタン (◀◀ ▶▶) で録音したい曲の頭出しをする。

キューポイントで演奏待機になります。

キューポイントメモリーで設定する場合 (P.66)

録音をはじめたいところを探し、キューポイントをメモリーします。

- 5 アセスボタンを押す。

- 6 チューニングつまみを回して録音する機器(MD または TAPE)を選ぶ。

CD は操作中の CD (1 または 2) を選びます。

CD1 → MD
ASES

- 7 セットボタンを押す。



キューポイントからアセスをはじめます。



オートキューがオンの場合は 1 曲のみのアセスとなります。1 曲が終了するとキューポイントに戻って演奏待機になります。



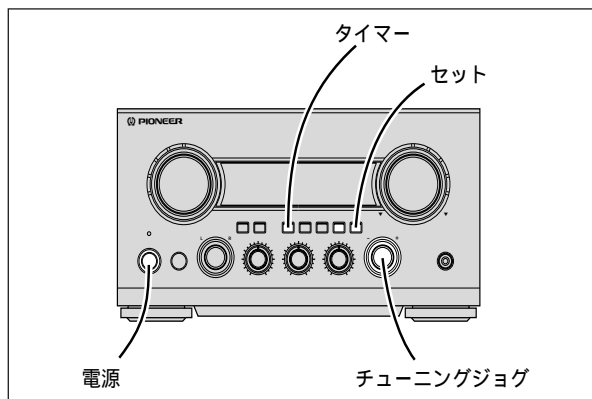
キューポイントメモリーを設定してからアセスした場合、アセスが終了するとCDはキューポイントに戻って演奏待機になります。



- 希望のテンポで録音できます。64 ページをご覧ください。
- 手順 4 でループを設定した後にキューポイントで演奏待機にしておくとループでアセスを開始します (P.66)。ループ中にループボタンを押すとループを解除できます。

タイマーの使いかた

時計を合わせていないとタイマーが使えません。
必ず時計合わせをしてください。 [R21]



好きな音楽で目覚める (ウェイクアップタイマー)

ウェイクアップタイマーは毎日動作します。
タイマー設定時のファンクション、音量を記憶し、その内容で
演奏をはじめます。

“まずはじめに”

再生したいファンクションにして準備をする。

- CD : ディスクをセットしておきます。
 - チューナー : 聞きたい放送局に合わせてください。
タイマー設定時の放送局が記憶されます。
 - テープ : カセットテープをセットしておきます。
再生はフォワード方向(▶)からはじまります。
 - MD : ディスクをセットしておきます。
- 音量を調整しておく。
この時設定している音量でタイマーオンします。

(例) 午前7時30分にタイマーオンし、午前9時15分にタイ
マーオフするように設定する場合。

1 タイマーボタンを押す。

WAKE-UP

2 セットボタンを押す。

7:00 → 0:00

3 チューニングジョグを回して“7時”にする。

7:00 → 0:00

4 セットボタンを押す。

7:00 → 0:00

5 チューニングジョグを回して“7時30分”にする。

7:30 → 0:00

6 セットボタンを押す。

7:30 → 7:30

7 チューニングジョグを回して“9時”にする。

7:30 → 9:30

8 セットボタンを押す。

7:30 → 9:30

9 チューニングジョグを回して“9時15分”にする。

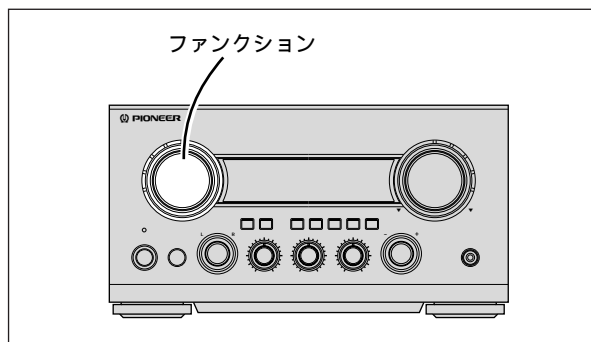
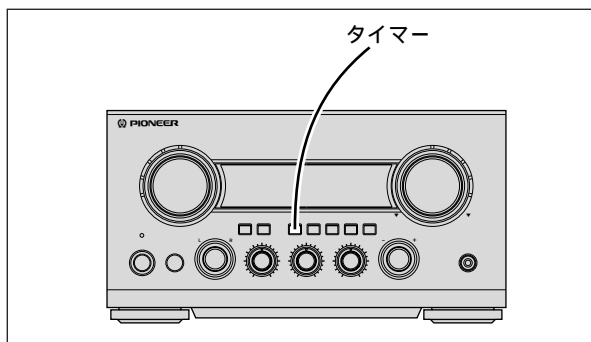
7:30 → 9:15

10 セットボタンを押す。

チェックモードになります。
開始時刻、終了時刻、ファンクション、音量を表示します。
⓪が点灯します。

11 電源を切る。

タイマーの使いかた



< タイマー動作をしないようにするには >

電源オフのときにタイマーボタンを押して“TIMER OFF”を選びます。

TIMER OFF

ボタンを押すたびに次のように切替わります。

TIMER OFF WAKE UP
TIMER REC

TIMER REC は録音タイマーを設定した場合に選べます。

タイマー演奏が始まってから TIMER OFF にしたときは、オフ時刻になっても電源は切れません。

< 再度タイマー動作をさせたいときは >

タイマーボタンを押して“WAKE UP”を選びます。

< タイマー設定を途中で中止したいときは >

設定中にタイマーボタンを押すと中止できます。

< タイマーの内容を変えたいときは >

最初から設定し直してください。

< 設定操作中に内容をまちがえたときは >

タイマーボタンを押して設定を中止し、最初から設定し直してください。



- ウェイクアップタイマーは、解除しない限り毎日、同時刻に実行されます。音量は設定したレベルまでフェードイン（徐々に大きくなる）します。



- 電源を切る前にリミックスがオンであってもタイマー動作はリミックスオフとなります。



- ウェイクアップタイマーと録音タイマーとの併用はできません。
- タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。

ラジオ放送または外部入力を留守録音する（タイマー録音）

録音タイマーは設定した 1 回だけ動作します。

“まずはじめに”

録音したいファンクションにして準備をする。

チューナー : 録音したい放送局に合わせてください。タイマー設定時の放送局が記憶されます。

外部入力（AUX）: タイマー録音開始時刻前に外部機器が演奏されるように準備します。

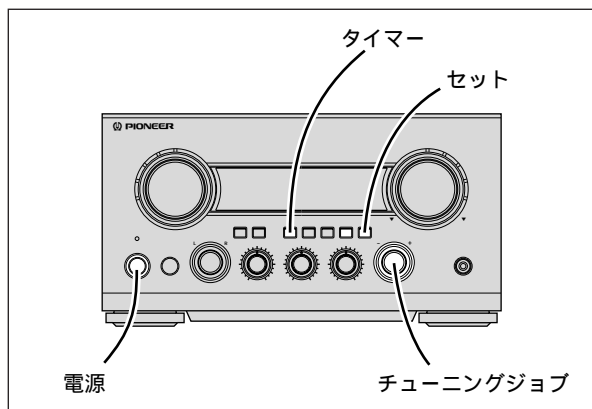
（例）午後 8 時 30 分から午後 10 時 15 分までラジオ放送を MD に録音する場合

1 録音する機器を設定する。

MD に録音するとき

- ① 録音可能な MD を入れる。
- ② ステレオ録音かモノラル長時間録音かを選択する（[P.39](#)）。
- ③ 外部入力を録音するときは、デジタル録音かアナログ録音かを選択する（[P.35](#)）。ラジオ放送の録音はアナログ録音となります。
- ④ アナログ録音のときは、オートマークを行うか、行わないかを選択する（[P.40](#)）。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する（[P.35](#)）。

タイマーの使いかた



テープに録音するとき

- ① 録音可能なテープを入れる。
 - ② ドルビー NR を選択する (**P29**)。
 - ③ リバースモードを選択する (**P29**)。
- タイマー録音ではフォワード方向(▶)から録音をはじめます。

2 タイマーボタンを押す。

WAKE-UP

3 チューニングジョグを回して “TIMER REC”を選ぶ。

TIMER REC

4 セットボタンを押す。

0:00 → 0:00

5 チューニングジョグを回して“20時”にする。

20:00 → 0:00

6 セットボタンを押す。

20:00 → 0:00

7 チューニングジョグを回して“20時30分”にする。

20:30 → 0:00

8 セットボタンを押す。

20:30 → 20:30

9 チューニングジョグを回して“22時”にする。

20:30 → 22:30

10 セットボタンを押す。

20:30 → 22:30

11 チューニングジョグを回して“22時15分”にする。

20:30 → 22:15

12 セットボタンを押す。

TUNER → M D

13 チューニングジョグを回して録音機器 を選ぶ。

(例)の場合はMDになっていますのでつまみを回す必要はありません。テープに録音するときは“TAPE”を選びます。

14 セットボタンを押す。

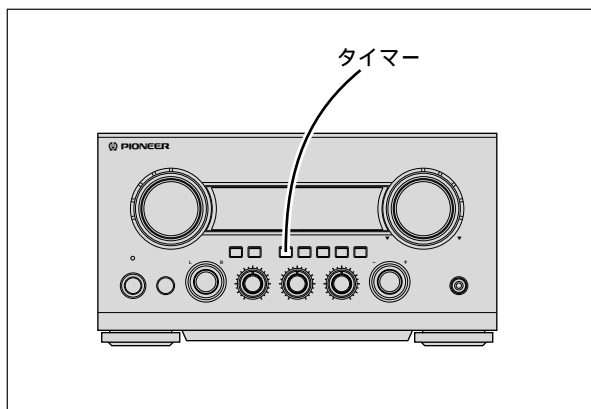
チェックモードになります。

開始時刻、終了時刻、ファンクション(放送のときは受信放送局) 録音機器、音量(0)を表示します。

① REC が点灯します。

15 電源を切る。

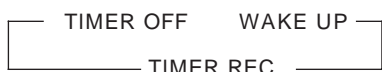
タイマーの使いかた



< タイマー動作をしないようにするには >
電源オフのときタイマーボタンを押して“ TIMER OFF ”を選びます。

TIMER OFF

ボタンを押すたびに次のように切り替わります。



WAKE UP はウェイクアップタイマーを設定した場合に選べます。

タイマー録音が始まってから TIMER OFF にしたときは、オフ時刻になっても電源は切れません。

< 再度タイマー動作をさせたいときは >

タイマーボタンを押して“ TIMER REC ”を選びます。同じ設定内容でタイマー録音できます。

< タイマー設定を途中で中止したいときは >

設定中にタイマーボタンを押すと中止できます。

< タイマーの内容を変えたいときは >

最初から設定し直してください。

< 設定操作中に内容をまちがえたときは >

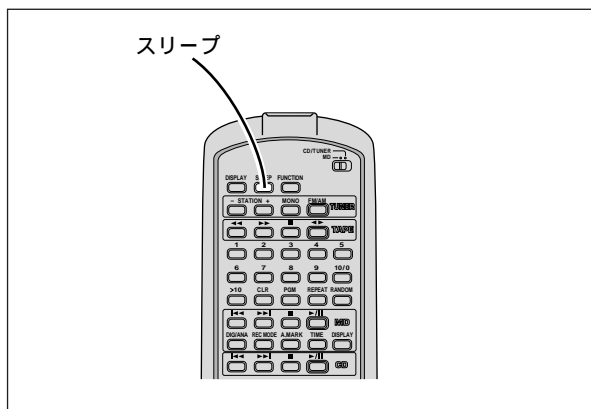
タイマーボタンを押して設定を中止し、最初から設定し直してください。



タイマー録音時は音量は自動的に“ 0 ”になります。

注意!!

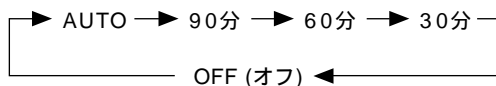
- タイマー録音とウェイクアップタイマーとの併用はできません。
- タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。



音楽を聞きながら眠る (スリープタイマー)

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

スリープボタンを押す。



AUTO (オートスリープ):

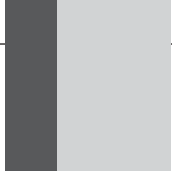
CD、MD、テープの再生中または MD、テープの録音中に選べます。再生または録音が終了と数分後に電源が切れます。



- リミックスがオンのときはオートスリープは選べません。
- タイマー動作 (ウェイクアップ / 録音) 中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。



- スリープタイマー中にスリープボタンを押すと、残り時間を表示します。



リミックス REMIXを楽しもう!!

リミックス
遊びの要素

まぜる!

サンプラーで
効果音をミックス!

2つの曲と曲を
ミックスさせる!

つなぐ!

2つの曲を
カットインでつなぐ!

2つの曲を
クロスフェード
でつなぐ!

かえる!

CDのテンポを
かえる!

エフェクター効果
で曲の表情をかえる!

曲のフレーズ
をループさせる!

低音や高音を3バン
ドイコライザーでか
える!

リミックスとはこうした遊びの要素の様々な組合せや、ソフトの選択、組合せ、効果のかけ方、かけるポイントなど自分のセンスによって音楽を創り出すという新しい音楽の楽しみ方です。

< リミックスでできること >

カッコの中は参照ページです。

- ① リミックスコントロールミキサーによる操作
CD1、CD2およびエフェクターの機能をコントロールミキサー 1つで行えます。
- ② クロスフェーダーによるフェードイン、フェードアウト
クロスフェーダーの操作により、CD1、CD2 の演奏をフェードイン、フェードアウトできます。
- ③ CD1、CD2 そして MD の同時演奏
CD1、CD2、MD の操作が行え、3つの音を足し合わせることができます。
- ④ テンポコントロール
CDの演奏の速さ(テンポ)を±10%までコントロールできます。(P.64)
- ⑤ マスターテンポ
テンポを変えても音程は元のままにします。(P.64)
- ⑥ オートBPMカウンター
曲のBPM(1分間の拍子数: Beat Per Minute)を自動計測して表示します。曲のテンポが目で見えてわかります。(P.65)
- ⑦ タップBPMカウンター
曲に合わせて自分で拍子をとってボタンを押すと、それをもとにBPMを計算します。(P.65)
- ⑧ BPM時間表示
BPMの値を時間に換算して表示できます。(P.65)
- ⑨ キューポイントメモリー
キューポイント(曲の頭出し位置)を任意の位置に設定し、瞬時にスタートできます。(P.66)
- ⑩ オートキュー
次に演奏する曲の頭で待機、演奏ボタンで瞬時スタートできます。(P.66)
- ⑪ ループプレイ
1～10秒までの気に入ったフレーズを途切れなく連続リピート演奏できます。(P.68)
- ⑫ フェーダースタート
キューポイントで待機中のCDを、クロスフェーダーボリュームを動かすことで演奏スタートできます。(P.69)
- ⑬ エフェクター機能
音楽に効果をかけて楽しめます。効果量も変化させることができます。(P.71)
- ⑭ サンプラー録音/再生
気に入ったところをサンプルとして録音(最大約2.8秒)しておき、演奏音に重ねて楽しめます。(P.74)
- ⑮ オリジナル・ノンストップMD
CDをMDにつなぎめなく録音できます。自分だけのオリジナル・ノンストップMDが作れます。(P.80)

リミックス操作の構成について

● 基本操作編

基本操作編

リミックスのための基本的な機能と操作です。

< ページ >

内容	① リミックスをオンにして CD1、CD2 を切換えで楽しもう	62
	● クロスフェーダー	62
	② 演奏の速さを変えよう	64
	● テンポコントロール	64
	③ 拍子数(BPM)を測ってみよう	65
	● オートBPM カウンター	65
	● タップBPM カウンター	65
	● BPM 時間表示	65
	④ キューを使って瞬時に音出しをしよう	66
	● オートキュー	66
	● キューポイントメモリー	66
	● バックキュー	67
	⑤ 気に入ったフレーズを連続リピートしよう	68
	● ループプレイ	68

● 応用操作編

応用操作編

リミックスを十分に楽しむための、少し複雑な機能と操作です。

< ページ >

内容	① クロスフェーダーで演奏をはじめよう	69
	● フェーダースタート	69
	② ヘッドホンでモニターしながら操作しよう	70
	③ 音に効果をかけて楽しもう	71
	● オートビートエフェクト	73
	④ 気に入ったところをサンプル録音して演奏に重ねよう	74
	● サンプラー	74

● テクニック編



リミックスでの遊び方例と"こつ"をまとめてあります。
基礎編がわかれば楽しめる遊び方例もありますので、実践からスタートすることもできます。チャレンジしてみましょう！

<ページ>

パート 1：クロスフェードを使えばFM 局みたいな「ノンストップリミックス」も簡単にできる！	75
パート 2：曲と曲のテンポとビートを合わせてつないでみよう！	75
パート 3：その他各種エフェクターによる遊び効果の演出！	78
パート 4：エコーでビートを残しながら曲をミックス！	79
パート 5：テンポとビートを合わせてループプレイに曲をミックス！	79

● リミックス録音編



リミックスのテクニックを駆使してオリジナルノンストップ MD を作ってみましょう！

<ページ>

方法 1：フェーダースタートを使ってリアルタイムに曲と曲をつなぐ	80
方法 2：カットインレコ機能により CD から MD へつなぎ録りする	82
方法 3：MD の A-B コンバイン編集で曲と曲をつなぐ	85

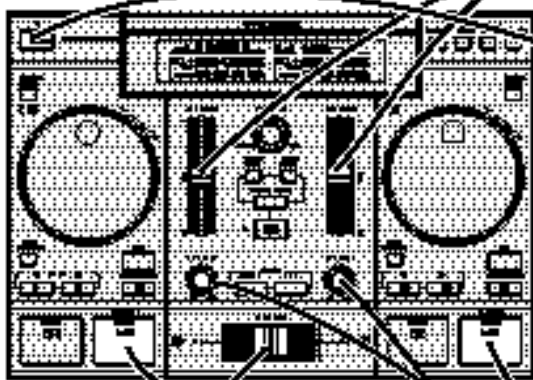
本システムに搭載されているエフェクターやリミックスコントロールミキサーの各種機能はCD 1 と CD 2 にのみ、かけることができます。

また、リミックス動作時は CD 1、CD 2 と MD を同時に再生することができますが、MD の再生はカットインレコ機能 (**P.82**) を行うためのものであり、クロスフェード等のリミックス操作を行うことはできません。

基本操作編

基本操作編

リミックスをオンにしてCD1、CD2 を切換えて楽しもう (クロスフェーダー)



1 テンポスライダーを“0”にする

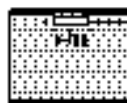
2 CDファンクションを選んで
リミックスボタンを押す

※—インジケータが点灯



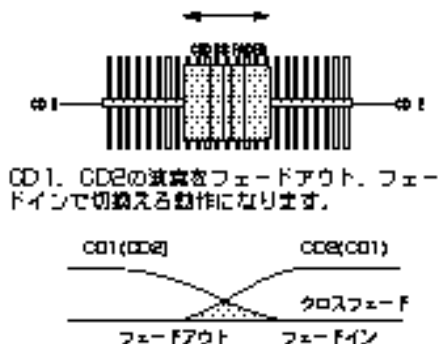
もう一度押すとオフになります。

3 演奏／一時停止を押して演奏開始
CD1およびCD2のどちらも操作できます。



—インジケータが点灯

4 クロスフェーダーでCD1、
CD2を切換える



5 CDのレベルを調整する

CD1とCD2の音量の大きさが同じになるように
合わせます。



リミックスをオンにすると、CDの機能の一部の
動作が変わります。

● 通常演奏

オートキューがオンになっていると、1 曲の演奏が終ると、次の曲の音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）になります。
この時、演奏／一時停止ボタンのインジケータが点滅します。演奏／一時停止ボタンを押すと演奏をはじめます。

● 一時停止

音が出た状態で一時停止します。

● トラックサーチ (◀▶▶▶)

オートキューがオンのときは、指定曲の音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）になります。

● リビート演奏

1 曲リビート：

● オートキューがオンのときは、曲の演奏が終ると曲の最初に戻り、音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）します。

● その曲内でキューポイントメモリーをしているときは、キューポイントに戻って一時停止します。

全曲リビート：

● オートキューがオンのときは、最後の曲の演奏が終ると、最後の曲の最初に戻り、音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）します。

● キューポイントメモリーをしているときは、キューポイントに戻って一時停止します。

● ランダム演奏

オートキューがオンのときは1 曲の演奏が終ると、次に選ばれた曲の音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）します。

● プログラム演奏

オートキューがオンのときは、次のステップの曲の音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）します。

● ディスクトレイの開閉

CD が停止中に、停止 / ディスクトレイ開閉ボタン (■ / ▲) でトレイの開閉が行えます。

リミックスをオンにすると

- リミックスコントロールミキサーによる操作と表示が行えます。
- エフェクター機能が働くようになります。
- CD1、CD2 および MD の操作が行え、3 つの音声をミックスすることができます。

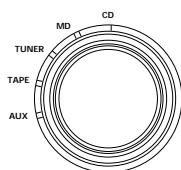
リミックスをオフにすると

キューポイントメモリー、サンプラー録音は消去されます。

リミックスがオンのときの CD のリモコン操作について

チューナーアンプで表示されている CD のリモコン操作ができます。

リモコン操作する CD を切換えたいときは、チューナーアンプのファンクションつまみを回します。



CD1 から右へ回すと CD2 になります。
CD2 から左へ回すと CD1 になります。

リミックスオン / オフ時のファンクション切換えについて

- リミックスがオンのときはチューナーアンプのファンクションつまみ、リモコンのファンクションボタン共に CD1 CD2 の切換えのみの動作になります。
- CD 以外のファンクションに切換えたいときはリミックスをオフにしてください。

演奏の速さを変えよう(テンポコントロール)

- 1** BPM/タイムボタンを押して、
BPM表示に切替える

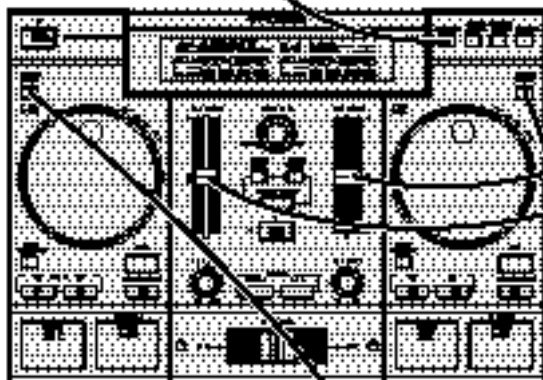
120km 00,
1 Tr 1.20.74

- 2** テンポスライダーでテンポを変える

速くしたいとき…… 手前を引く、
遅くしたいとき…… 奥に押す、

126km +50,
1 Tr 1.25.60

0.1%単位で±10%まで調整できます。



テンポを変えても音程は元のままにしたい
ときは(マスターテンポ)

マスターテンポボタンを押す

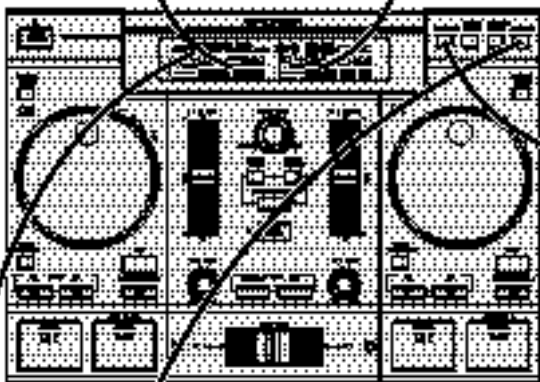
126km MASTER
TEMPO +50,
1 Tr 1.25.60

拍子数(BPM)を測ってみよう

(オートBPM カウンター、タップBPM カウンター、BPM 時間表示)

BPMは自動的に計測して表示されます。

120 BPM 00.
3. 2. 15. 45.



オートBPMカウンター表示について

- BPMの測定ができなくなると点滅し、5秒以上測定できないと" - - - "表示になります。
- 測定できる範囲は、70～160BPMです。
範囲外の曲については、実際のBPMの2倍や半分の値などを表示する場合があります。
- アカペラや楽器のソロなど、曲によってはBPMの計測が正しく行われない場合があります。

BPMを時間表示するには
BPM/タイムボタンを押す

500 00.
3. 2. 20. 30.

エフェクターを曲のビートに合わせてかけたいときなどに、時間換算表示にしていくと便利です。

自分の感覚でBPMを測定するには

オートBPMカウンターが測定しにくい曲のときには、自分で拍子をとって測定できます。

曲のビートに合わせてTAPボタンを
5～6回押す

120 BPM

または

500 ms



タップBPMカウンター表示について

- 測定できる範囲は、70～160BPMです。
範囲外のときは" - - - "表示になり、約2秒後にエフェクトの種類表示に戻ります。
- 時間表示を選んでいるときは、時間換算表示となります。
- タップで測定したBPM表示中にTAPボタンを押す、あるいはエフェクトの種類を切替えた時はタップBPM表示は解除されます。

キューを使って瞬時に音出しをしよう (オートキュー、キューポイントメモリー、バックキュー)

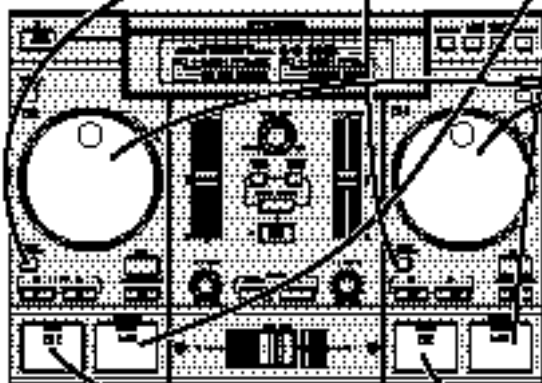
オートキュー

オートキューをオンにすると次に演奏する曲の最初の音が出る位置で一時停止(キューポイントポーズ)するようになります。

タイム/オートキューボタンを
約2秒間押す

- AUTOQ -

経路したいときはもう一度ボタンを約2秒押します。



キューポイントメモリー

すぐに音出ししたい位置をメモリーしておくと、その位置から瞬時に演奏したりキューボタンでそこへ戻ることができます。

1 演奏中に、キューポイントを設定
したい位置で一時停止にする

音がとぎれとぎれに出ます。(音出しの一時停止)

2 ジョグをゆっくり回して音を聞き
ながら目的のキューポイントを探す

演奏を開始したい直前に合わせます。
(聞こえた音の直後がキューポイントになります。)

3 キューボタンを押す

キューポイントがメモリーされて演奏待機になり
ます。音がなくなり、キューボタンのインジケータ
ーが点灯。演奏一時停止ボタンのインジケータ
ーが点滅します。



プログラム演奏中は曲の最後から約5秒間の範囲ではキュー
ポイントの設定は行なえません。



キューポイントを確認するには

キューポイント待機中(キューボタンのインジケータ
ーが点灯)にキューボタンを押しつづけます。押している間、キュー
ポイントから演奏します。10秒以上押し続けたときは、キュー
ポイントに戻り、演奏待機になります。



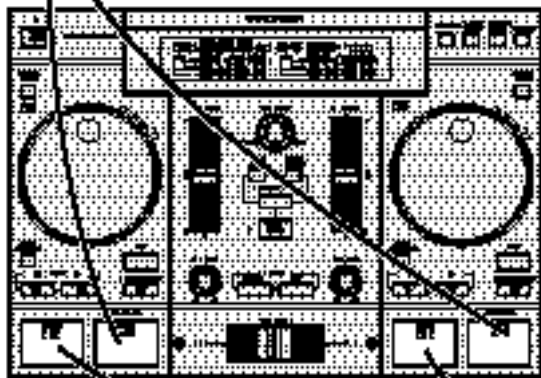
キューポイントを修正するには

- ① キューポイント待機中(キューボタンのインジケータ
ーが点灯)にサーチボタン(◀◀、▶▶)を押しつづ
け、音が出たらすぐ押すのをやめる。
キューポイントで音出しの一時停止になります。
- ② ジョグをゆっくり回して微調整する。
- ③ キューボタンを押す。

キューポイントから演奏するには

キューポイント待機中（キューボタンのインジケータが点灯）に、演奏/一時停止ボタンを押す

キューポイントから演奏します。



演奏中にキューポイントに戻すには（バックキュー）

キューボタンを押す

キューポイントに戻り、演奏続行になります。



キューポイントから演奏して、約10秒以内にバックキューを行うと、瞬時にキューポイントに戻ります。

10秒以内に

キュー

演奏/一時停止

キュー

演奏/一時停止 ...

をすばやく行うことで音声をループさせる効果が得られます。

10秒をこえていると瞬時のスタートはできません。

気に入ったフレーズを連続リピートしよう (ループプレイ)

最小 1 秒から最大 10 秒までの 2 点間をとぎれなく繰返して演奏します。

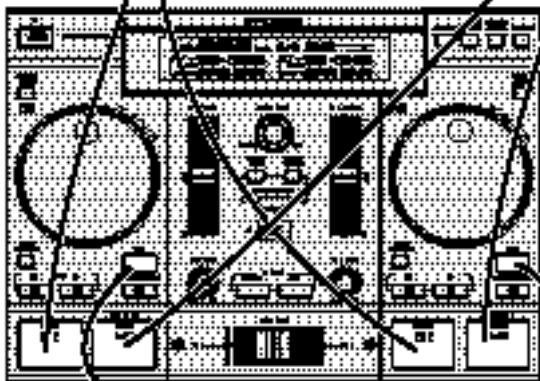
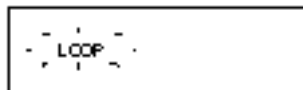
1 スタートポイントとしてキューポイントを設定する

- ① 音出しの一時停止にする。
- ② ジョグで微調整する。
- ③ キューボタンを押す。

2 演奏/一時停止ボタンを押してキューポイントから演奏する

3 エンドポイントでループボタンを押す

LOOPインジケータが点灯し、繰返し演奏を
はじめます。



ループプレイを解除するには

ループボタンを押す

“LOOP”インジケータが消灯して通常演奏に戻ります。



エンドポイントを精密に決めたいときは

手順 3 のときに次のように操作してください。

- ① エンドポイントで演奏/一時停止ボタンを押す。
 - ② ジョグをゆっくり回してエンドポイントを探す。
 - ③ エンドポイントが決まったらループボタンを押す。
- ループプレイを開始します。



- ループプレイ中に他の曲を選曲したり、リピート演奏およびランダム演奏を設定した場合にはループプレイは解除されます。
- ランダム演奏中、あるいはプログラム演奏中のループプレイは、キューポイントを設定した曲内でのみ行えます。
- エンドポイントがキューポイントから 1 ~ 10 秒以内でない場合は、正常なループプレイが行われません。



ループプレイ中にキューボタンを押してバックキューしても、ループのエンドポイントはメモリーされています。演奏/一時停止ボタンを押すと再びループプレイを開始します。

応用操作編

応用操作編

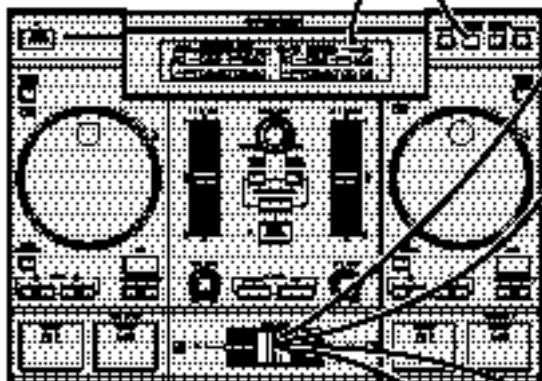
クロスフェーダーを使って演奏をはじめよう

(フェーダースタート)

- 1** フェーダースタートボタンで、フェーダースタートさせるCDプレーヤーを設定する

インジケーターの点灯で確認してください。

- ・追付: CD1、CD2ともフェーダースタートしない
- ・FADE START ▶ 1: CD1がフェーダースタートする
- ・FADE START ▶ 2: CD2がフェーダースタートする
- ・FADE START ▶ 12: CD1とCD2でフェーダースタートする



- 2** クロスフェーダーを中央の位置にする



- 3** フェーダースタートするCDプレーヤーのキューポイントを設定する

- ① 音出しの一時停止にする、のじョグで微調整する、
- ② キューボタンを押す、

- 4** フェーダースタートするCDプレーヤーの反対側いっぱいへクロスフェーダーを倒す

CD1をスタートさせるときは右側いっぱいにづまみを留めます。



- 5** 演奏スタートさせたいタイミングで、スタートするCD側へクロスフェーダーを倒す

- 6** 演奏スタートした後で、クロスフェーダーを反対側いっぱいに倒すと、バックキュー動作を行い、キューポイントで演奏待機する



CD1、CD2の両方がフェーダースタートするように設定し、クロスフェーダーをすばやく左右に倒すと、バックキューを自動的にいながらCD1、CD2を途切れなく演奏できます。キューポイントどうしの相互の繰返しが楽しめます。



CD1、CD2ともフェーダースタートさせるときは同じ手順を行ってください。



バックキュー キュースタートの再スタート操作をすばやく行いたい場合に、キューポイントから約10秒以内に行ってください。10秒を越えると瞬時のキュースタートができません。

準備

基本操作

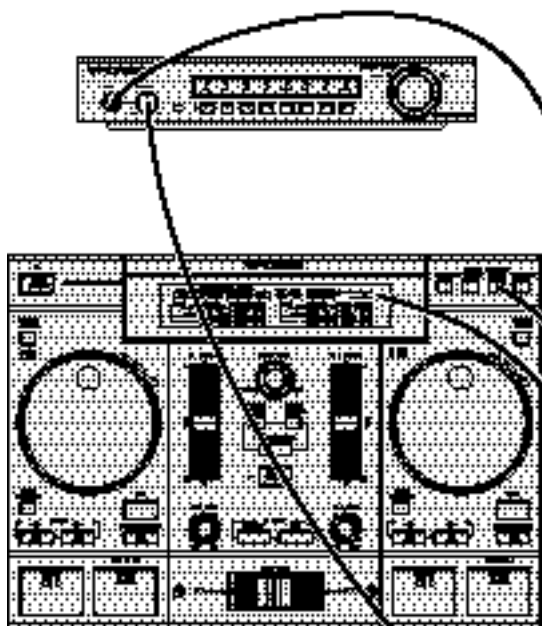
M D 編集

応用操作

リミックス

その他

ヘッドホンでモニターをしながら操作しよう



- リミックスエフェクターにヘッドホンをつないでモニターすると、スピーカーからはCD1の演奏を出力しながら(クロスフェーダーをCD1側にいっぱい倒す)、ヘッドホンではCD2の演奏をモニターすることができます。
- 2つの曲をミックスし、うまくミックスできたらスピーカーから両方の演奏を出力する(クロスフェーダーをセンター位置にする)などということができます。

1 リミックスエフェクターにヘッドホンプラグを差し込む

2 モニター選択ボタンでモニターする機器を選ぶ

インジケータの点灯で確認してください。

- モニター音声は、クロスフェーダーの位置、チューナーアンプの音量調整およびエフェクター機能には関係ありません。

MONITOR=12 : (左チャンネル)CD1モノラル音声
(右チャンネル)CD2モノラル音声


MONITOR=1 : CD1ステレオ音声

MONITOR=2 : CD2ステレオ音声

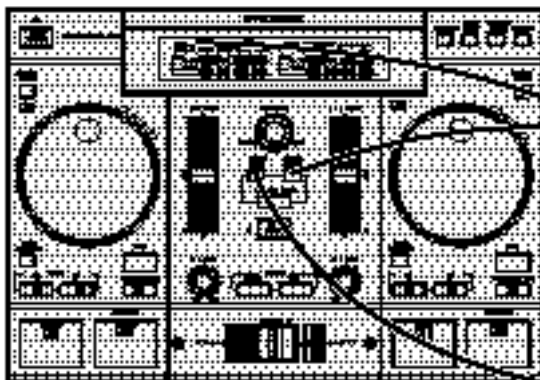
3 リミックスエフェクターのモニターレベルつまみで音量を調整する

音に効果をかけて楽しもう (エフェクター機能)

下記の音響効果をかけることができます。

	エフェクト	効果	効果量
1	ディレイ(DELAY)	時間をずらして、同じ音を1回繰返して重ね合わせます。	2~2,600ms
2	エコー(ECHO)	時間をずらして何度も繰返すことでエコー効果を出します。	2~2,600ms
3	オートパン(PAN)	左右に音を振ります。	80~8,000ms
4	フランジャー (FLANGE)	ショートディレイ音と原音をミックスして得られる音色変化の効果を周期的に行います。	80~8,000ms
5	ピッチシフター(PITCH)	音程(ピッチ)を変えます。	0,±8,±16,±24,±32,±40%
6	オールドレコード(OLD)*	古いレコードをかけているような効果を出します。	1-1~3,2-1~3
7	サンブラー(SAMPLE)**	サンブラーとして使用する場合に選びます。()	1~30(再生レベル)

まず、エフェクターをかける機器と、種類を選びます。



1 エフェクト選択ボタンで エフェクターをかける機器を選ぶ

インジケータの点灯で確認してください。
 +EFFECT ▶ 12 : CD1 : CD1の両方に効果をかけます。
 +EFFECT ▶ 1 : CD1に効果をかけます。
 +EFFECT ▶ 2 : CD2に効果をかけます。
 サンブラーの場合は、サンブル録音する音源の選択となります。

2 エフェクトモードボタンで エフェクトの種類を選ぶ

上の表のうち、選びたいエフェクトが表示されるまで繰り返し押してください。
 (例) "DELAY" のとき

DELAY 680

リミックスエフェクターで選ぶときは、エフェクター背面パネルのボタンを押して選びます。



*「オールドレコード」の効果量について

- 1-1 ~ 3 : 数値が大きくなるほど、音の"ゆらぐ"効果が増します。
- 2-1 ~ 3 : 音の"ゆらぐ"効果は1と同じですが、レコードの針飛び効果音(ブツ音)を付加します。
針飛び効果音は製品の仕様によるものであり、故障ではありません。

**サンブラーとは、メモリー IC に音声を録音して、再生したいときに巻き戻し等の待ち時間なしに、何度でも瞬時に再生する機能です。

3 エフェクトボタンを押す

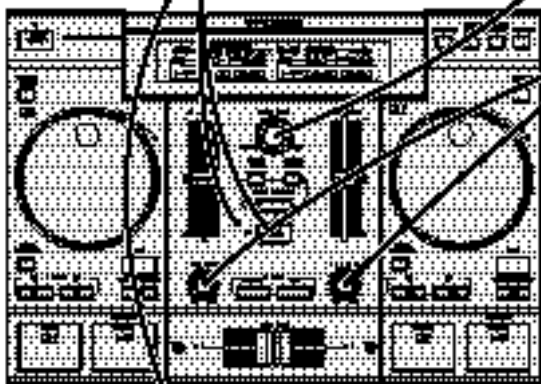
エフェクト オン/オフ インジケータが点灯します。曲のビート（拍子）に合わせてタイミング良くオンするとビートに合った効果が楽しめます。切ると合はもつー度押ししてください。

注意!! サンプラーが働いているときはエフェクトボタンは操作できません。

効果量を変えるには（パラメーター調整）

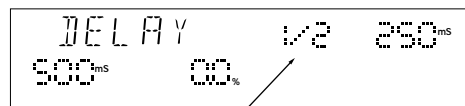
1 エフェクトレベル調整つまみを回して好みの効果量にする

2 音量はCD1、CD2それぞれの音量調整つまみで調整する



パラメーターは拍数表示できます

- 設定したパラメーター値が曲の何拍に相当するかを表示します。
- エフェクターを曲のビートに合わせたいときの目安になります。
- 拍数表示できるのは、ディレイ、エコー、オートパン、フランジャーで、エフェクトをかける選択がされている場合です。
（例）120BPM（=500ms）の曲に250msのディレイをかけた場合



250ms/500msなので1/2(拍)を表示

- 表示する拍数は
1/4、1/2、3/4、1/1、2/1、3/1、4/1です。
- BPMが測定できていないときは表示しません。
- エフェクトをかける選択でCD1とCD2の両方を選んでいるときは、クロスフェーダーを倒している側のBPMの値をもとにして拍数を表示します。
- タップBPMを表示中にはタップBPMの値をもとにして拍数を表示します。

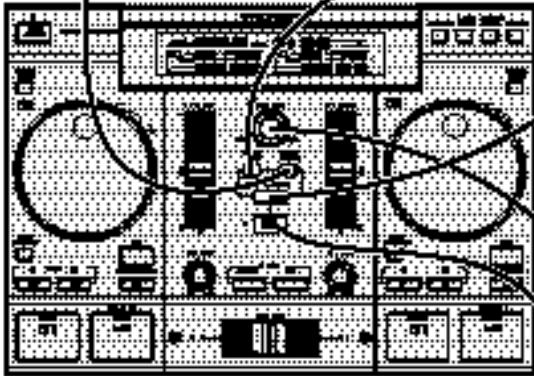
曲のビートに合わせてエフェクターをかけよう(オートビートエフェクト)

ディレイ、エコー、オートパン、フランジャーを曲のビートに合わせてかけるときに、1/4、1/2、3/4、1/1、2/1、3/1、4/1の各拍子数に対応した効果を自動的に設定し、違和感のない効果が手軽に得られます。

たとえば、ディレイでは次のような効果を得られます。

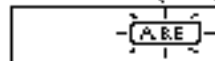
- 1/2拍を指定すると4拍子が8拍子になります。
- 3/4拍を指定すると、はねたリズムが楽しめます。

1 エフェクト選択ボタンでエフェクターをかける機器を選ぶ



2 エフェクトモードボタンでエフェクトの種類を選ぶ ディレイ、エコー、オートパン、フランジャーが選べます。

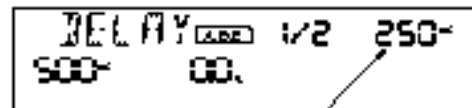
3 オートビートエフェクトボタンを押す オートビートエフェクトインジケータが点灯



4 エフェクトレベル調整つまみを回して、拍数を選ぶ

1/4 1/2 3/4 1/1 2/1 3/1 4/1

(例) 1/2拍を指定する場合



5拍子数にして1/2拍子のエフェクトが加えられる

5 エフェクトボタンを押して、エフェクターをオンにする



曲のBPMが測定できないとき(表示されないとき)には使用できません。



BPMが表示されないときは、曲のビートに合わせて、TAPボタンを5～6回程度押すと、押した周期を計測してBPM表示し、それをもとに設定します。



- エフェクターをかける機器として、CD1とCD2の両方を選んだときは、クロスフェーダーを倒している側のBPMをもとに設定します。
- タップBPMを表示中にはタップBPMの値をもとにして設定されます。



ディレイおよびエコーで拍数4/1を選択した場合に、BPMが70～約92BPMの時にはパラメーター設定範囲外となりますので、正常な設定ができません。この場合には拍数とパラメーター表示部が点滅して設定範囲外であることを示します。拍数の再設定を行ってください。

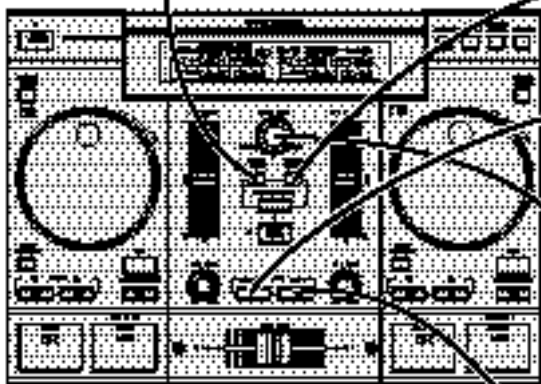
気に入ったところをサンプル 録音して、演奏に重ねよう

(サンプラー録音/再生)

1 サンプラーを選ぶ

SAMPLE

リミックスエフェクター前面パネルの
“SAMPLE”を押して選ぶこともできます。



2 エフェクト選択ボタンで録音する 機器を選ぶ

- EFFECT ▶ 12 : CD と CD2 両方の音を録音します。
- EFFECT ▶ 1 : CD1の音を録音します。
- EFFECT ▶ 2 : CD2の音を録音します。

3 演奏中にサンプル録音したいところ でサンプラーメモリーボタンを押す

サンプル録音をはじめます。
録音時間は最大約2.8秒です。

SAMPLE

録音中は点滅し、録音が終了すると点灯します。



サンプル録音される音は、CD レベルつまみやクロスフェーダーの位置によりスピーカーから聞こえている音と同じものです。



サンプル録音操作をすると、前にサンプル録音していたものは消去されます。

再生したいとき

SAMPLE が点灯しているときに
サンプラープレイボタンを押す。



- 押している間、再生します。
- 押すたびに最初から再生します。
- 最後まで再生すると停止します。

再生のレベルを調整するには

エフェクトレベルつまみを回して調整
できます。
30 (再生レベル最大) ~ 1 (再生レベル最小)



サンプラー再生中にもレベル調整ができます。



CD 演奏中にサンプラープレイボタンを押すとCD 演奏にサンプラー再生を重ね合わせることができます。
押すタイミングや長さを変えて効果をお楽しみください。



サンプラー以外のエフェクターを選ぶとサンプル録音した音声は消去されます。



サンプル録音の開始位置を精密に決めたいときは

- ① サンプル録音したい位置でキューポイントを設定する。
- ② サンプラーメモリーボタンと再生/一時停止ボタンを同時に押す。

テクニック編

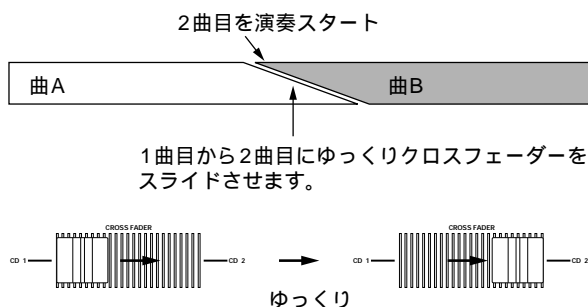


パート 1 クロスフェーダーを使えばFM局みたいな「ノンストップリミックス」も簡単にできる！

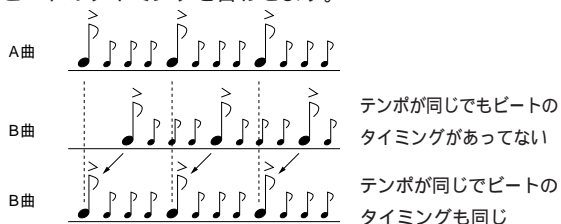
パート 2 曲と曲のテンポとビートを合わせてつないでみよう！

CD1の1曲目AとCD2の2曲目Bのテンポとビートを合わせてみましょう。

クロスフェードプレイ

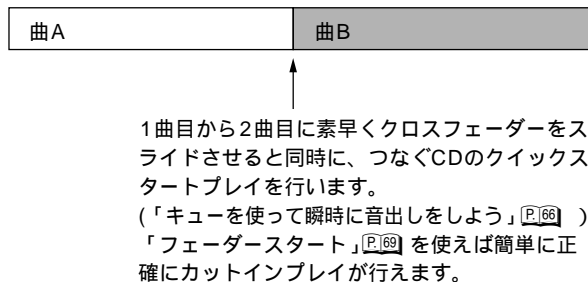


2つの曲のテンポが同じでも、ビートのタイミングがちがうと曲がうまく合ったように聞こえません。2つの曲のビートのタイミングを合わせます。



次ページへ続きます。

カットインプレイ



準備

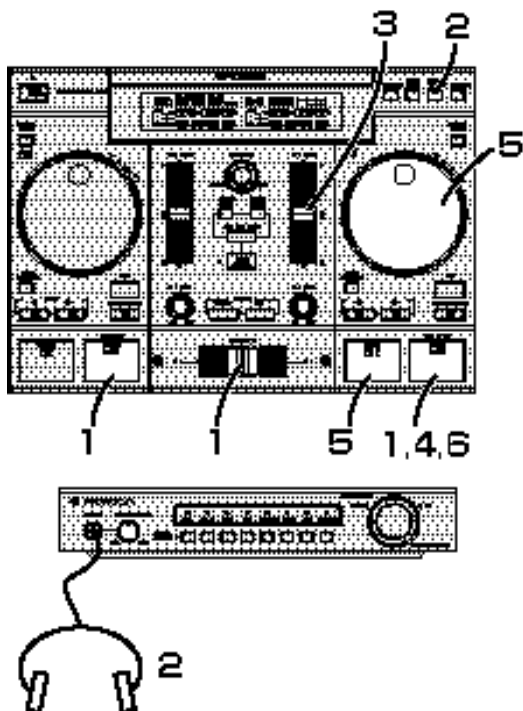
基本操作

MID編集

応用操作

リミックス

その他



1 CD1 と CD2 を再生する

- クロスフェーダーは CD1 側におきます。
- スピーカーの音量を適度に合わせます。

2 リミックスエフェクターにヘッドホンをつないでモニター選択ボタンで CD2 を選択する

- ヘッドホンの 2 つのパッドのうち 1 つを片方の耳に当て CD2 の音を聴きもう片方の耳でスピーカーの音を聴くようにします。(ヘッドホンに耳と肩で挟むと両手でコントロールミキサーを操作できます。弊社のプロフェッショナル DJ ヘッドホン SE - DJ5000 を使用すればショルダレストが付いているのでより安定した操作感が得られます。)

3 1 曲目のテンポを CD1 の BPM カウンターで確認し、その数値と同じ値になるように、2 曲目のテンポを CD2 の BPM カウンターを確認しながらテンポスライダーで変える

- 音程を元の音程にしたいときはマスターテンポをオンにします。

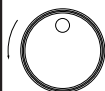
4 2 曲目のリズムを聴きながら(ビートを取りながら)つなぎたいフレーズの 1 拍目で CD2 の再生 / 一時停止ボタンを押す

5 CD2 のジョグをまわして 1 拍目の頭を正確に出し、キューボタンを押す

- 1 拍目に出ている楽器の音色にもよりますがバスドラムのような "ドン" という音であればジョグをまわして音が最初に出始めたところでキューボタンを押します。

6 1 曲目のビートを取りながら、適当なフレーズの 1 拍目で CD2 の再生 / 一時停止ボタンを押す

- これで 1 曲目と 2 曲目のビートが一致して聞こえる筈です。
- もしも CD2 の再生 / 一時停止ボタンを押すタイミングがずれて CD2 の音の出始めからビートがずれてしまう場合には CD2 のジョグをまわしてビートを合わせてください (ビートサーチ)。



追いつくのを待つ場合は左方向にゆっくり回します。



追いかけて合わせる場合は右方向にゆっくり回します。

- テンポがおそくなります
- テンポが早くなります
- ビートが一致したら回すのをやめます。元のテンポに戻ります。
- ビートが一致したら回すのを止めます。
- 元のテンポに戻ります。
- テンポが - 10 % の場合にはさらに遅くすることはできません。
- テンポが + 10 % の場合にはさらに早くすることはできません。



ジョグを早く回すとビートサーチではなく早送り / 早戻しになります。

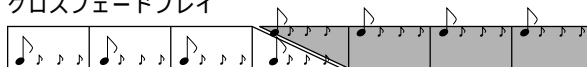
- もしも CD2 の再生 / 一時停止ボタンを押すタイミングは合っていると思われるのに、CD2 の出始めからビートがずれてしまう場合には 5 に戻ってキューポイントを設定し直してください。(「キューポイントを修正するには」[P.66](#))

- もしも CD2 の音の出始めのビートは合っているのに 2 ~ 3 小節過ぎるとだんだんビートがずれてくる場合は CD2 のテンポスライダーを微調してから 6 をやり直してみてください。
- 曲によっては 1 曲の中でテンポが微妙に変化するものがあります。このような曲のビートを長時間にわたって合わせる場合にはテンポをだいたい同じにしておいてジョグで微調するようにします。

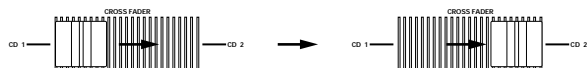
6 のリハーサルを何度行った後つなぐタイミングをつかんだら、いよいよ本番です。

クロスフェードプレイ

クロスフェードプレイ



1曲目と2曲目のテンポとビートを合わせた状態で1曲目から2曲目にゆっくりクロスフェーダーをスライドさせます。



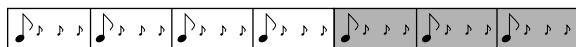
ゆっくり



ダンス系の曲の中には曲の後半にリズム楽器だけのフレーズを何小節か繰返しているパートを持っているものがあります。このような部分では曲のキーが存在しないため次の曲とクロスフェードする時に違和感無くスムーズにつながります。

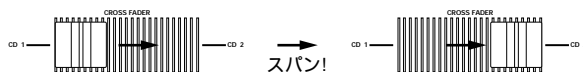
カットインプレイ

カットインプレイ



手順6の操作と同時に1曲目から2曲目に素早くクロスフェーダーをスライドさせます。

「フェーダースタート」[P.69](#) を使えば簡単に正確にカットインプレイが行えます。



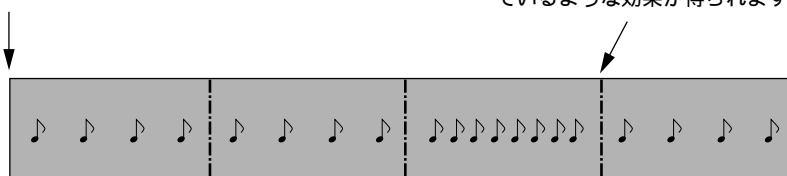
1曲目から2曲目にカットインした後、1小節あるいは2小節ごとに1曲目 2曲目のカットインを繰返すと効果的な場合があります。

パート3 その他各種エフェクターによる遊び効果の演出！

こつ その1:サンプラー効果をミックス！

例えば「1.2.3.4!」というフレーズをサンプラー録音し、リズムに合わせてサンプラープレイボタンをオン！

サンプラープレイボタンをオン！「1.2.3.4!」



こつ その4:ピッチシフターでデュエットを実現！

エフェクトセレクトで効果をかけたいCDをセレクトしピッチシフターをオンにし、エフェクトレベルつまみで「-32%」にあわせる。(曲に合わせたレベルの設定を行って下さい)

ボーカルのフレーズにあわせてエフェクトボタンをオンしたりオフしたりすればあたかも男女のデュエットをしているような効果が得られます！

こつ その2:フランジャー効果をかける！

リズムに合わせてフランジャーモードで、エフェクトボタンをON!オートビートエフェクト「4/1」のレベルでエフェクトをかければ、ジェット機がうねるような効果が楽しめます。

イコライザーでHI, LOWを強めることによって、フランジャー効果がより効果的に楽しめます。

こつ その3:ディレイでビートをかえる！

エフェクトセレクトで効果をかけたいCDをセレクトしオートビートエフェクトをオンにします。エフェクトレベルつまみで「1/2」にあわせ、ビートにあわせてエフェクトボタンをオン！

ボーカルなどがないビートのはっきりしているフレーズで効果的です。

ボーカルがあるところで「1/1」でエフェクトオンすると、輪唱しているような効果が得られます。



アップ
ダウン

こつ その5:イコライザーでノリを変える

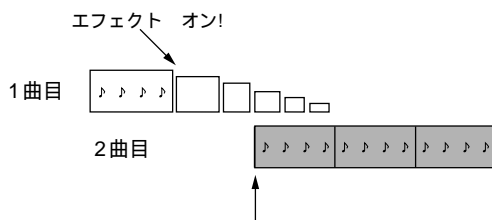
ビートに合わせてBASSのつまみをアップダウンさせると、ビートだけが協調されます。

パート 4 エコーでビートを残しながら曲をミックス

こつ その1:ビートに合わせてエコー効果をかける!

効果をかけたいCDをエフェクトセクターで選び、オートビートエフェクトをオンし、1/1をエフェクトレベルでセレクトしておく。

リズムにあわせて効果をかけたいポイントでエフェクトボタンをオン!と同時にキューボタンまたはストップボタンで演奏をストップさせる。



こつ その2:キューで頭出しを設定し、クイックスタート!

キューメモリーを使ってミックスしたい曲の頭出しの設定をします。(「キューを使って瞬時に音出しをしよう」[P.66](#))

クロスフェーダーの位置を真ん中にしておきます。(2台のCDの音がミックス再生する状態)

1曲目のエコー効果に合わせて、2曲目の演奏をスタートします。(「キューポイントから演奏するには」[P.67](#))

パート 5 テンポとビートを合わせてループプレイに曲をミックス!

こつ その1:2つの曲のテンポを合わせる

オートBPMカウンターとテンポコントロールを使って、つなぐ曲同士のテンポを合わせておきます。

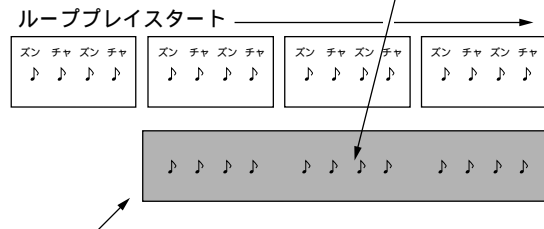
(「演奏の速さを変えよう」[P.64](#) 「BPMを測ってみよう」[P.65](#))

こつ その2:曲のあるリズムフレーズだけをループさせる

ループするフレーズを決め、CD1の曲のループプレイをスタートします。

(「気に入ったフレーズを連続リビートしよう」[P.68](#))

テンポがずれてきたら、ビートサーチを使ってリズムがきちんと同期するように微妙な補正をかける。(「曲と曲のテンポとビートを合わせてつないでみよう」[P.75](#))



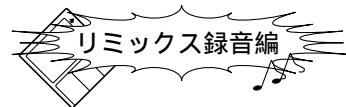
こつ その3:ループプレイしているリズムに合わせてクイックスタート

キューメモリーを使ってミックスしたい曲の頭出しの設定をします。(「キューを使って瞬時に音出しをしよう」[P.66](#))

クロスフェーダーの位置を真ん中にしておきます。(2台のCDの音がミックス再生する状態)

こつ その1でループプレイをかけた後、1曲目のリズムに合わせて2曲目の演奏をスタートします。

リミックス録音編

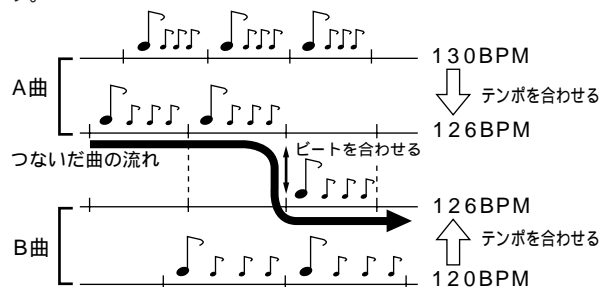


オリジナル・ノンストップMDを作ろう

次の3つの方法により、曲のテンポを合わせたつなぎ録りができます。次々につないで自分だけのノンストップMDが作れます。

(例) CDのA曲とB曲のテンポとビートを合わせて、希望の位置でMDにつなぎ録りをする。

曲を上手くつなぐにはテンポとビートを合わせる必要があります。



方法1：フェーダースタートを用いてリアルタイムに曲と曲をつなぐ。

方法2：カットインレコ機能により曲と曲をつなぐ。(リハーサル機能付)

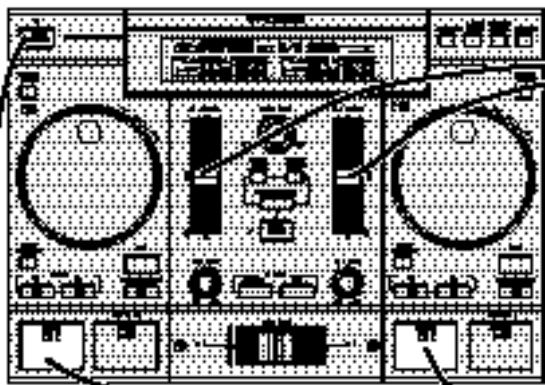
方法3：MDのA-Bコンパイン編集で曲と曲をつなぐ。(リハーサル機能付)

注意!!

- リミックスがオンの場合にはMDはアナログ録音になります。
- リミックスがオンの場合には、チューナーアンプの音質調整、CDのレベルつまみあるいはクロフエーダー位置によりCDの音量が変化しますので、必ずMDの録音レベルの調整を行なうようにしてください。

方法1

フェーダースタートを用いてリアルタイムに曲と曲をつなぐ



1 CDファンクションのときにリミックスをオンにする

2 ディスクをそれぞれのCDにセットし、演奏をする

- 2つの曲の音の大きさが同じになるようにCDのレベルを調整する。

3 2つの曲のBPMをくらべて、BPMが同じになるようにテンポを調整する

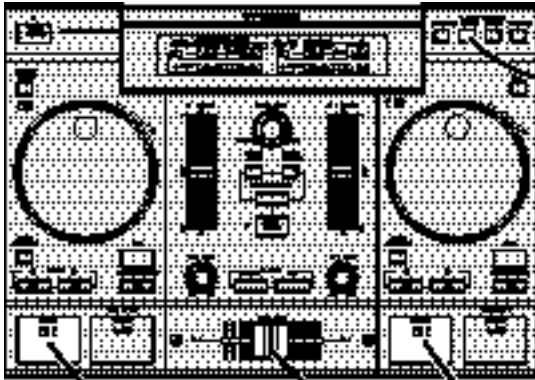
- 音程を元の音程にしたいときはマスターテンポをオンにします。

4 MDの録音準備をする
(81ページの図を参照)

- ① MDを入れる
 - ② 録音ボタンを押す
 - ③ 録音レベルを調整する
- クロスフェーダーを中央にして2つの曲を同時再生した状態で録音レベルを調整して下さい。

5 後半の曲のつなぎポイントでキューポイントを設定する

(⇒ P.66)



6 後半の曲をセットしている CD のフェーダースタートを選択する (⇒ P.69)

7 前半の曲をセットしている CD 側にクロスフェーダーをいっぱいにしたおす

つなぐ後半の曲はキューポイントで演奏待機になります。

8 前半の曲の開始ポイントでキューポイントを設定する (⇒ P.66)

9 MD の再生 / 一時停止ボタンを押して録音を開始する

10 前半の曲をセットしている CD の再生 / 一時停止ボタンを押して前半の曲をスタートさせる

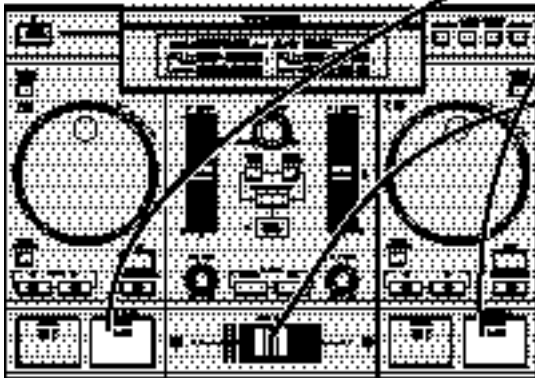
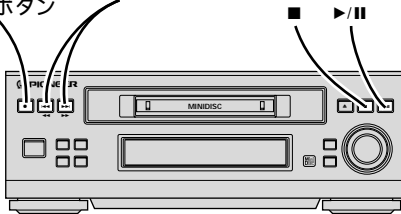
11 前半の曲でつなぐポイントにきたらすばやくクロスフェーダーを後半の曲の CD 側にたおす

12 録音をやめるときは MD の停止ボタンを押す

CD はキューボタンを押してバックキューさせ、キューポイントで一時停止させるのがよいでしょう。

13 今録音した MD の曲を聞いてうまくつながったかたしかめる

録音ボタン 録音レベル

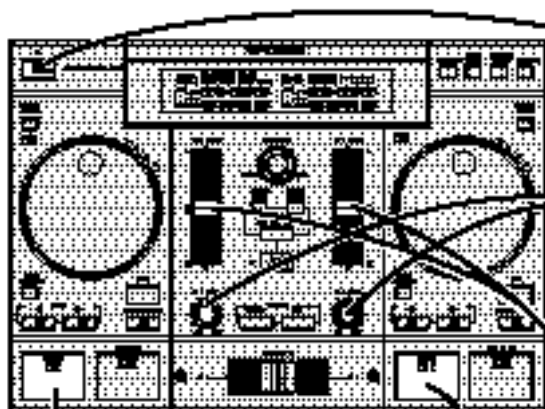


方法 2

カットインレコ機能により CD から MD へつなぎ録りする

注意!!

- カットインレコでつなぎ録りをする場合に後半の曲のディスクはかならずCDプレーヤー1にセットしてください。
- フェーダースタート選択ボタンを押して、フェーダースタートをオフにしておいてください。



1 ファンクションを**CD1**にしてリミックスをオンにする

2 前半の曲を**CDプレーヤー2**に、後半の曲を**CDプレーヤー1**にセットし演奏します。

- 2つの曲の音の大きさが同じになるようにCDのレベルを調整します

3 2つの曲の**BPM**をくらべて、**BPM**が同じになるようにテンポを調整する。

- 音程をちとの音程にしたいときはマスターテンポをオンにします。

4 MDの録音準備をする。

- ① MDを入れる
- ② 録音ボタンを押す
- ③ 録音レベルを調整する

5 前半の曲の開始ポイントで、キューポイントを設定する(⇒図4)

6 クロスフェーダーを**CD2**側に倒して前半の曲を**MD**に録音する

- ① MDの録音ボタンを押す
- ② MDの再生/一時停止ボタンを押して録音を開始する
- ③ CDプレーヤー2の再生/一時停止ボタンを押して演奏を止める
- ④ つなぎポイントを5秒経過したらMDレコーダーを停止させ、CDプレーヤーはキューボタンを押してキューポイントで演奏待機にしてください。

7 クロスフェーダーを**CD1**側に倒して、後半の曲のつなぎポイントでキューポイントを設定する(⇒図4)

キューポイントを設定したら、キューボタンを押してつなぎ音を出し、つなぎポイントを確認してください。

8 MDに録音した前半の曲を再生する

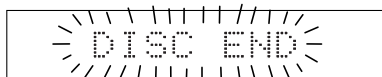
MDレコーダーのサーチボタン(←→)を押して曲のはじめに戻し、再生/一時停止ボタン(▶||)で再生をはじめます。

次ページへ続きます。



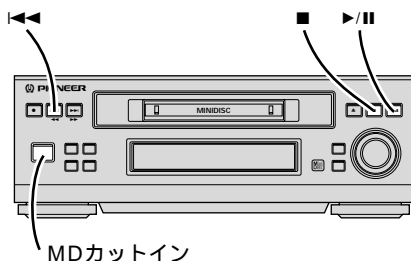
つなぐポイント(最後に録音を終了した付近)をすばやく探すには
(ディスクエンドサーチ機能)

MDが停止中にMDカットインボタンを押します。



一時停止になります。

◀◀ ボタンを押しつづけて(早戻し)、つなぐポイントを越えてしばらくしたらボタンをはなします。そこから再生します。



9 MD 再生中につなぐポイントにきたらタイミングを合わせて MD カットインボタンを押す

CUT-IN REC ?

- MDは一時停止し、CD1はキューポイントから演奏します。つないだ状態の音が確認できます(リハーサル)。
- CDは最大10秒間演奏後、キューポイントに戻り、演奏待機になります。

リハーサルの音声が希望どおりにつながらなかったときは

- ① 停止ボタン(■)を押す。
MDは一時停止し、CD1はキューポイントに戻って演奏待機します。
- ② 再度、手順8、9を行う。

リハーサルの音声が希望どおりにつながったとき

10 MD カットインボタンを押す

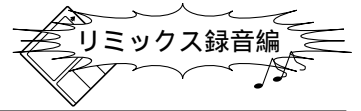
- つなぎ録りをはじめます。
- つなぎ録りを終了するときはMDの停止ボタンを押します。MDは停止し、CD1はキューポイントに戻って演奏待機します。

11 つなぎ録りした曲を再生して確認する

サーチボタン(◀◀)を2回押して、前半の曲の頭出しを行い、再生/一時停止ボタン(▶/■)を押して再生をはじめます。

注意!!

- つなぎ録りを開始した位置以降の曲はすべて消えてしまいます。ご注意ください。
- 前半の曲以降に消したくない曲がある場合には、ムーブ機能を使って前半の曲をいちばん最後に移動させてから、つなぎ録りを行ってください。(P.45)
- MDはステレオ録音で行なって下さい。
モノラル長時間録音でのカットインレコは希望どおりにつながりません。



手順7～11を繰り返すことにより、複数の曲をつなぎ録りして、ノンストップMDが出来ます。



カットインレコ機能では、オートマーク機能はオフになります。

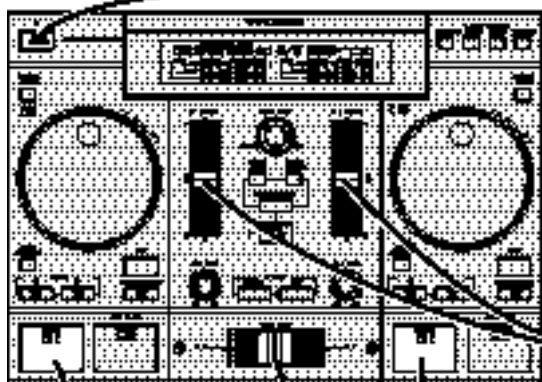


7 でループを設定した後にキューポイントで演奏待機にしておくと、ループプレイでカットインレコも行なうことができます。ループプレイ中にループボタンを押すとループプレイを解除できます。ただし、リハーサルの声はループした音声にはなりません。

方法 3

MDのA-Bコンバイン編集で曲と曲をつなぐ

- フェーダースタート選択ボタンを押してフェーダースタートをオフにしておいてください。



1 CDファクションのときにリミックスをオンにする

2 ディスクをそれぞれのCDにセットし、演奏をする

- 2つの曲の音の大きさが同じになるようにCDのレベルを調整します

3 2つの曲のBPMをくらべて、BPMが同じになるようにテンポを調整する。

- 音程をもとの音程にしたいときはマスターテンポをオンにします。

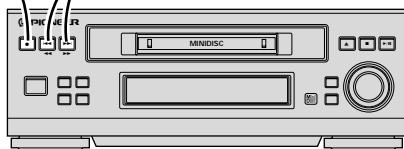
4 MDの録音準備をする。

- ① MDを入れる
- ② 録音ボタンを押す
- ③ 録音レベルを調整する

5 前半の曲をセットしているCD側にクロスフェーダーをたおし、つなぐ前半の曲の開始ポイントでキューポイントを設定する(→ [CUE])

- 開始ポイントはつなぐポイントから約10秒以上手前になるように設定してください。

録音ボタン 録音レベル



☞ 次ページへ続きます。

準備

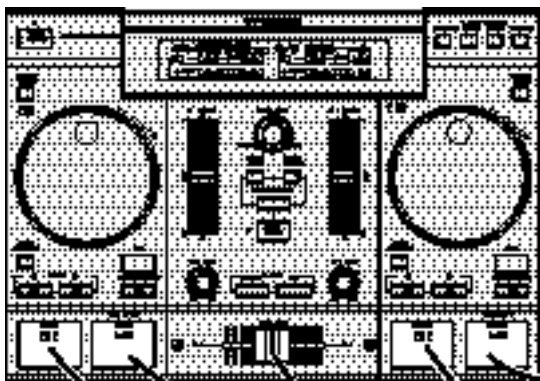
基本操作

M D 編集

応用操作

リミックス

その他



6 MD の再生 / 一時停止ボタンを押して録音を開始する

7 前半の曲をセットしている CD の再生 / 一時停止ボタンを押して前半の曲を演奏する

つなぐポイントをこえて約 10 秒程したら、MD の再生 / 一時停止を押して録音一時停止にします。

CD はキューボタンを押してキューポイントで演奏待機にします。

8 後半の曲をセットしている CD 側にクロスフェーダーをたおし、後半の曲のつなぐポイントから約 10 秒以上手前の任意の位置でキューポイントを設定します

9 MD の再生 / 一時停止ボタンを押して録音を開始する

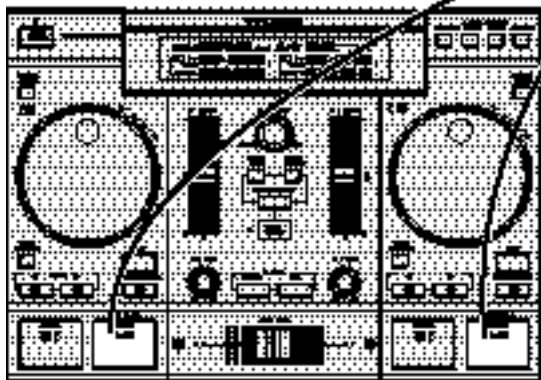
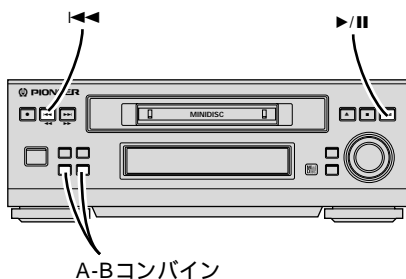
10 後半の曲をセットしている CD の再生 / 一時停止ボタンを押して後半の曲を演奏する

つなぐポイントを越えて約 10 秒程したら MD の停止ボタンを押して MD を停止させます。

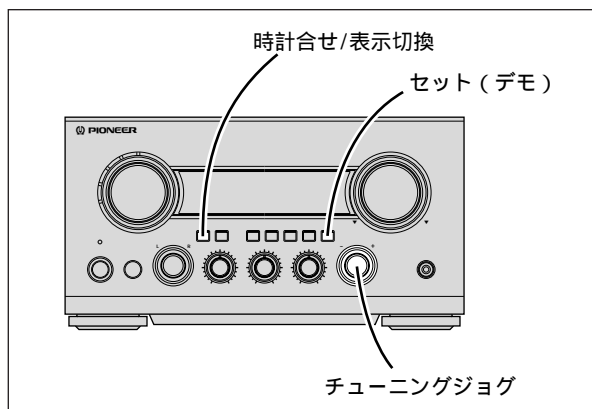
CD はキューボタンを押してキューポイントで演奏待機にします。

11 MD の \ll を 2 回押して前半の曲を指定し、再生 / 一時停止ボタンを押して演奏をはじめます

12 つなぐ前半の曲のつなぐポイント (A 点)、つなぐ後半の曲のつなぐポイント (B 点) として A-B コンバイン編集を行ないます (→ P.44)



表示部のコントラストの調整のしかた



チューナーアンプ表示部のコントラスト調整のしかた

- ① 電源が入っているときに時計合せ / 表示切換ボタンを約 5 秒間押しつづける。

CONTRAST 14

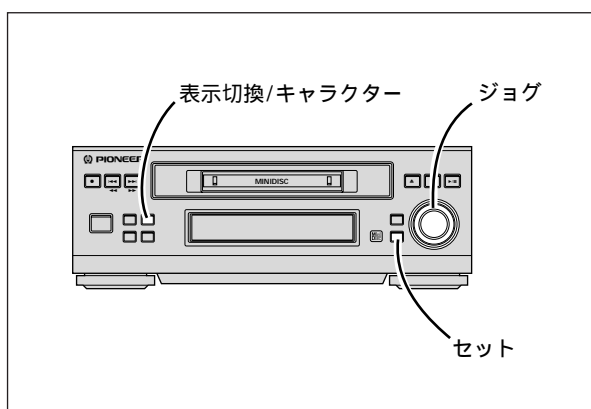
- ② チューニングジョグを回して希望のコントラストを選ぶ。

CONTRAST 15

- ③ セット(デモ)ボタンを押す。
コントラストの調整が終了します。

コントラスト調整を途中で中止するには

コントラスト調整中に時計合せ / 表示切換ボタンを押します。



MD レコーダー表示部のコントラスト調整のしかた

- ① 電源が入っているときに表示切換 / キャラクターボタンを約 5 秒間押しつづける。

CONTRAST 14

- ② ジョグを回して希望のコントラストを選ぶ。

CONTRAST 15

- ③ セットボタンを押す。
コントラストの調整が終了します。

コントラスト調整を途中で中止するには

コントラスト調整中に表示切換 / キャラクターボタンを押します。

電源コードをコンセントから抜いたりした後は、チューナーアンプ、MD レコーダーとも設定したコントラストは解除されます。その場合は再度コントラスト調整を行ってください。

準備

基本操作

MD 編集

応用操作

リミックス

その他

故障？ちょっと調べてください

- 故障かな...?と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症 状	原因と思われること	処 置
全 て に 共 通	使用中に電源が切れてしまう。	● 放熱ファンの吸い込み口をふさいでいる。	● 設置しなおしてください。 P.5
	音がでない。	● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● 入力切換が正しく選択されていない。 ● デモモードになっている。	● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。 ● デモモードを解除する。(裏表紙)
	正しく動作しない。	● 電源プラグを差したままフラットケーブルを抜き差しした。	● 電源プラグを1度抜いて差し直す。
C D 関 係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。	● ディスクの裏表を逆にセットしている。 ● ディスクに汚れやくもりなどがある。 ● ディスクに大きなキズやソリなどがある。	● ディスクのレーベル面(印刷のある面)を上側にし、正しくセットする。 ● ディスクをクリーニングする。 ● ディスクを交換する。
放 送 関 係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	● アンテナが接続されていない。 ● アンテナの向き、位置が悪い。 ● 電気器具(蛍光灯、ドライヤーなど)を使用している。 ● ステップ周波数が合っていない。	● アンテナを正しく接続する。 ● アンテナの向きや位置を調整する。 ● 雑音を発生させる機器の使用をやめるか、アンテナを離す。 ● ステップ周波数を合わせる。 P.24
	放送がステレオなのにステレオにならない。	● 表示部のモノインジケータが点灯している。	● モノボタンを押してモノインジケータを消灯する。 P.23
テ ー プ 関 係	カセットトレイが開かない。	● テープ走行中にチューナーアンプの電源コードを抜いた。	● 電源コードを入れ直す。
	録音ができない。	● 誤消去防止用ツメが折れている。	● テープを交換するか、またはツメの部分にセロハンテープを貼って穴をふさぐ。 P.20
	音がこもる。録音済みのテープの上から重ねて録音したとき、前の音が残る。	● ヘッドが汚れている。	● ヘッドを清掃する。 P.20
	音がこもる。高音が強すぎる。	● ドルビー NR 切換ボタンが録音したときと同じになっていない。	● ドルビー NR 切換ボタンを切り換える。
	ミュージックサーチができない	● 曲間の無録音部分が4秒以下のテープを使用している。	● 曲間に4秒以上の無録音部分のあるテープを使用する。

	症 状	原因と思われること	処 置
M D 関 係	録音ができない。	● MDが誤消去防止状態になっている。 ● 再生専用MDを入れている。 ● TOCがいっぱいになっている。(録音、編集を繰返すと、このようになることがあります。)	● 誤消去防止つまみを閉じる。 ● MDを入れかえる。 ● 全曲消去を行うえば新たに録音できます。
	モノラルで録音されてしまう。	● モノラル長時間モードになっている。	● 録音モードをステレオモードにする P.39
	MDを入れても“NO DISC”と表示される。	● ディスクにキズが付いている。	● MDを入れかえる。
	音がとぎれる。	● MDレコーダーが結露している。	● 1時間程待ってから再生する。

故障？ちょっと調べてください

	症 状	原因と思われること	処 置
M D 関 係	短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	● 12 秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。	● 故障ではありません。
	録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	● 最小録音単位が2 秒のため、これに満たない曲でも2 秒のスペースを使っているのでは合わないことがある。 ● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。	● 故障ではありません。 ● MD を入れかえる。
	コンバイン、A-Bコンバイン編集で曲と曲をつなげない。	● 録音、編集をくり返したディスクでこのようになることがある。 ● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。 ● ステレオ録音とモノラル録音の曲をつなごうとしている。	● 故障ではありません。 ● デジタルと、アナログはつなげません。 ● ステレオ録音とモノラル録音の曲はつなげません。

MD に関する表示については 34 ページにも説明がありますので、ご覧ください。

リ ミ ッ ク ス 関 係	リミックスコントロールミキサーおよびエフェクターが動作しない。	● リミックスがオンになっていない。	● CD ファンクションにしてリミックスをオンにする。
	CD が演奏しているのに音がでない。	● クロスフェーダーが演奏しているCD 側にたおれていない。	● クロスフェーダーを演奏しているCD 側にたおす。
	CD のオートキューがオンの時にサーチしたときに曲の頭出しが終了しない。	● 曲の頭の無音部分が長い場合キューポイントが見つからない。	● しばらくすると通常の演奏をはじめる。
	CD 演奏中にキューボタンを押してもバックキューをしない	● キューポイントを設定していない。	● キューポイントを設定して、キューインジケータを点灯させる。
	CD を一時停止やキューポイントで演奏待機させていたが、いつのまにか停止していた。	● 一時停止やキューポイントで演奏待機させてから約 1 時間経過すると自動的に停止になります。	● 再度希望の操作をおこなう。

そ の 他	タイマーが動作しない。	● 現在時刻の設定がされていない。 ● 停電のため時計の設定がされていない。	● 現在時刻を設定する。 ● 現在時刻を再設定する。
	リモコンがきかない。	● リモコンの電池がなくなっている。 ● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	● 新しい電池に換える。 ● 蛍光灯をリモコン受光部から離す。
	デッキ、CD プレ - ヤ - 、MD レコ - ダ - の電源が入らない。	● システムケーブルの接続が不完全。	● 確実に接続する。

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

日ごろのお手入れ

カセットデッキのヘッドの消磁

長時間カセットデッキを使ったり、磁石やドライバーなどを近づけると、ヘッド部が磁化され、雑音が発生したり高音が低下する原因となりますので、市販のカセットタイプのヘッドイレーサーで定期的にヘッドを消磁してください。

ヘッドの消磁をするときは、本機の電源をオンにして、アンプの音量は必ず最小にしてください。またヘッドホンのプラグは端子から抜いておいてください。

CDレンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に霧が生じ（結露）本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕 様

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ステレオチューナーアンプ : SX-R9

アンプ部

実用最大出力 (EIAJ)

1kHz、10%、8Ω 50W + 50W

FM チューナー部

受信周波数 76.0 ~ 108MHz

アンテナ 75Ω 不平衡型

AM チューナー部

受信周波数 522kHz ~ 1,629kHz (9kHz ステップ)

..... 530kHz ~ 1,700kHz (10kHz ステップ)

アンテナ ループアンテナ (付属)

電源電圧 AC100V、50/60Hz

消費電力 (電気用品取締法) 97W

外形寸法 210(幅)×112.5(高さ)×307(奥行)mm

質量 5.2kg

リミックスエフェクター : EF-R9

外形寸法 210(幅)×37.5(高さ)×275(奥行)mm

質量 1.2kg

リミックスコントロールミキサー : MX-R9

外形寸法 300(幅)×73.5(高さ)×217(奥行)mm

質量 1.0kg

コンパクトディスクプレーヤー : PD-R9

型式 コンパクトディスクオーディオシステム

使用ディスク コンパクトディスク

チャンネル数 2 チャンネル (ステレオ)

周波数特性 4Hz ~ 20kHz

SN 比 110dB(EIAJ)

ワウ・フラッター 測定限界以下

外形寸法 210(幅)×75(高さ)×274(奥行)mm

質量 1.8kg

ステレオカセットデッキ : CT-R5 (別売)

トラック方式 4トラック2チャンネルステレオ

周波数特性

TYPE I (ノーマル) テープ

..... * 20Hz ~ 16,000Hz ± 6dB

TAPE II (HIGH / クローム) テープ

..... * 20Hz ~ 16,000Hz ± 6dB

SN 比 * 55dB

(EIAJ / ピーク録音レベル、メタル、聴感補正)

DOLBY B タイプ NR ON 5kHz で 10dB 改善

ワウフラッター ± 0.07% WRMS (JIS)

外形寸法 210(幅)×75(高さ)×269.5(奥行)mm

質量 2.0kg

* 印は日本電子機械工業会 (EIAJ) 規格に定められた測定方法による数値です。

ミニディスクレコーダー : MJ-R5

記録方式 磁界変調オーバーライト方式

再生方式 非接触光学式

サンプリング周波数 44.1 kHz

周波数特性 20 Hz ~ 20 kHz

SN 比 98 dB

ワウフラッター 測定限界以下

外形寸法 210(幅)×75(高さ)×279.5(奥行)mm

質量 2.0kg

本機はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

スピーカーシステム : S-R9V-LR

型式 15cm3wayブックシェルフ型、防磁設計 (EIAJ)

使用スピーカー (3ウェイ方式)

低音用 (ウーファー) 15cm (コーン型)

中音用 (ミッドレンジ) 6.6cm (コーン型)

高音用 (トゥイーター) 2.5cm (ドーム型)

公称インピーダンス 8Ω

再生周波数帯域 32 ~ 20,000Hz

最大入力 80W (EIAJ)

外形寸法 190(幅)×340(高さ)×244(奥行)mm

質量 4.1kg

* 「防磁設計 (EIAJ) とは、(社)日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

付属品

保証書 1

取扱説明書 1

安全上のご注意 1

ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

FM アンテナ 1

AM ループアンテナ 1

リモコン 1

単3形乾電池 (R6P) 2

スピーカーコード (スピーカーに付属) 2

光ファイバーケーブル 1

準備

基本操作

MD編集

応用操作

リミックス

その他

アフターサービス

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年です。テープレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 6 年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

お願い

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

● 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

● 保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

MD のネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y
Z . , /

アルファベット（小文字）

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y
z . , /

数字・記号

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " # \$ % & ' () * + , - . /
: ; < = > ? @ _ `

カタカナ

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ
ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン
アイウエオヤユヨツ (濁点)
° (半濁点) - (長音) / (スラッシュ)

準備

基本操作


MD 編集

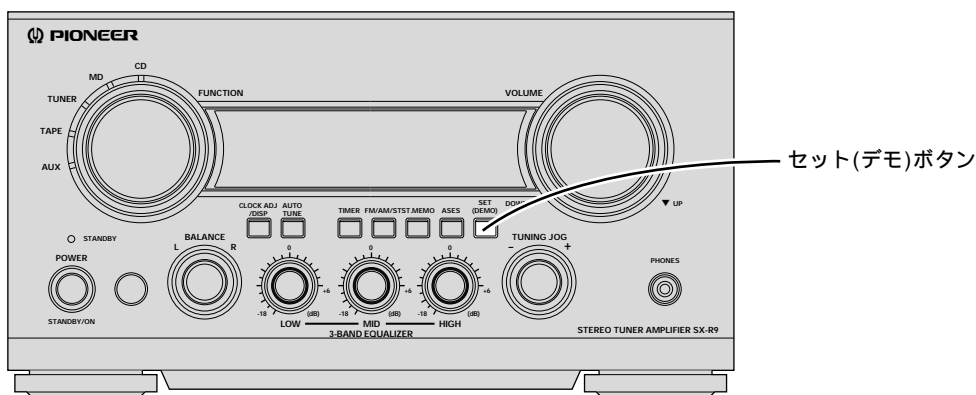
応用操作

リミックス

その他

デモモードについて

- 電源プラグをコンセントに接続するとデモモードになり電源オンになります。電源オフのときにSET (DEMO) ボタンを約3秒間押しつづけても、デモモードになり電源オンになります。デモモードではこのシステムのバラエティーに富んだ機能が表示部に表示されます。
- デモモードを解除するには、本機及びリモコンの電源オンに関するボタン()または、本機のSET (DEMO) ボタンを約3秒間押しつづけてください。
- 電源プラグをコンセントに接続したときにデモモードに入らないようにするには、デモモード表示中にSET (DEMO) ボタンを約3秒間押しつづけてください。



お客様ご相談窓口（修理に関しては別添「ご相談窓口・修理窓口のご案内」参照）

お客様相談センタ - TEL 03・3491・8181

技術相談窓口 ○ 札幌 TEL 011・644・4779 ○ 大阪 TEL 06・353・3705
 ○ 仙台 TEL 022・375・4417 ○ 広島 TEL 082・228・2239
 ○ 名古屋 TEL 052・532・1141 ○ 福岡 TEL 092・441・8076

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。